

(4) DV\*などの暴力について

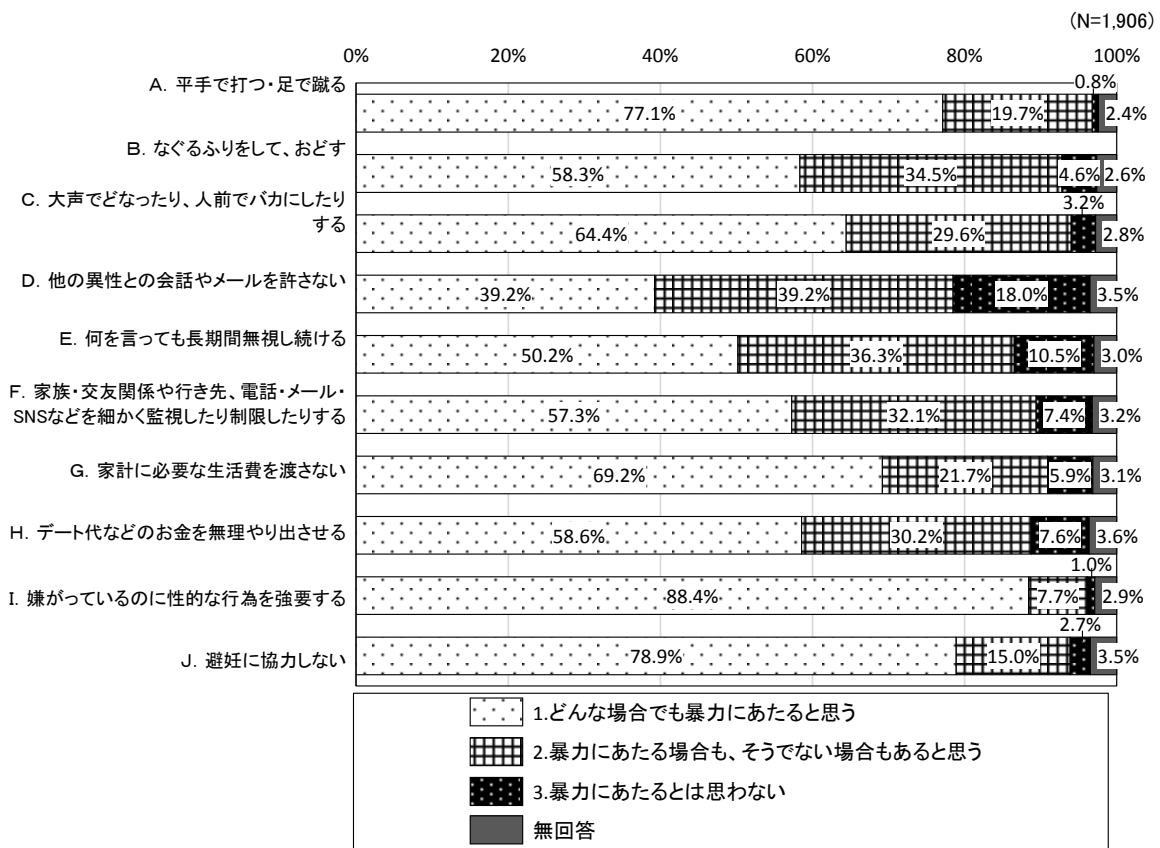
※DV：ドメスティック・バイオレンスの略。配偶者（事実婚、元配偶者を含む）や恋人など親密な関係にある（または親密な関係にあった）人からふるわれる暴力。

【全員におたずねします】

問 23 あなたは、次のようなことが配偶者や交際相手から行われた場合、それを「暴力」だと思いますか。（A～Jの項目ごとにあてはまるものを1つずつ○）  
 ※ここでの「配偶者」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の相手も含まれます。

どんな場合でも暴力にあたると思う行為は、「I. 嫌がっているのに性的な行為を強要する」が最も多く88.4%、次いで「J. 避妊に協力しない」が78.9%であった。

また、暴力にあたるとは思わない行為は、「D. 他の異性との会話やメールを許さない」が最も多く18.0%、次いで「E. 何を言っても長期間無視し続ける」が10.5%であった。

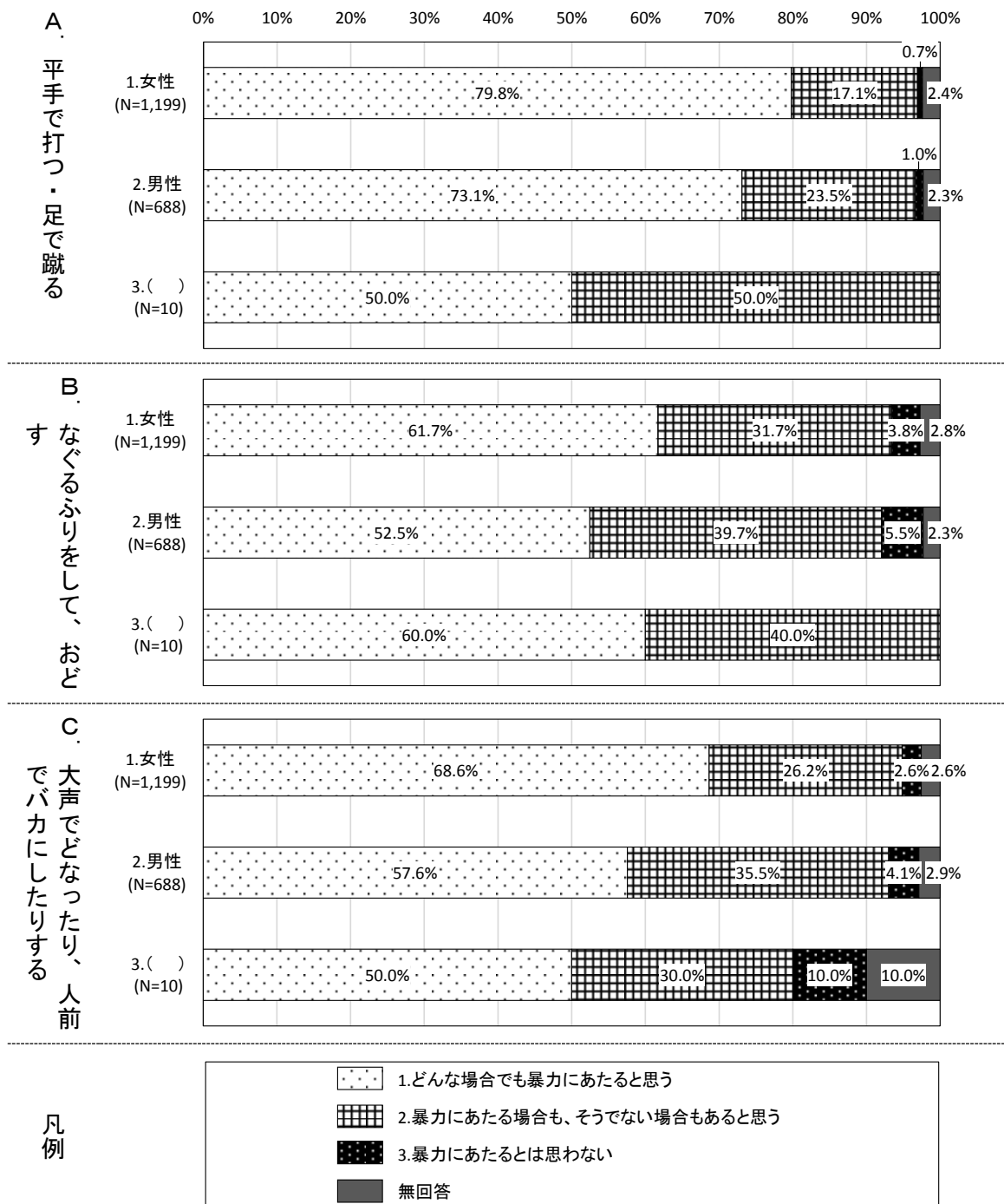


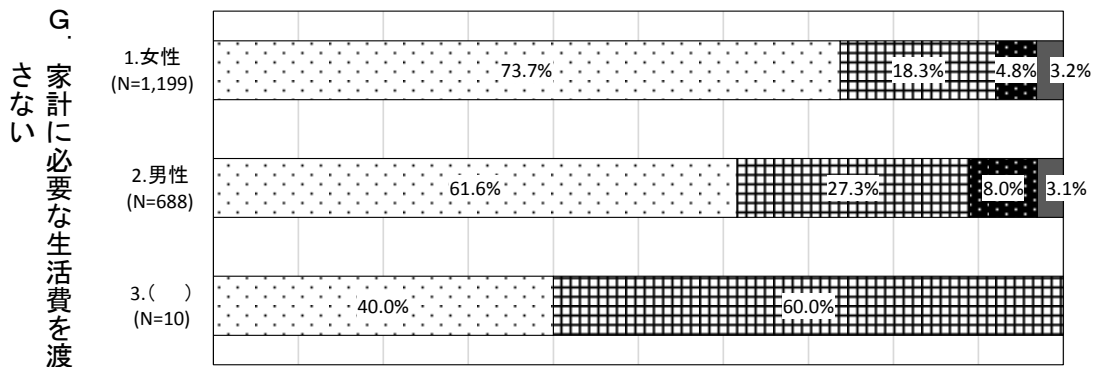
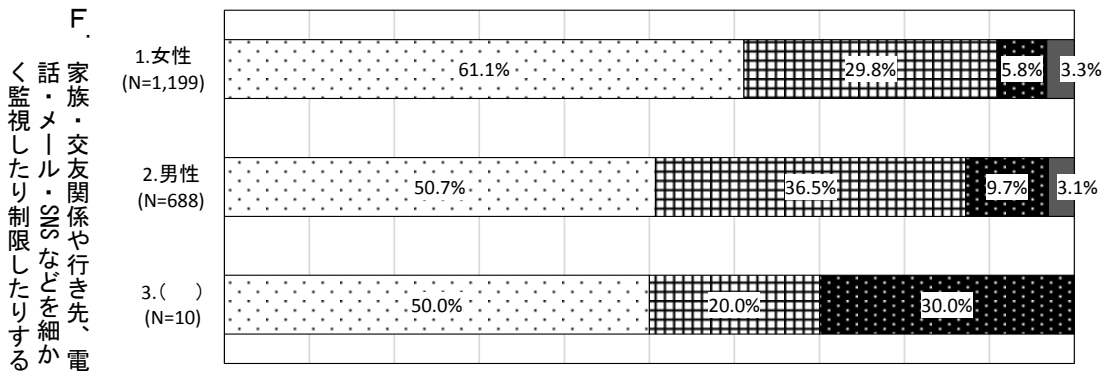
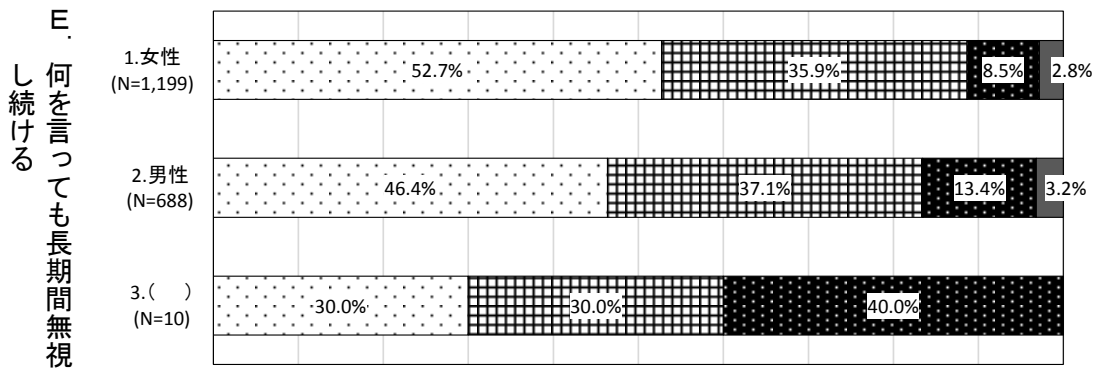
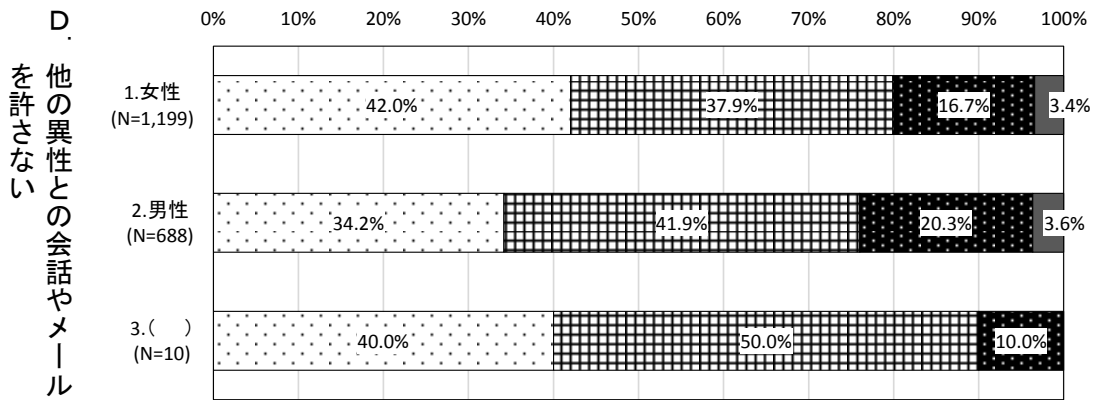
3 調査結果  
DVなどの暴力について

**性別**

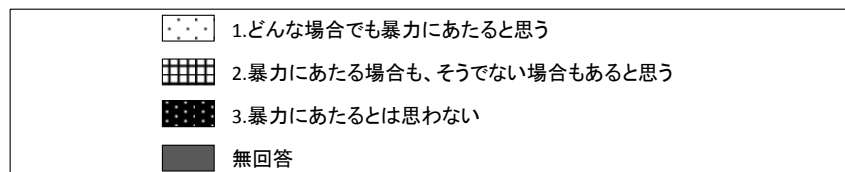
いずれも「どんな場合でも暴力にあたると思う」は、男性より女性の割合が多く、「暴力にあたるとは思わない」は、女性より男性が多くなっている。

なお、「暴力にあたるとは思わない」行為で、女性と男性で意識の差が最も大きかったのは「E. 何を言っても長期間無視し続ける」であった。

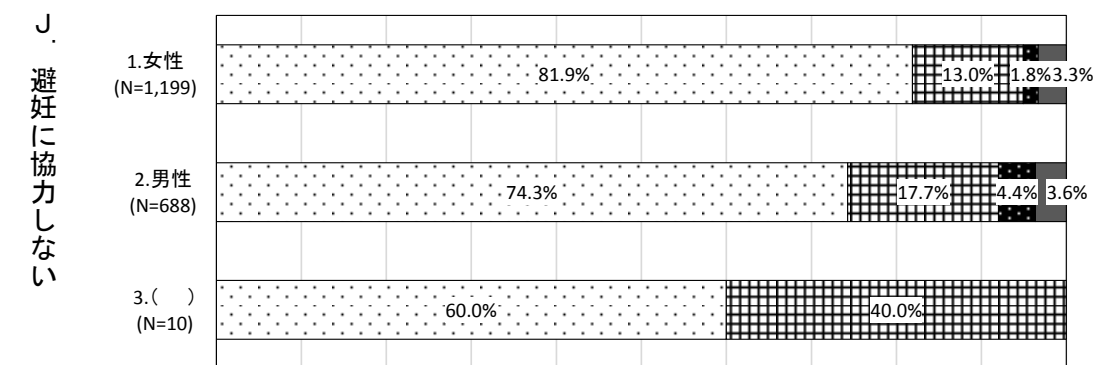
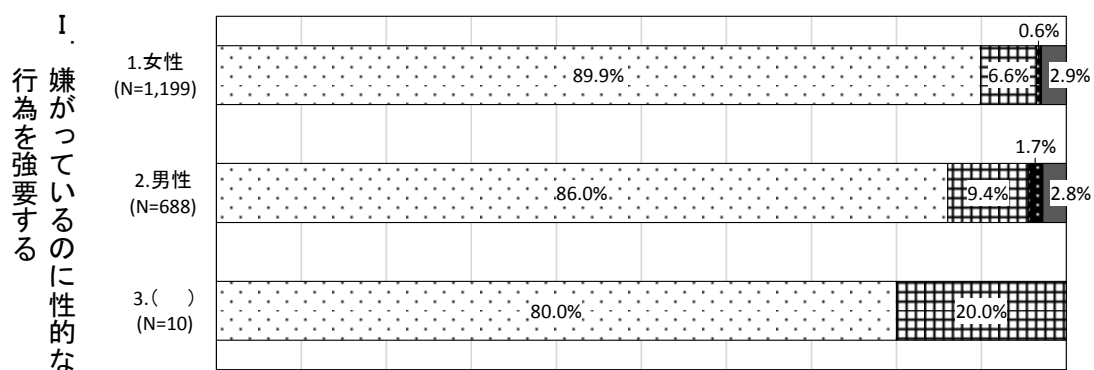
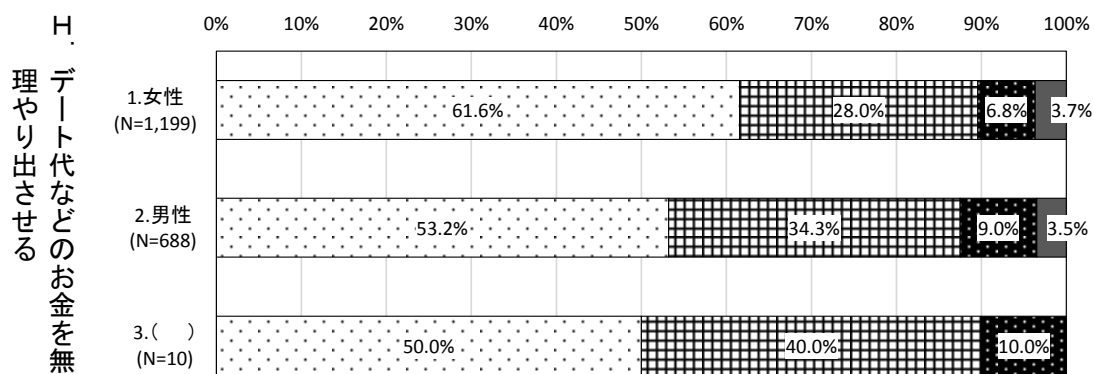




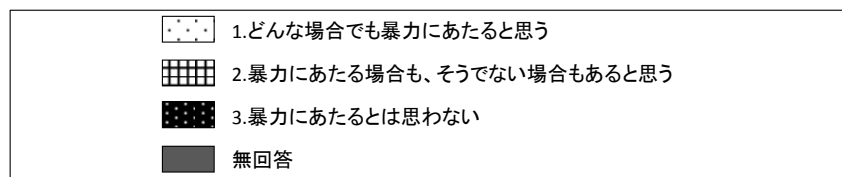
凡例



3 調査結果  
DVなどの暴力について



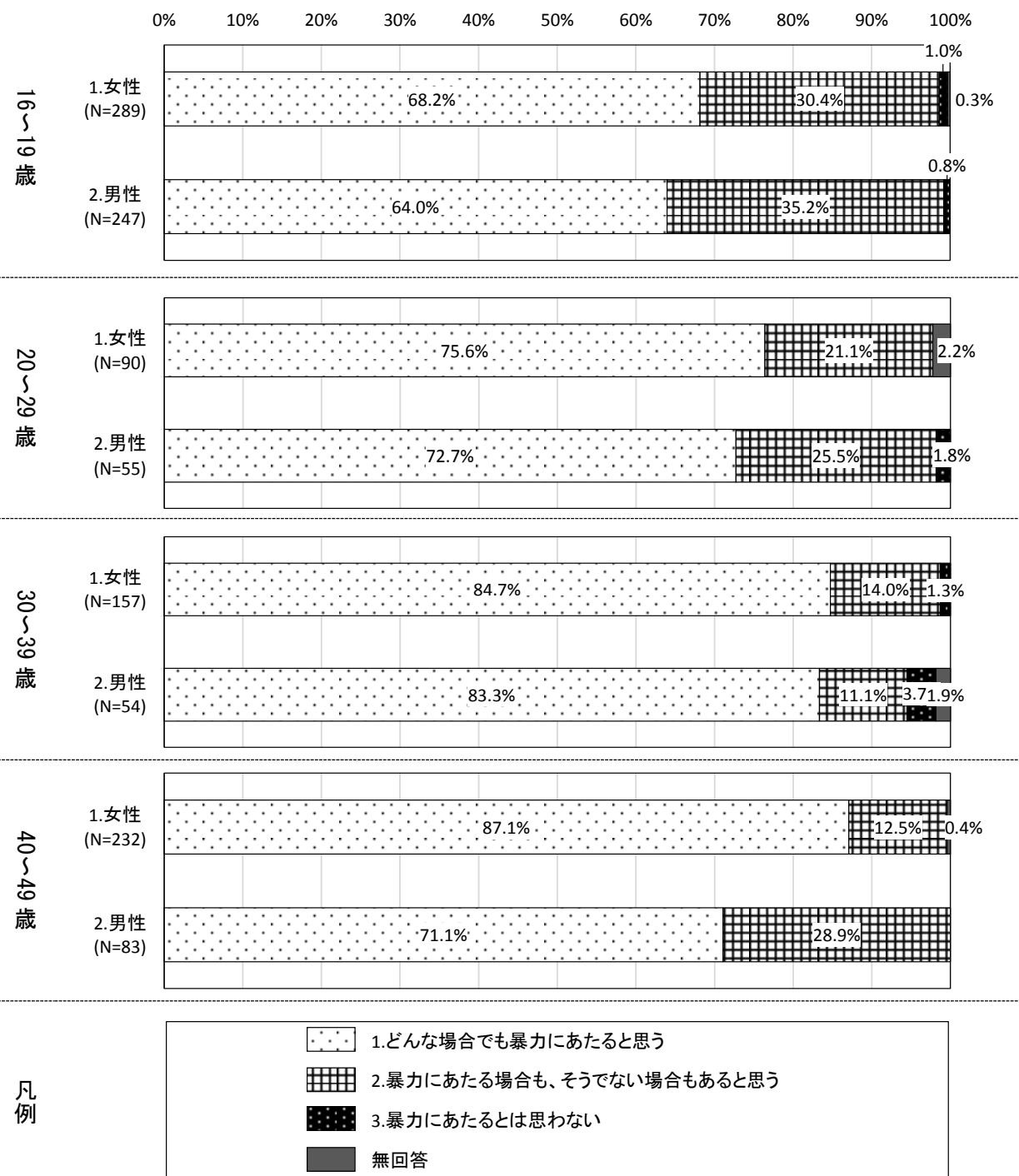
凡例



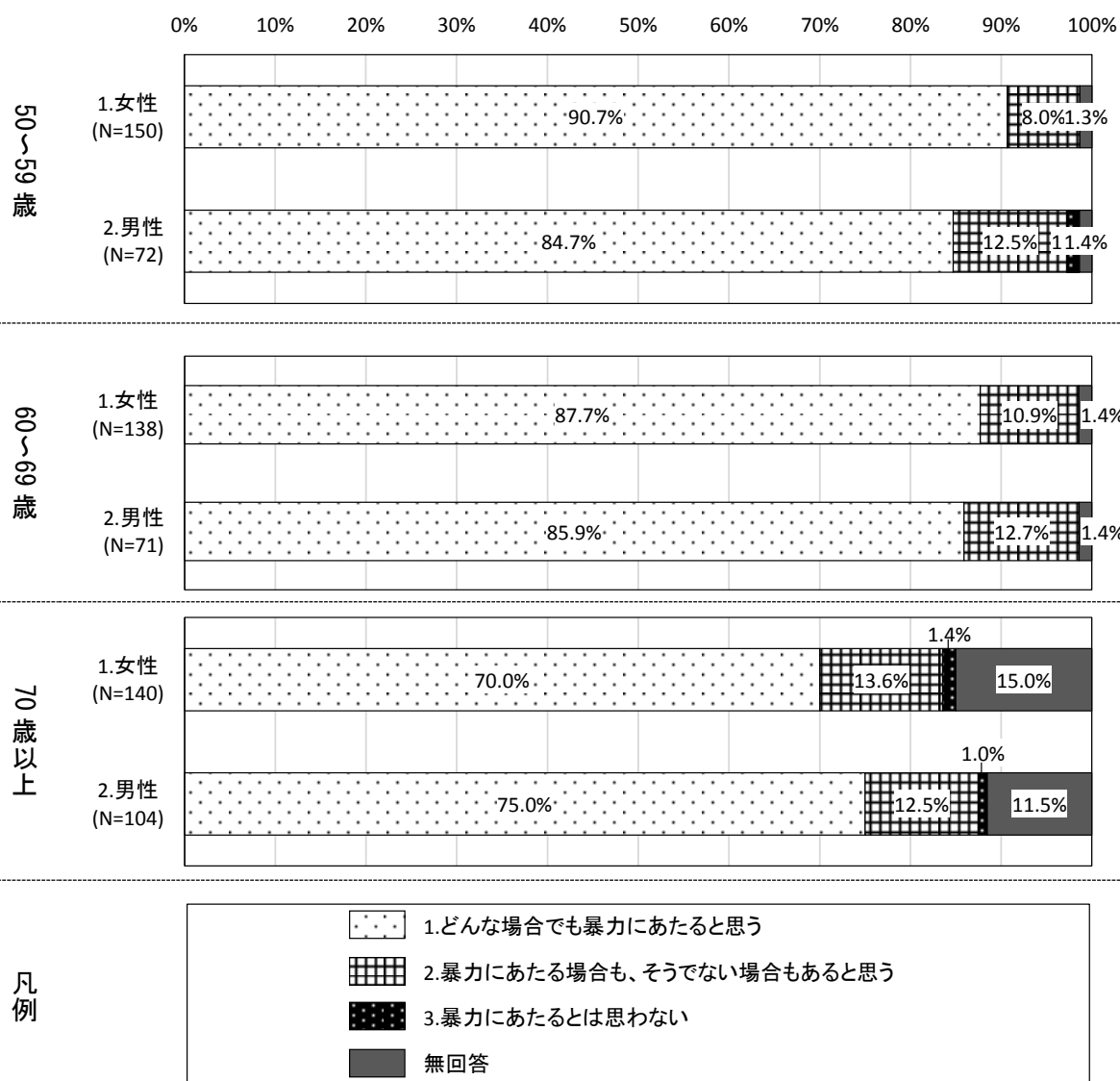
年齢別かつ性別

A. 平手で打つ・足で蹴る

「どんな場合でも暴力にあたると思う」行為で、女性と男性で意識の差が最も大きかったのは、40～49歳で、女性が87.1%、男性が71.1%であり、男性より女性の割合が多くなっている。

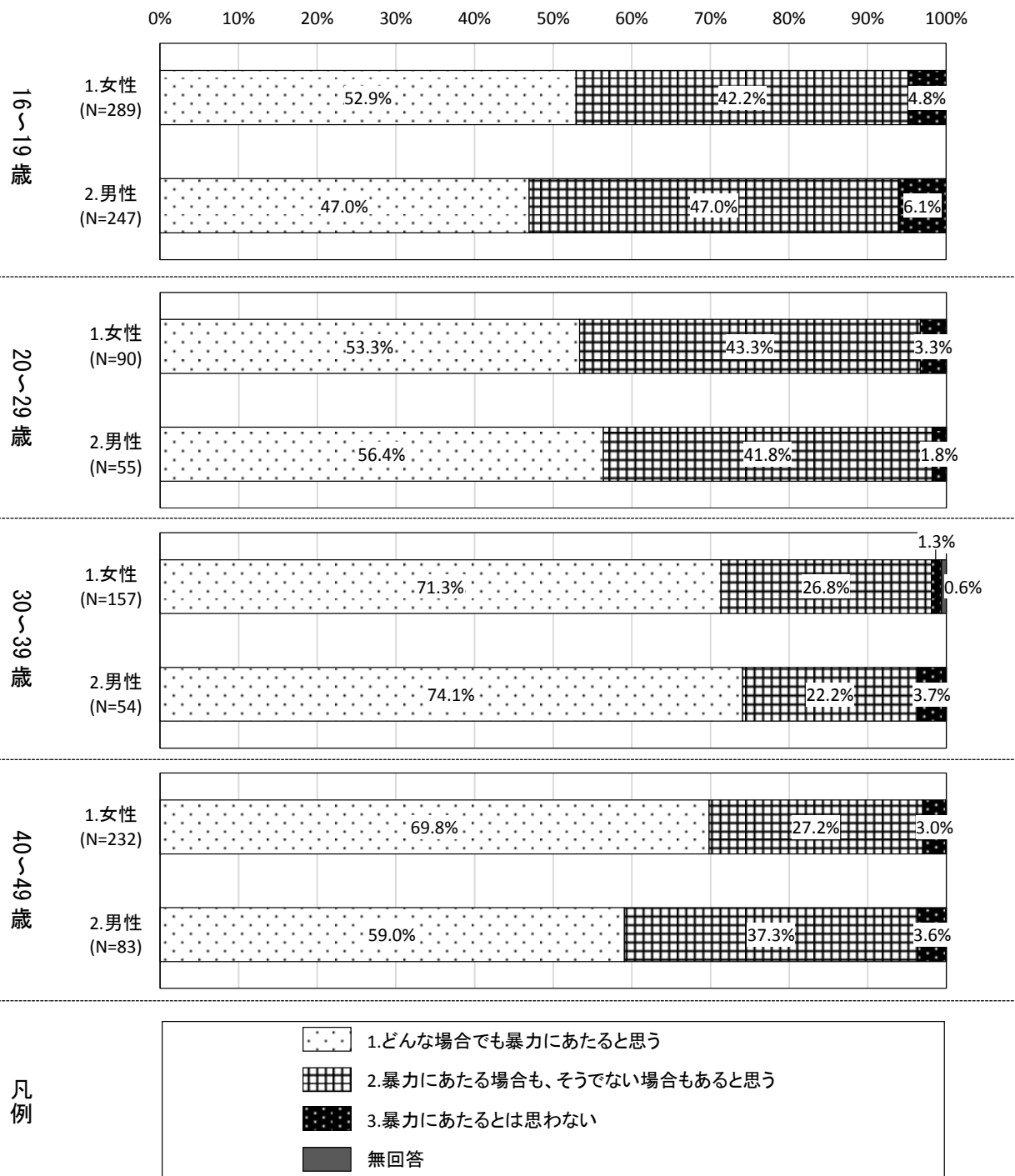


3 調査結果  
DVなどの暴力について

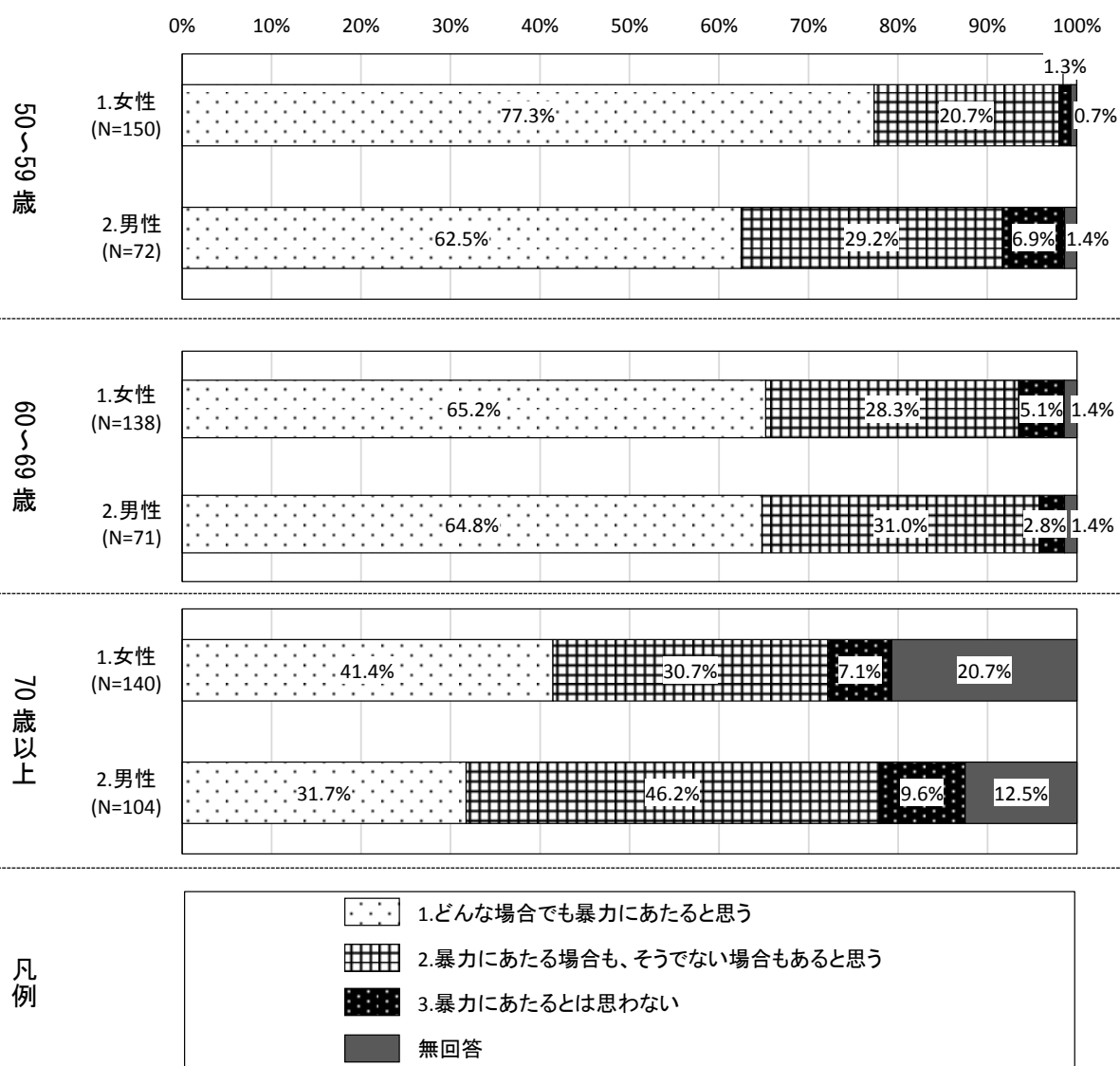


B. なぐるふりをして、おどす

「どんな場合でも暴力にあたると思う」行為で、女性と男性で意識の差が最も大きかったのは、50～59歳で、女性が77.3%、男性が62.5%であり、男性より女性の割合が多くなっている。



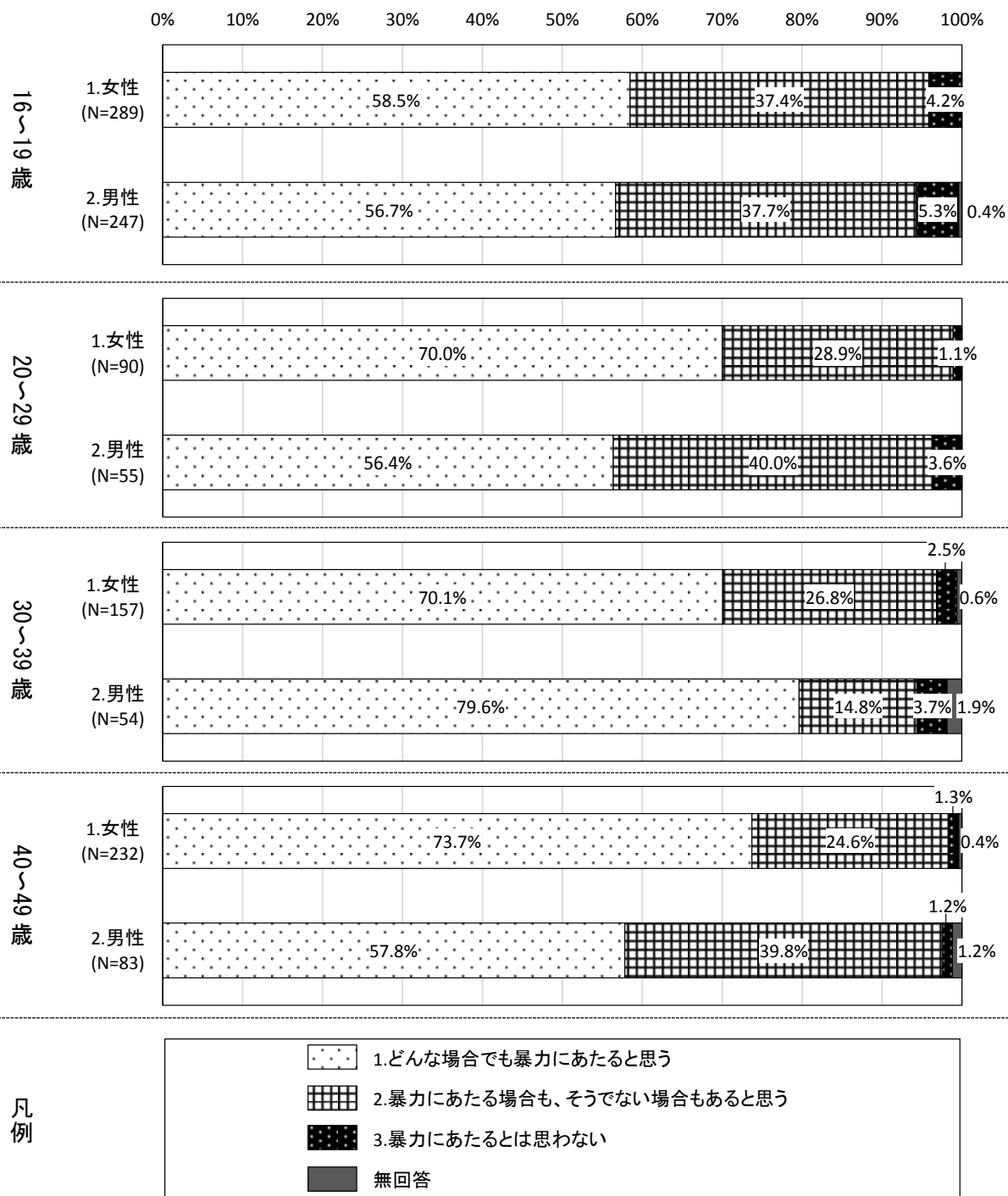
3 調査結果  
DVなどの暴力について



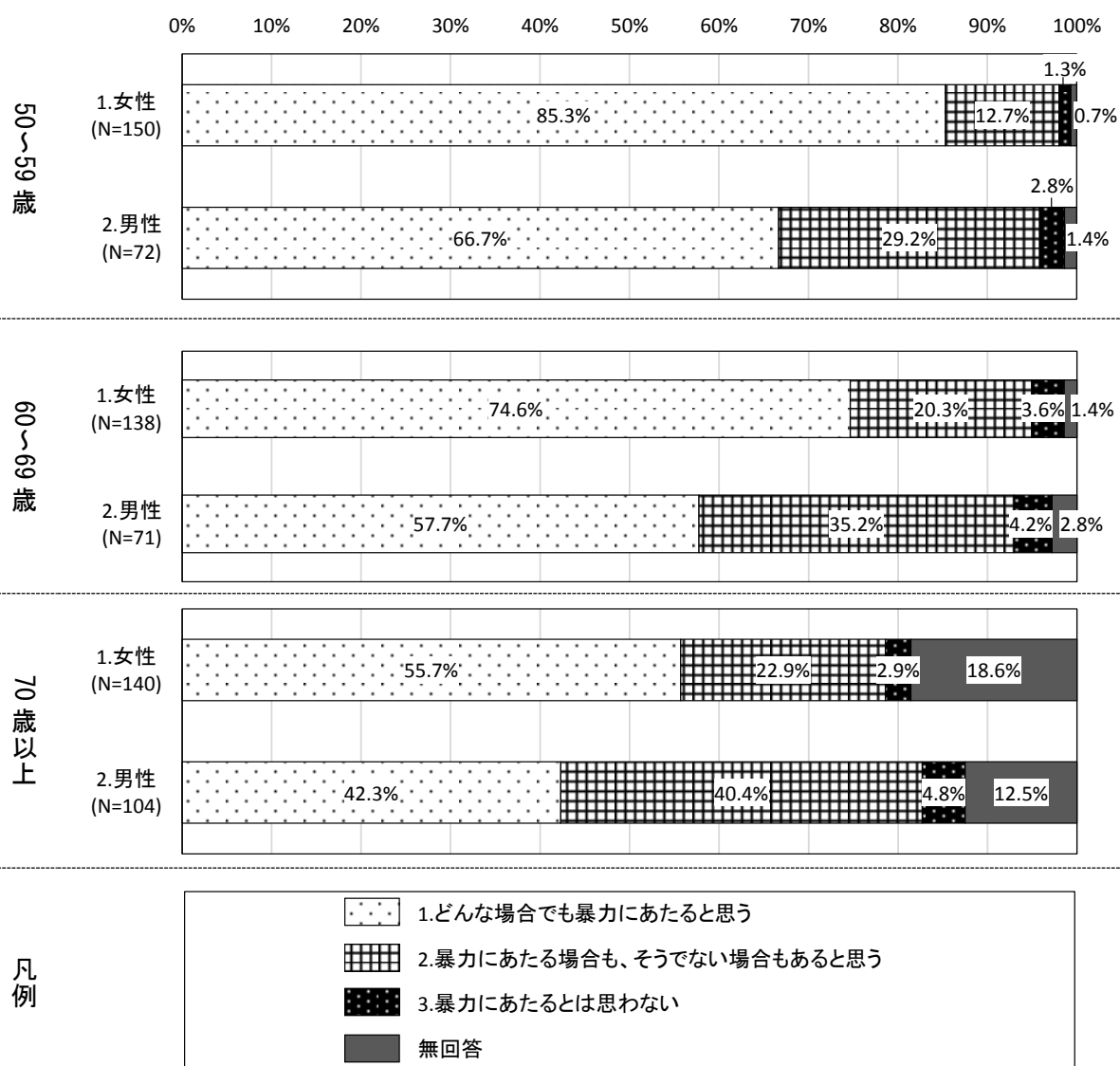


C. 大声でどなったり、人前でバカにしたりする

「どんな場合でも暴力にあたると思う」行為で、女性と男性で意識の差が最も大きかったのは、50～59歳で、女性が85.3%、男性が66.7%であり、男性より女性の割合が多くなっている。



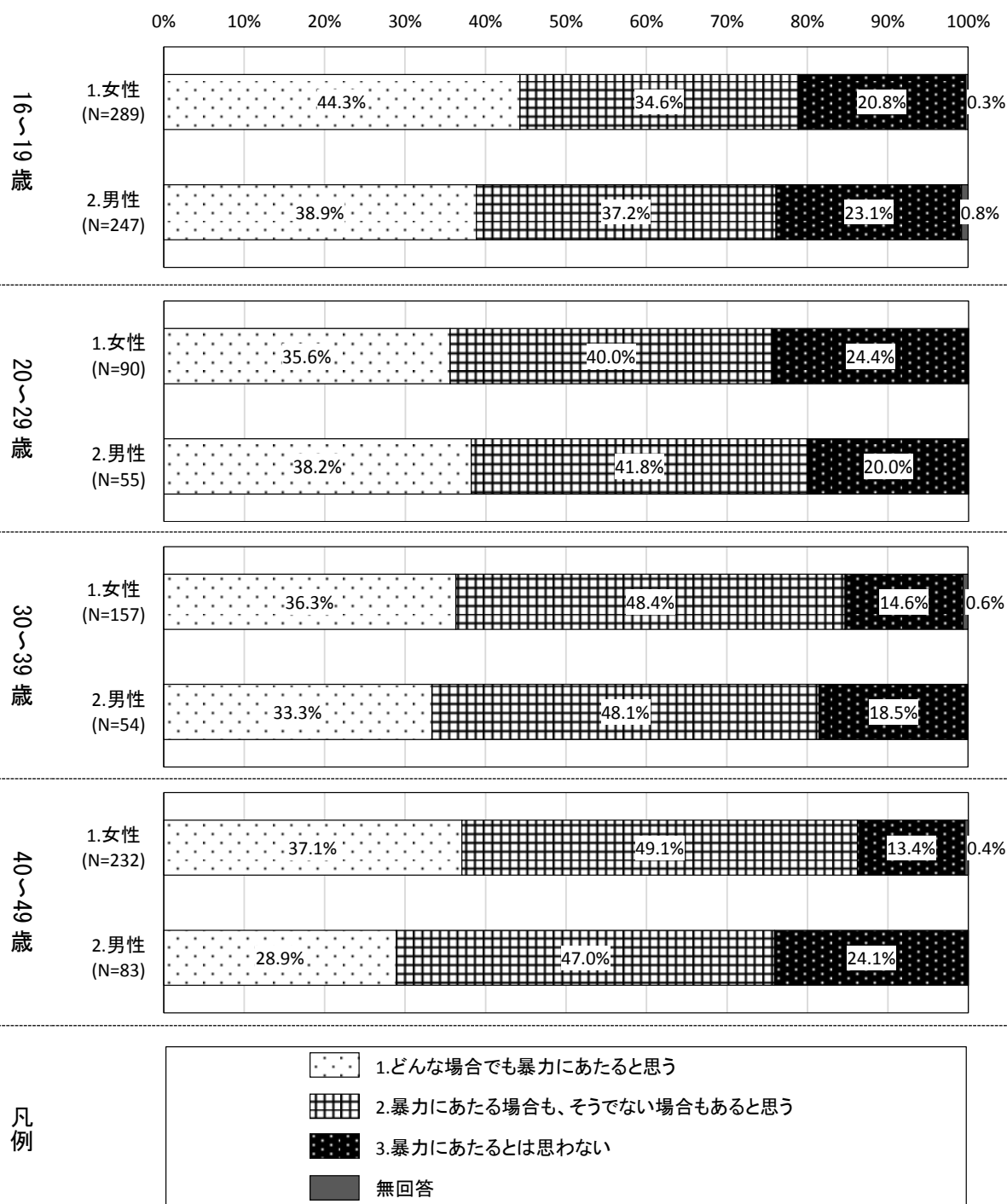
3 調査結果  
DVなどの暴力について



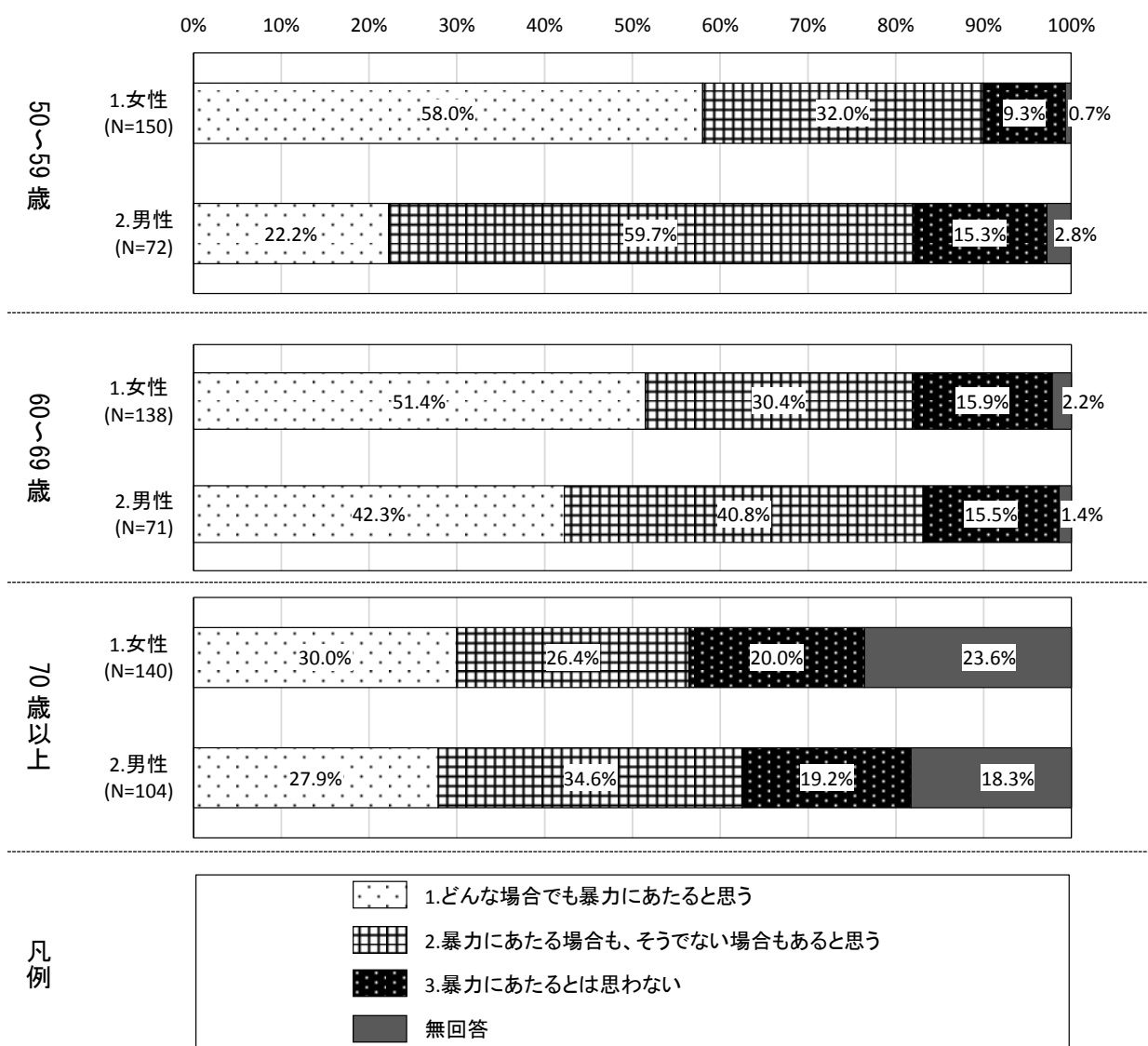
D. 他の異性との会話やメールを許さない

「どんな場合でも暴力にあたると思う」行為で、女性と男性で意識の差が最も大きかったのは、50～59歳で、女性が58.0%、男性が22.2%であり、男性より女性の割合が多くなっている。

一方、「暴力にあたるとは思わない」行為は、女性は20～29歳が最も多く24.4%、男性は40～49歳が最も多く24.1%であった。



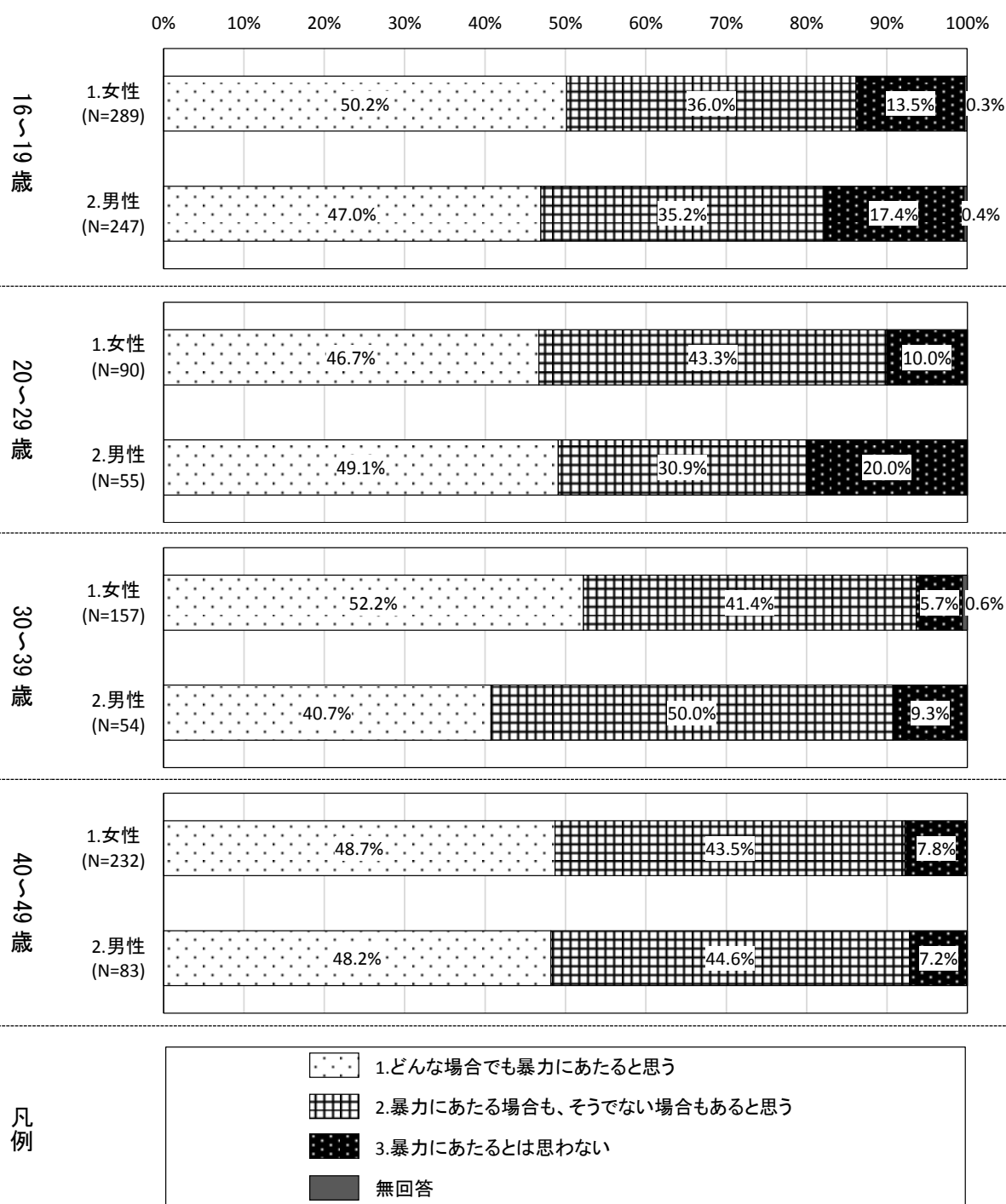
3 調査結果  
DVなどの暴力について



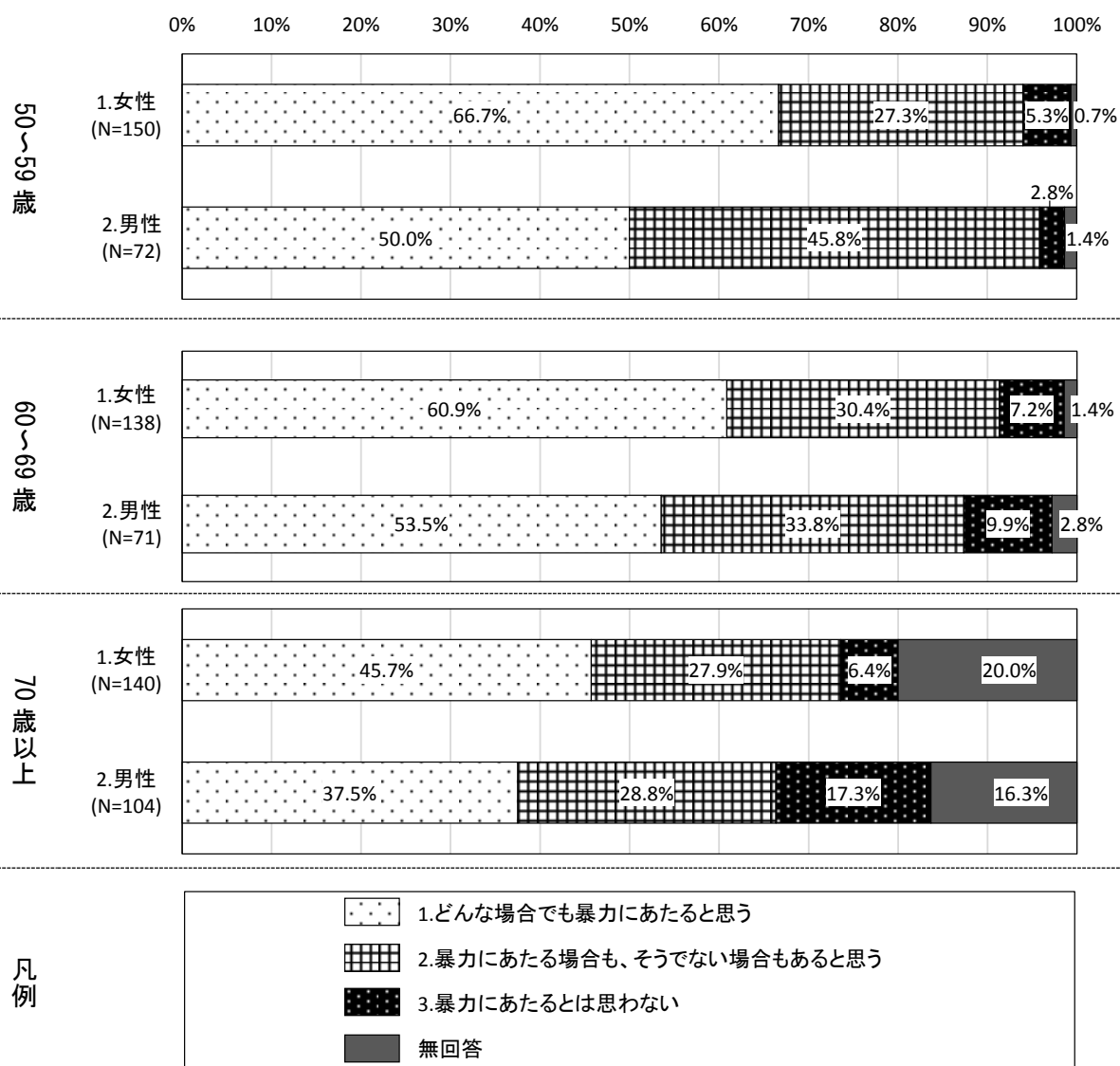
E. 何を言っても長期間無視し続ける

「どんな場合でも暴力にあたると思う」行為で、女性と男性で意識の差が最も大きかったのは、50～59歳で、女性が66.7%、男性が50.0%であり、男性より女性の割合が多くなっている。

一方、「暴力にあたるとは思わない」行為は、女性は16～19歳が最も多く13.5%、男性は20～29歳が最も多く20.0%であった。また、40～49歳、50～59歳を除いて、いずれの年齢層も女性より男性の割合が多くなっている。



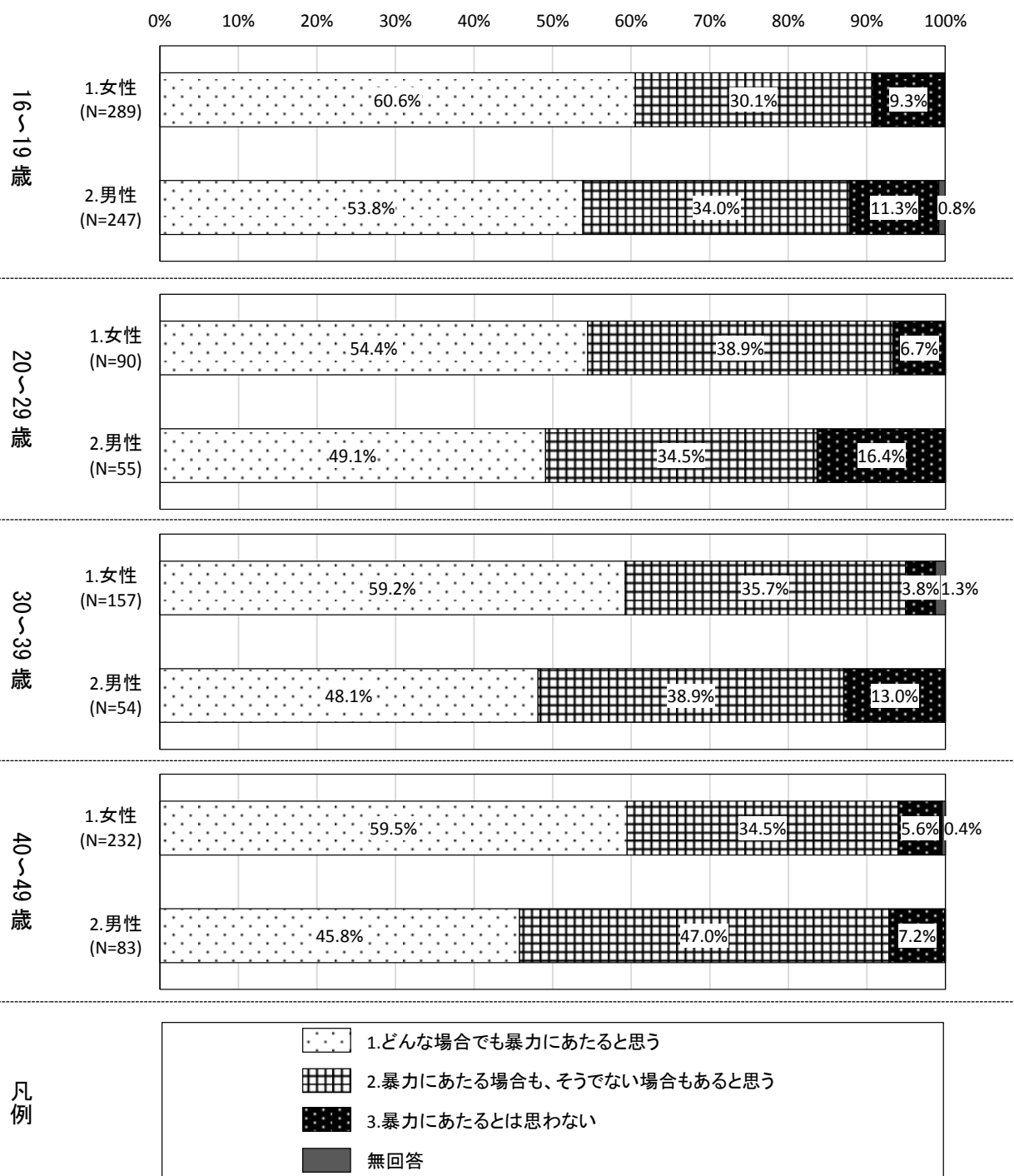
3 調査結果  
DVなどの暴力について



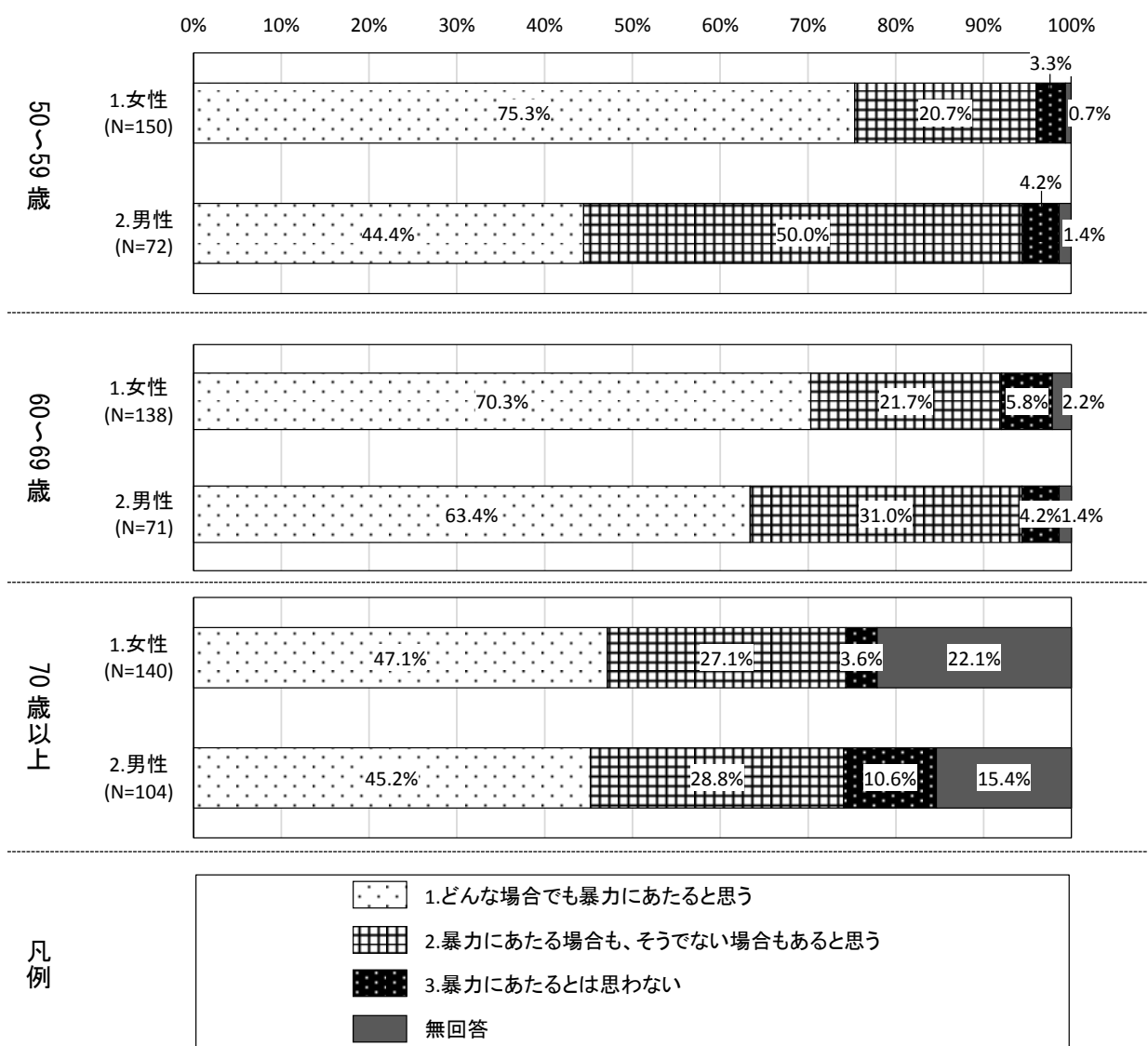
F. 家族・交友関係や行き先、電話・メール・SNSなどを細かく監視したり制限したりする

「どんな場合でも暴力にあたると思う」行為で、女性と男性で意識の差が最も大きかったのは、50～59歳で、女性が75.3%、男性が44.4%であり、男性より女性の割合が多くなっている。

一方、「暴力にあたるとは思わない」行為は、女性は16～19歳が最も多く9.3%、男性は20～29歳が最も多く16.4%であった。また、60～69歳を除いて、いずれの年齢層も女性より男性の割合が多くなっている。



3 調査結果  
DVなどの暴力について

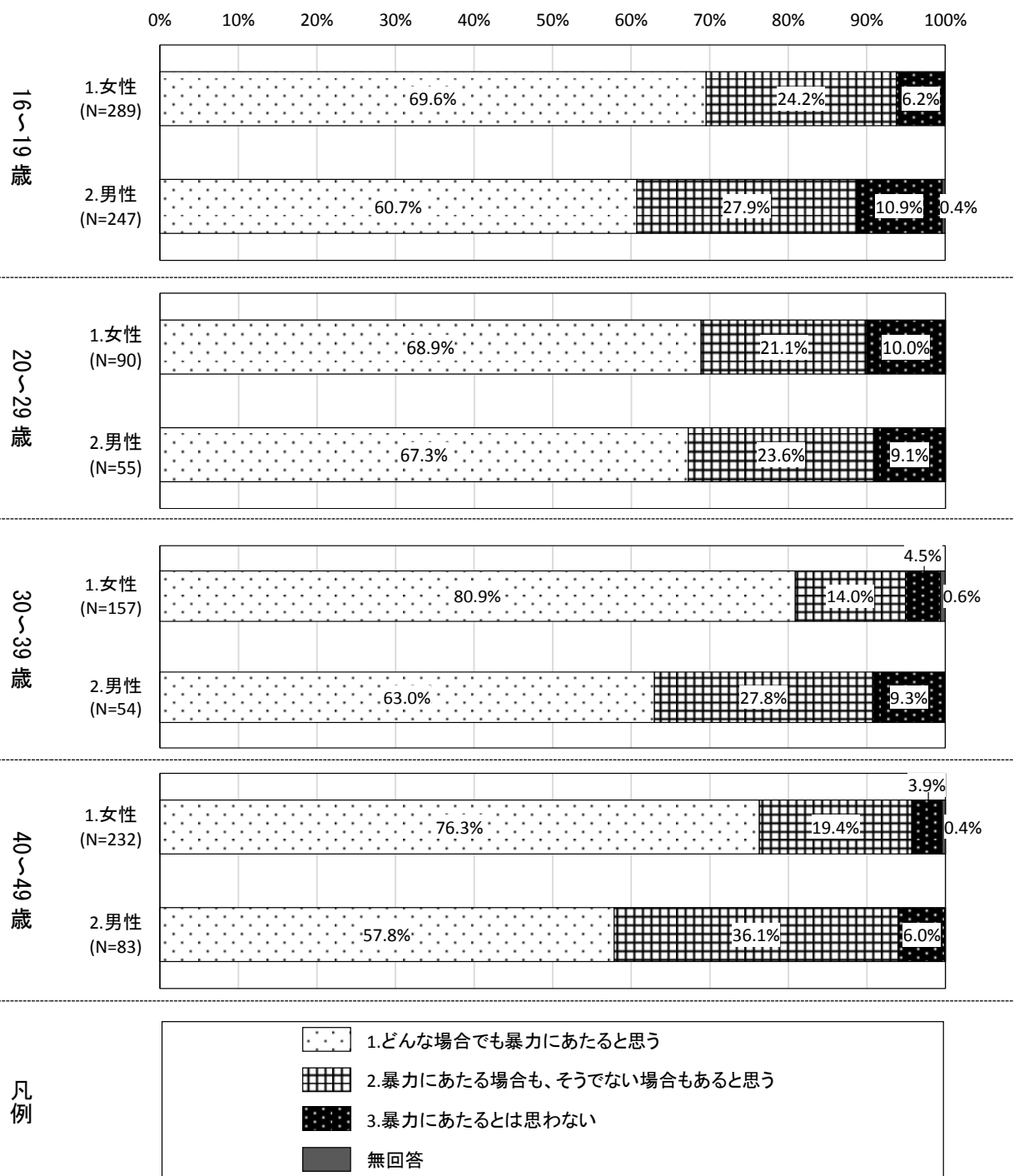




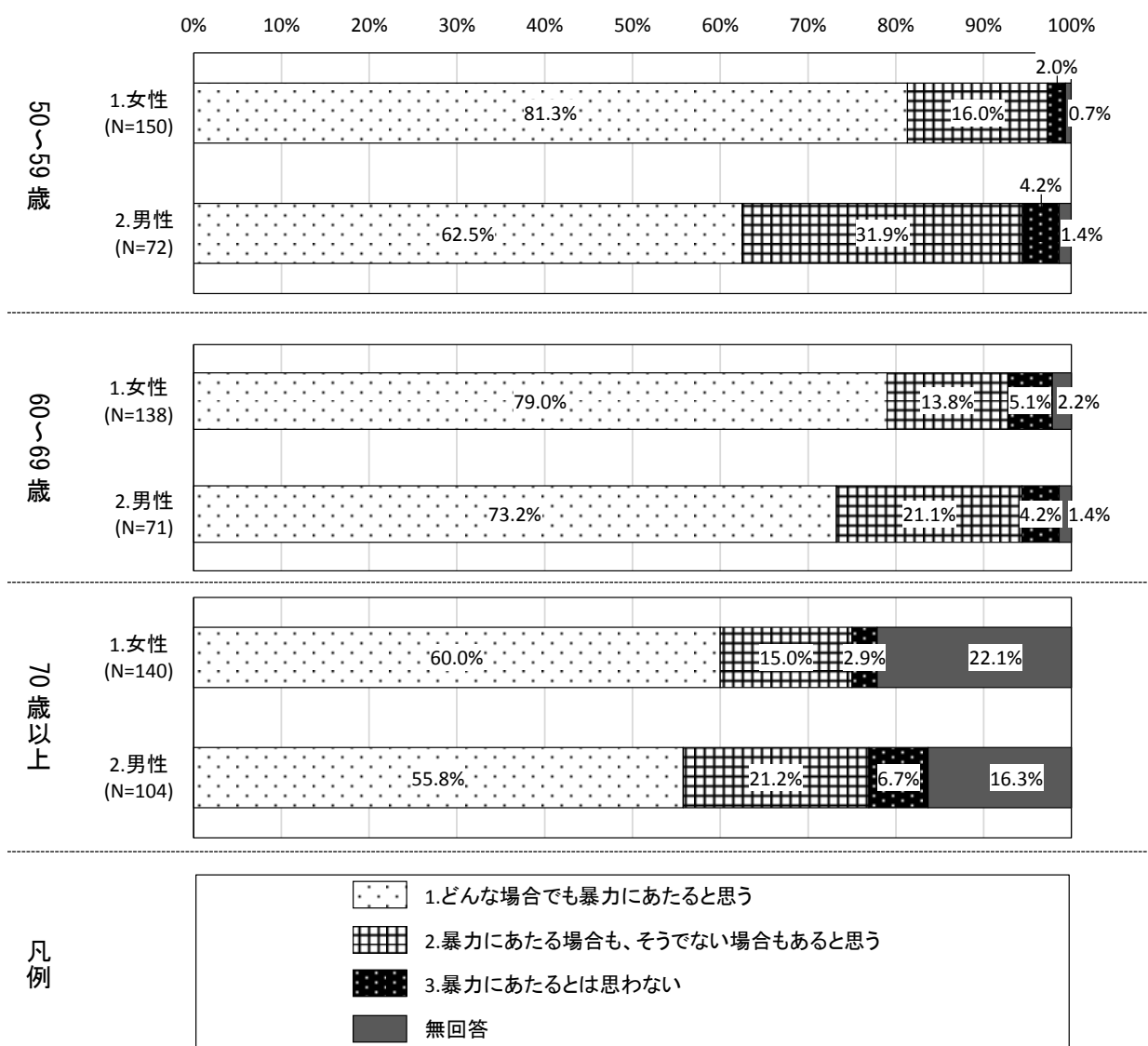
G. 家計に必要な生活費を渡さない

「どんな場合でも暴力にあたると思う」行為で、女性と男性で意識の差が最も大きかったのは、50～59歳で、女性が81.3%、男性が62.5%であり、男性より女性の割合が多くなっている。

一方、「暴力にあたるとは思わない」行為は、女性は20～29歳が最も多く10.0%、男性は16～19歳が最も多く10.9%であった。また、20～29歳と60～69歳を除いて、いずれの年齢層も女性より男性の割合が多くなっている。



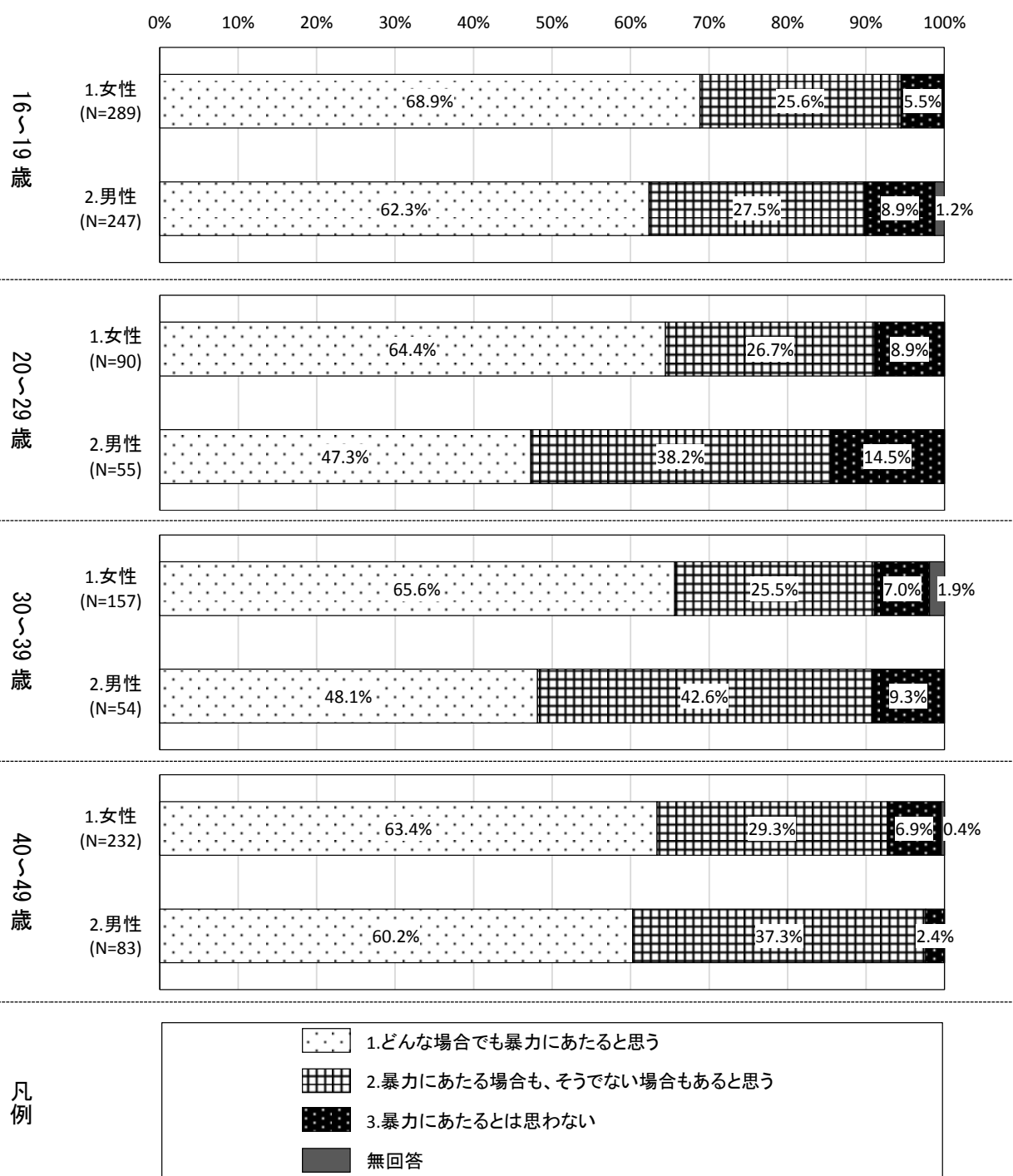
3 調査結果  
DVなどの暴力について



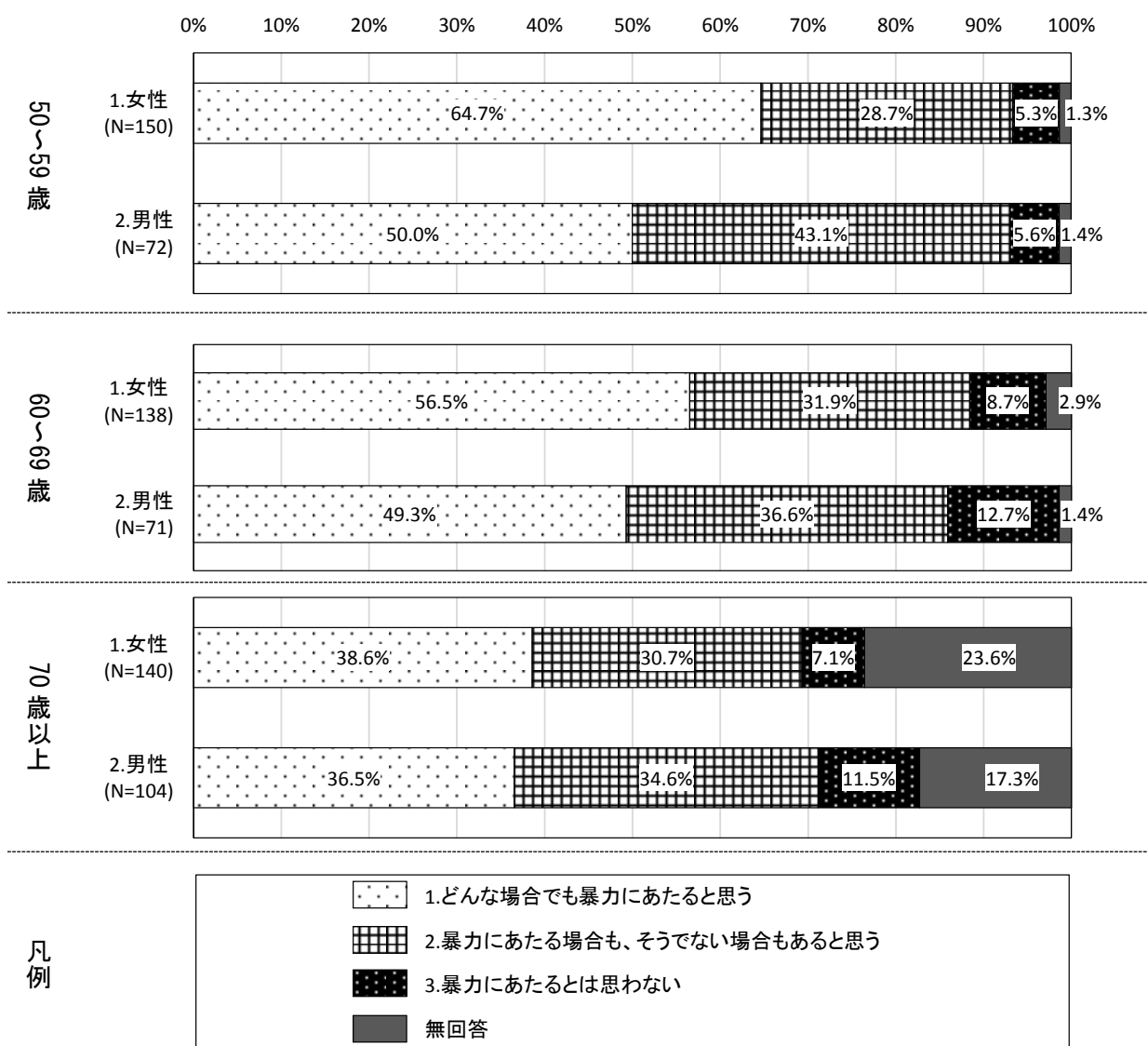
H. デート代などのお金を無理やり出させる

「どんな場合でも暴力にあたると思う」行為で、女性と男性で意識の差が最も大きかったのは、30～39歳で、女性が65.6%、男性が48.1%であり、男性より女性の割合が多くなっている。

一方、「暴力にあたるとは思わない」行為は、男女ともに20～29歳が最も多く、女性は8.9%、男性は14.5%であった。また、40～49歳を除いて、いずれの年齢層も女性より男性の割合が多くなっている。

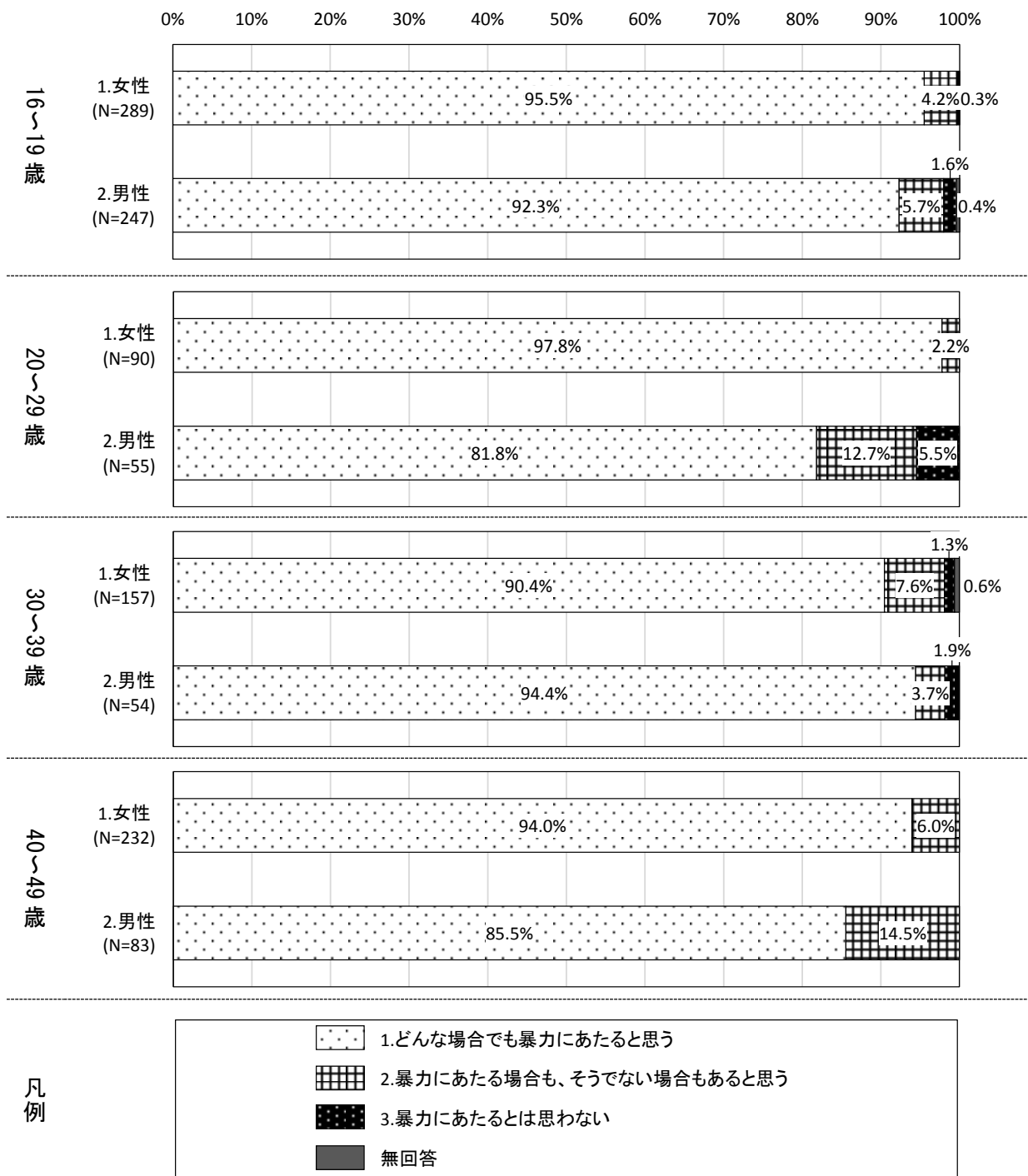


3 調査結果  
DVなどの暴力について

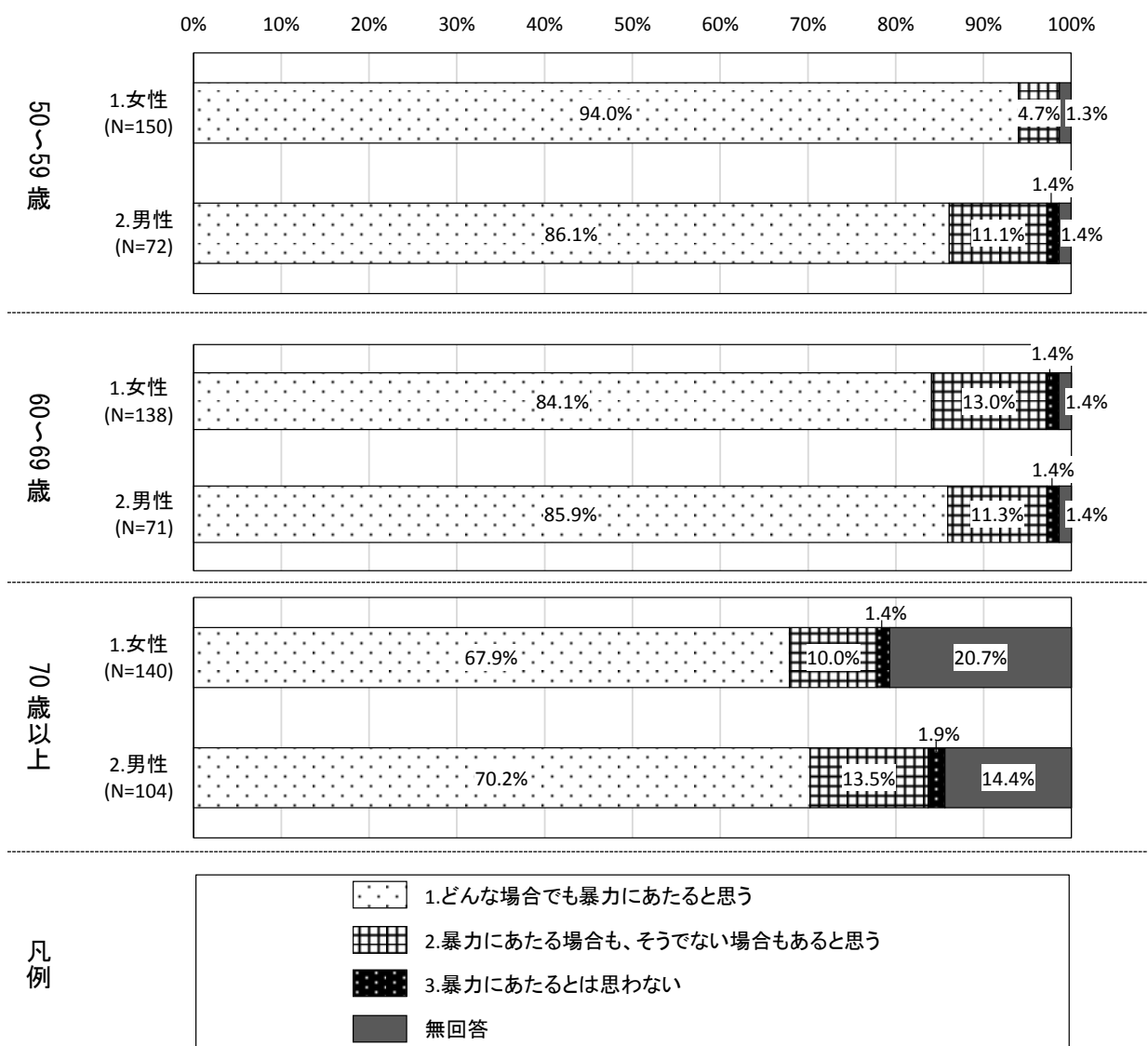


I. 嫌がっているのに性的な行為を強要する

「どんな場合でも暴力にあたると思う」行為で、女性と男性で意識の差が最も大きかったのは、20～29歳で、女性が97.8%、男性が81.8%であり、男性より女性の割合が多くなっている。

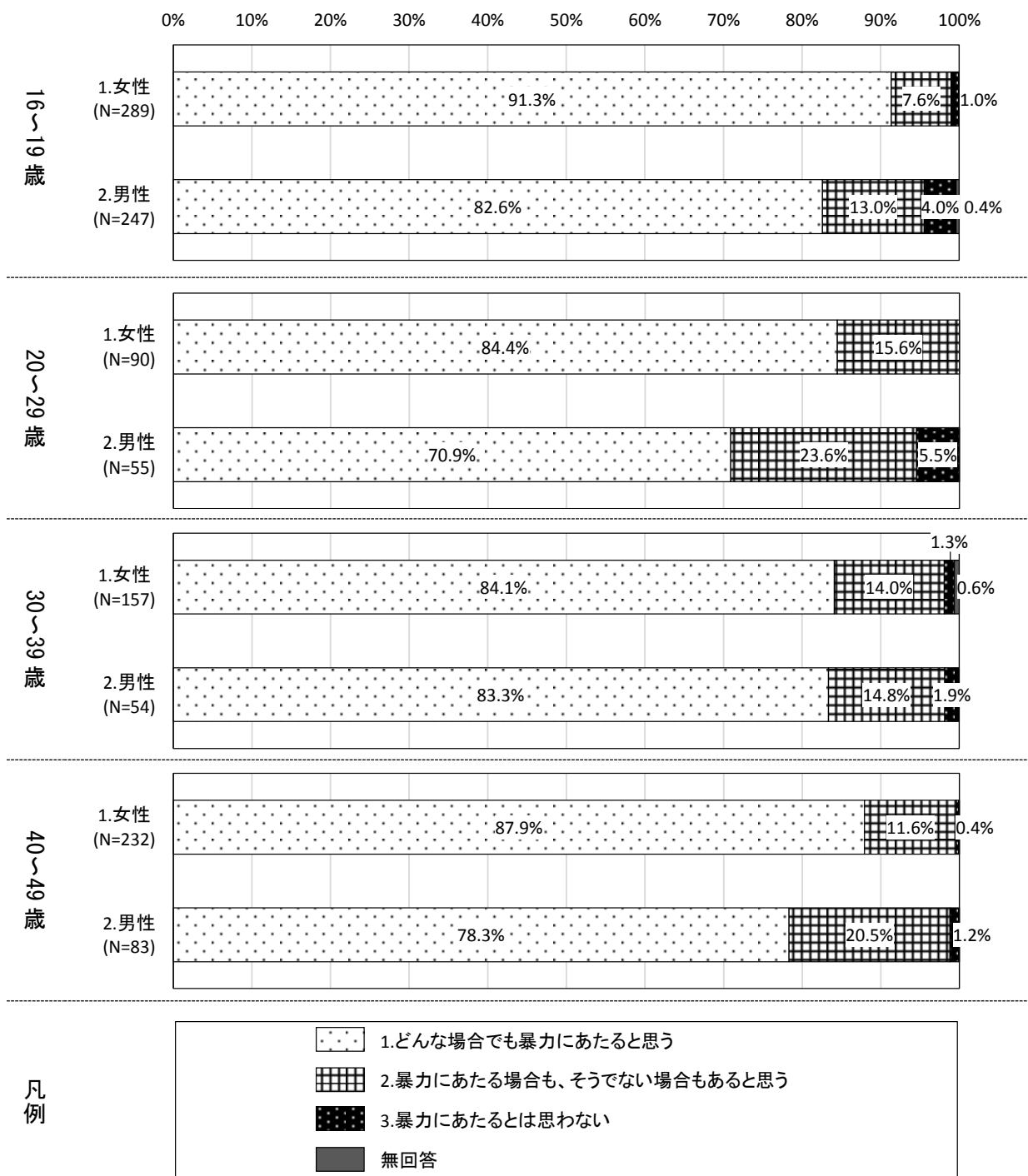


3 調査結果  
DVなどの暴力について

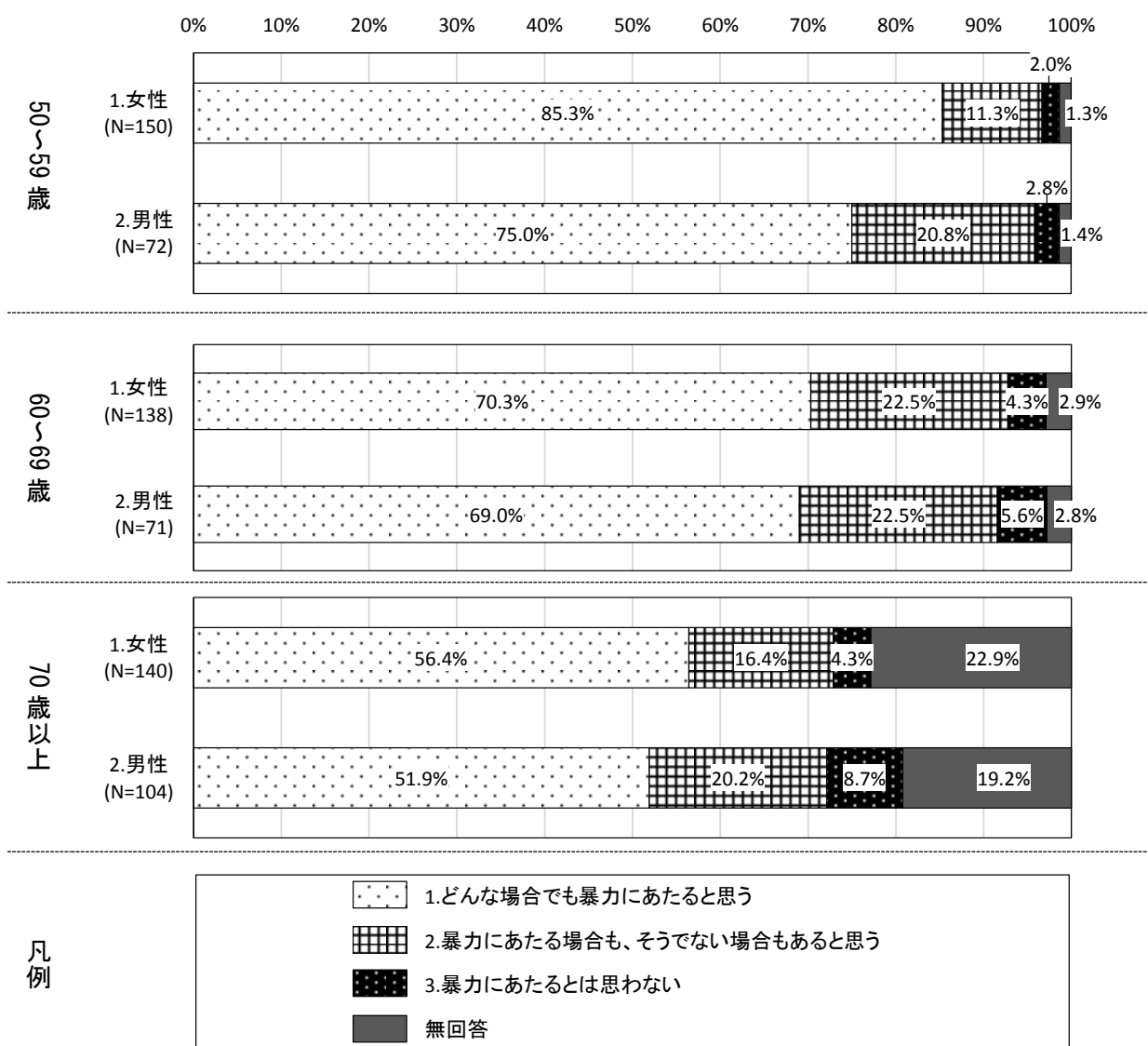


J. 避妊に協力しない

「どんな場合でも暴力にあたると思う」行為で、女性と男性で意識の差が最も大きかったのは、20～29歳で、女性が84.4%、男性が70.9%であり、男性より女性の割合が多くなっている。



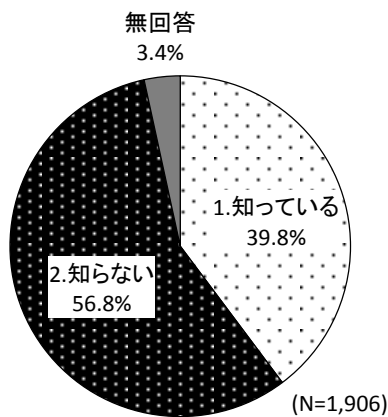
3 調査結果  
DVなどの暴力について





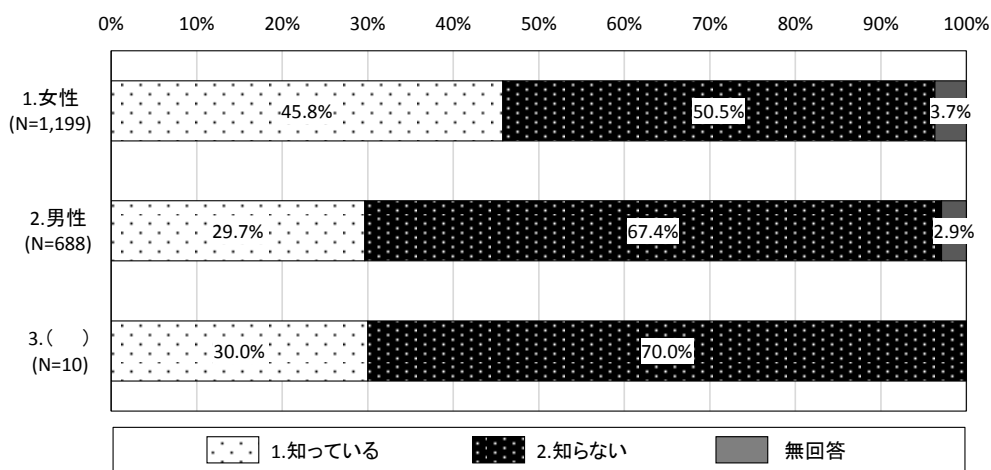
問 24 あなたは、配偶者や交際相手からの暴力について相談できる窓口があることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

「1. 知っている」が39.8%、「2. 知らない」が56.8%であった。



**性別**

「1. 知っている」は、女性が45.8%、男性が29.7%であり、男性より女性の割合が多くなっている。

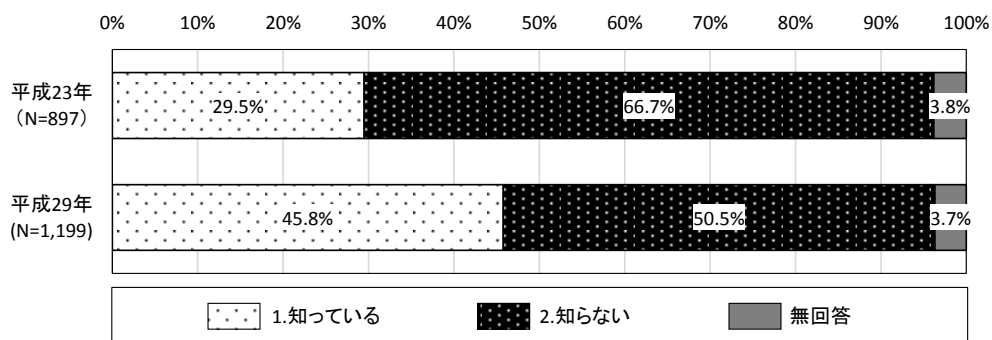


3 調査結果  
DVなどの暴力について

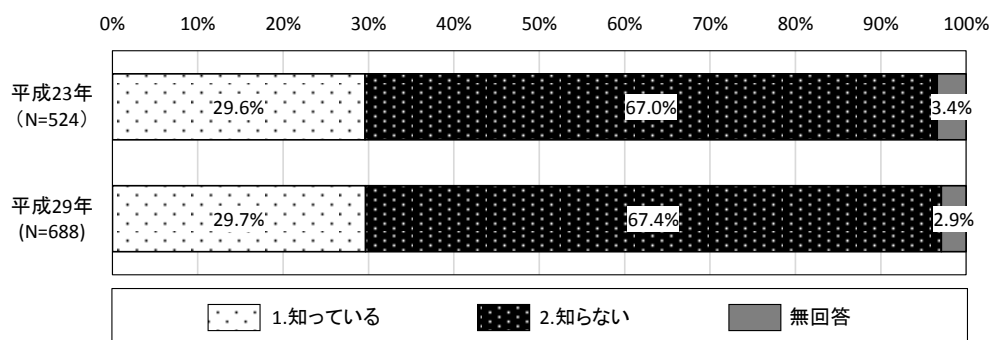
## 【過年度調査との比較】

配偶者や交際相手からの暴力について相談できる窓口について、女性の認知度は向上しているが、男性の認知度は約3割で推移している。

## 《女性》



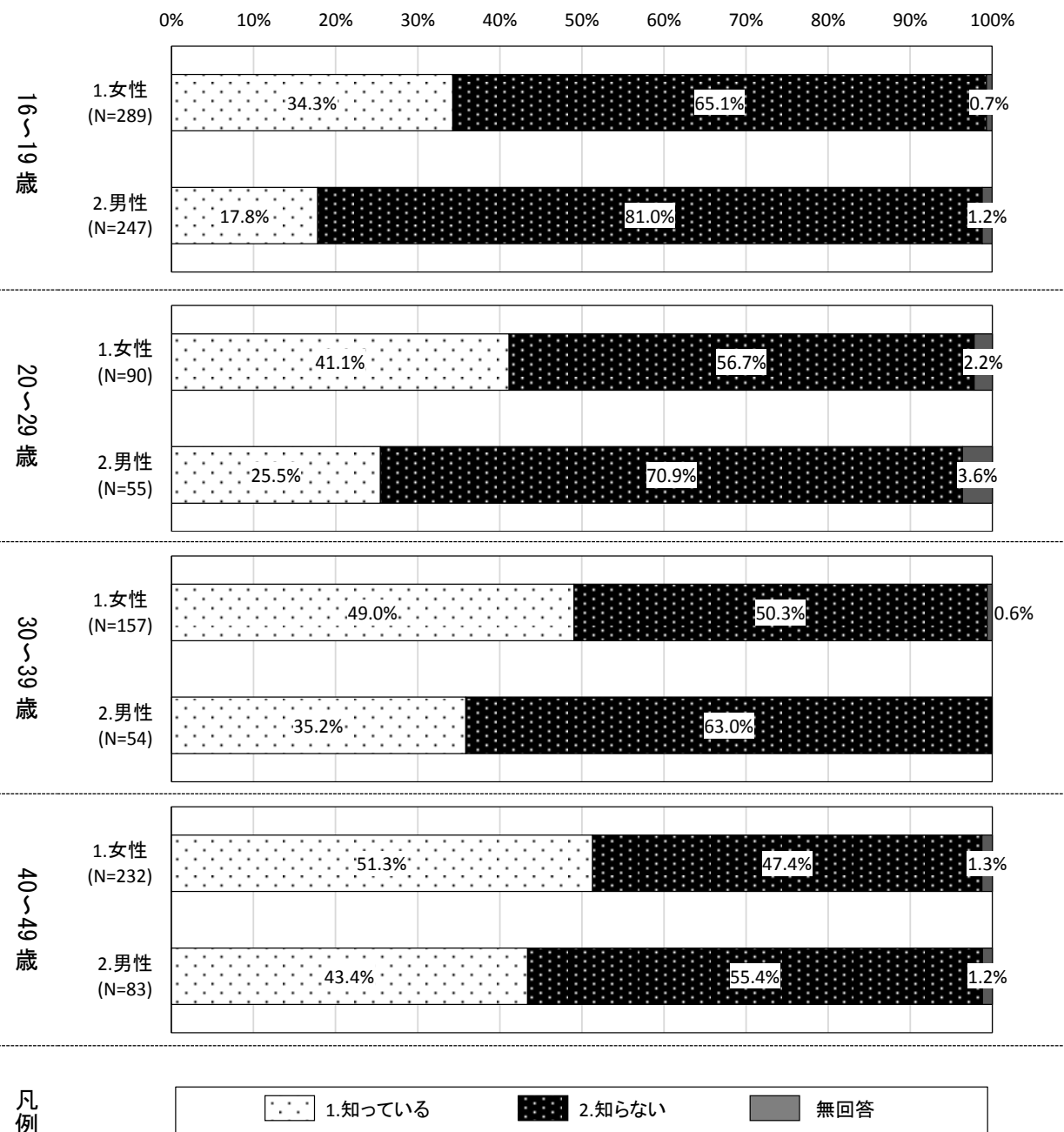
## 《男性》



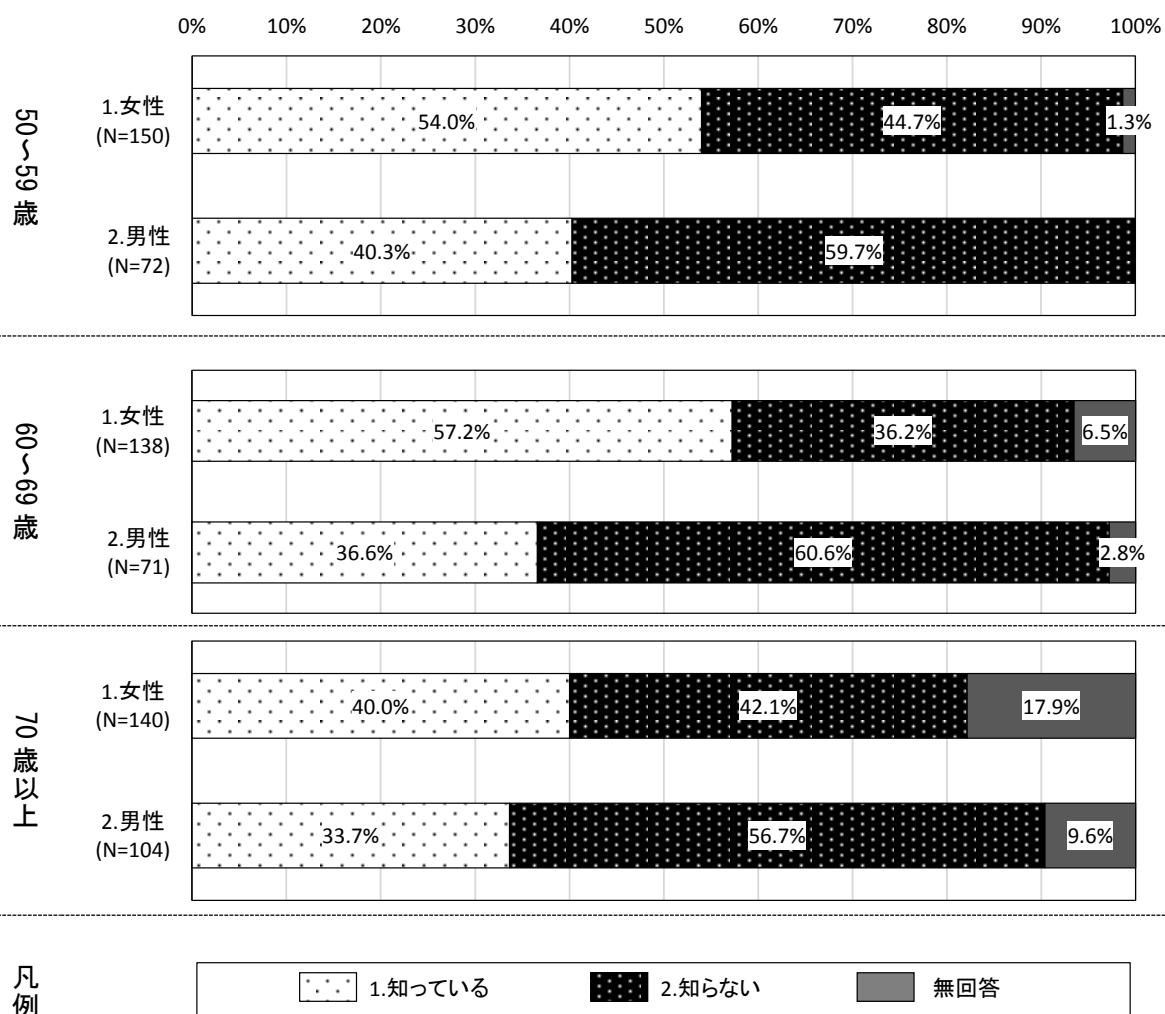
**年齢別かつ性別**

いずれも「2. 知らない」は、女性より男性の割合が多くなっている。

なお、「2. 知らない」で、女性と男性で意識の差が最も大きかったのは、60～69歳で、女性が36.2%、男性が60.6%であり、女性より男性の割合が多くなっている。



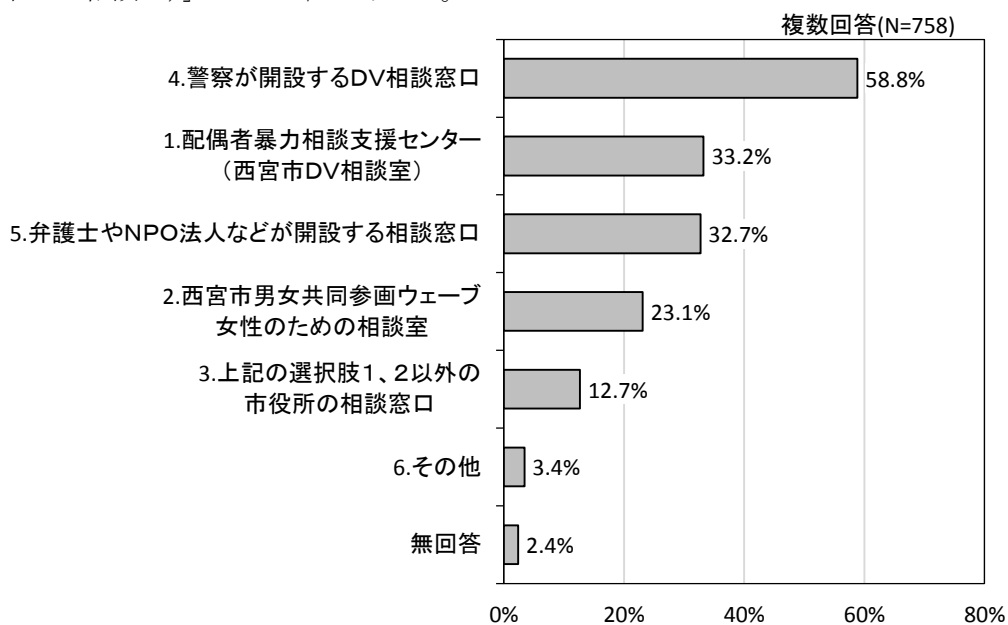
3 調査結果  
DVなどの暴力について



【問 24 で「1. 知っている」を選択した方におたずねします】

問 24-1 次のうち、どの相談窓口を知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

「4. 警察が開設するDV相談窓口」が最も多く 58.8%、次いで「1. 配偶者暴力相談支援センター（西宮市DV相談室）」が 33.2%であった。



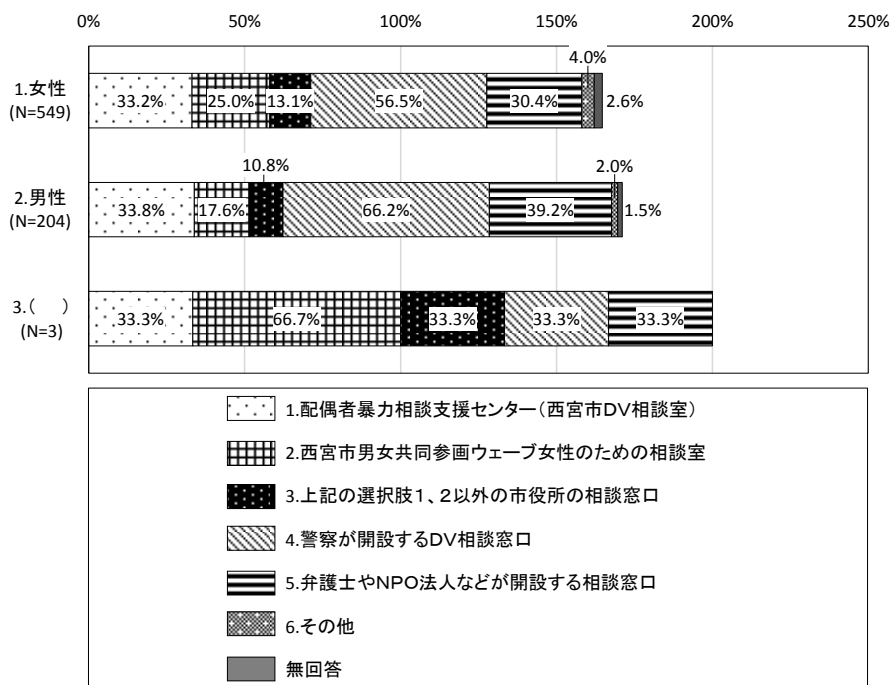
#### 「6. その他」の回答

- ・あることは知っているが具体的には知らない。
- ・知っているというより調べれば分かるという認識。
- ・病院で相談にのってくれる所がある。 等

**性別**

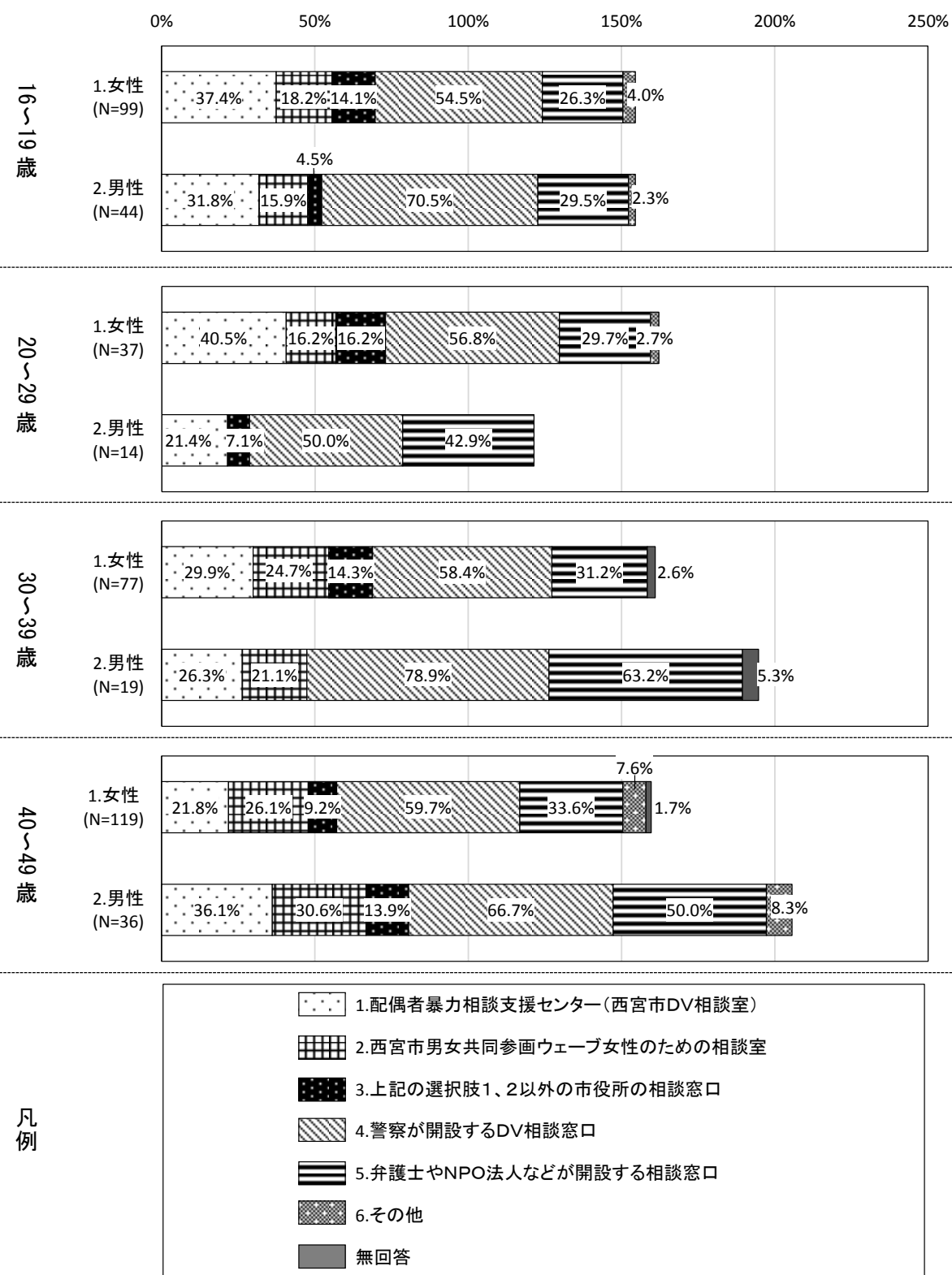
男女ともに「4. 警察が開設するDV相談窓口」が最も多くなっている。

なお、「1. 配偶者暴力相談支援センター（西宮市DV相談室）」の認知度は、女性が 33.2%、男性が 33.8%であり、「2. 西宮市男女共同参画ウェブ女性のための相談室」の認知度は、女性が 25.0%、男性が 17.6%であった。

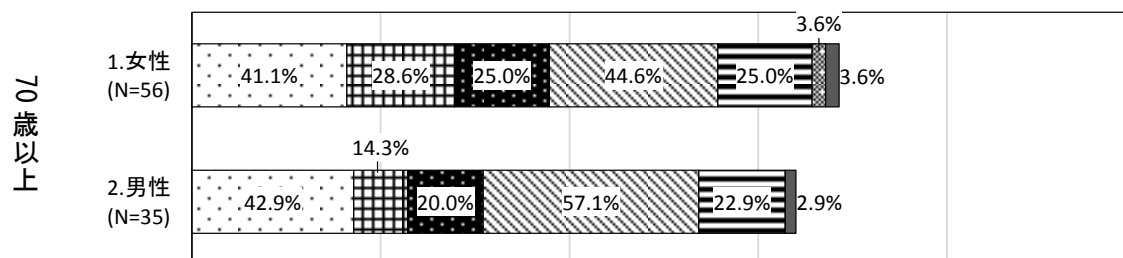
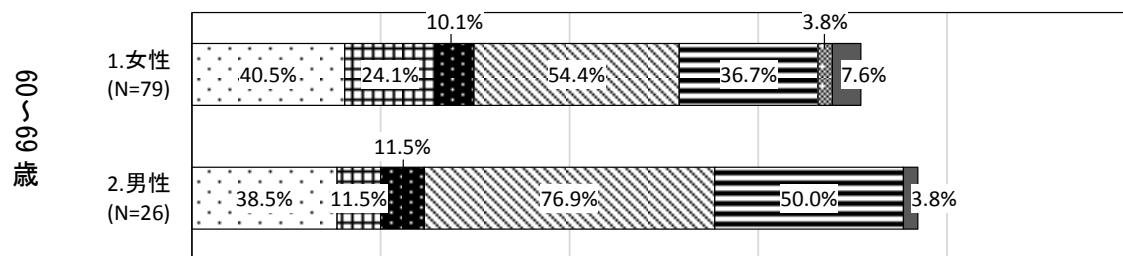
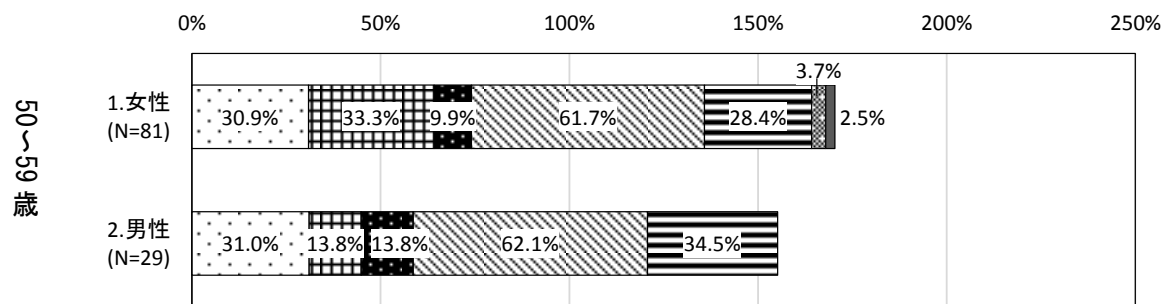


年齢別かつ性別

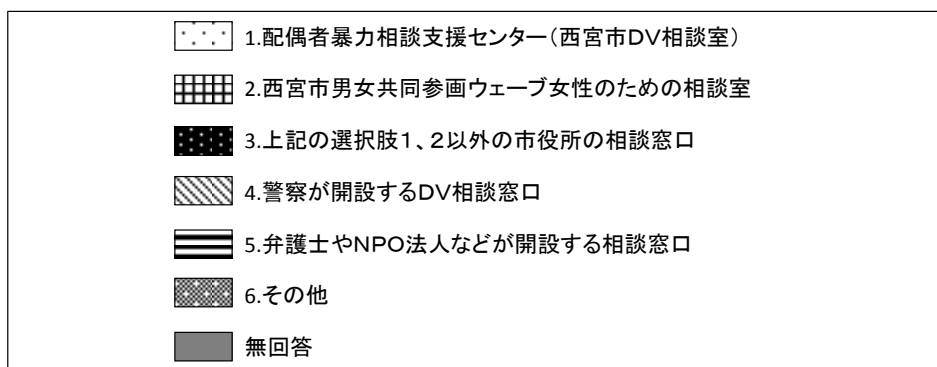
いずれも「4. 警察が開設するDV相談窓口」が最も多くなっている。



3 調査結果  
DVなどの暴力について



凡例

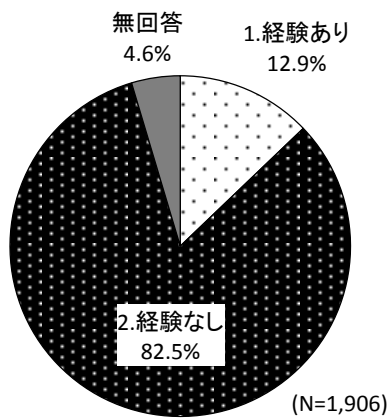




問 25 あなたは、配偶者もしくは交際相手から問 23 の A～J のような行為を受けた経験がありますか。(あてはまるもの 1 つに○)

※ここでの「配偶者」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の相手も含みます。

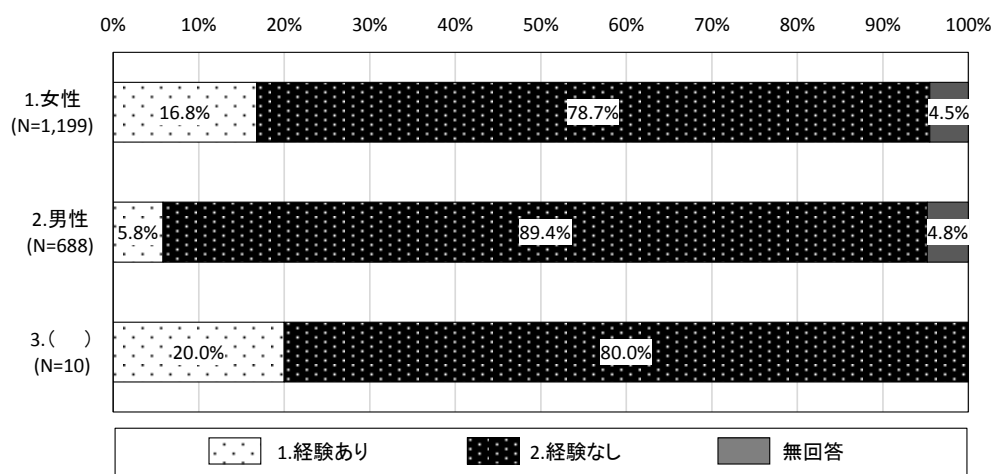
「1. 経験あり」が 12.9%、「2. 経験なし」が 82.5%であった。



3 調査結果  
DVなどの暴力について

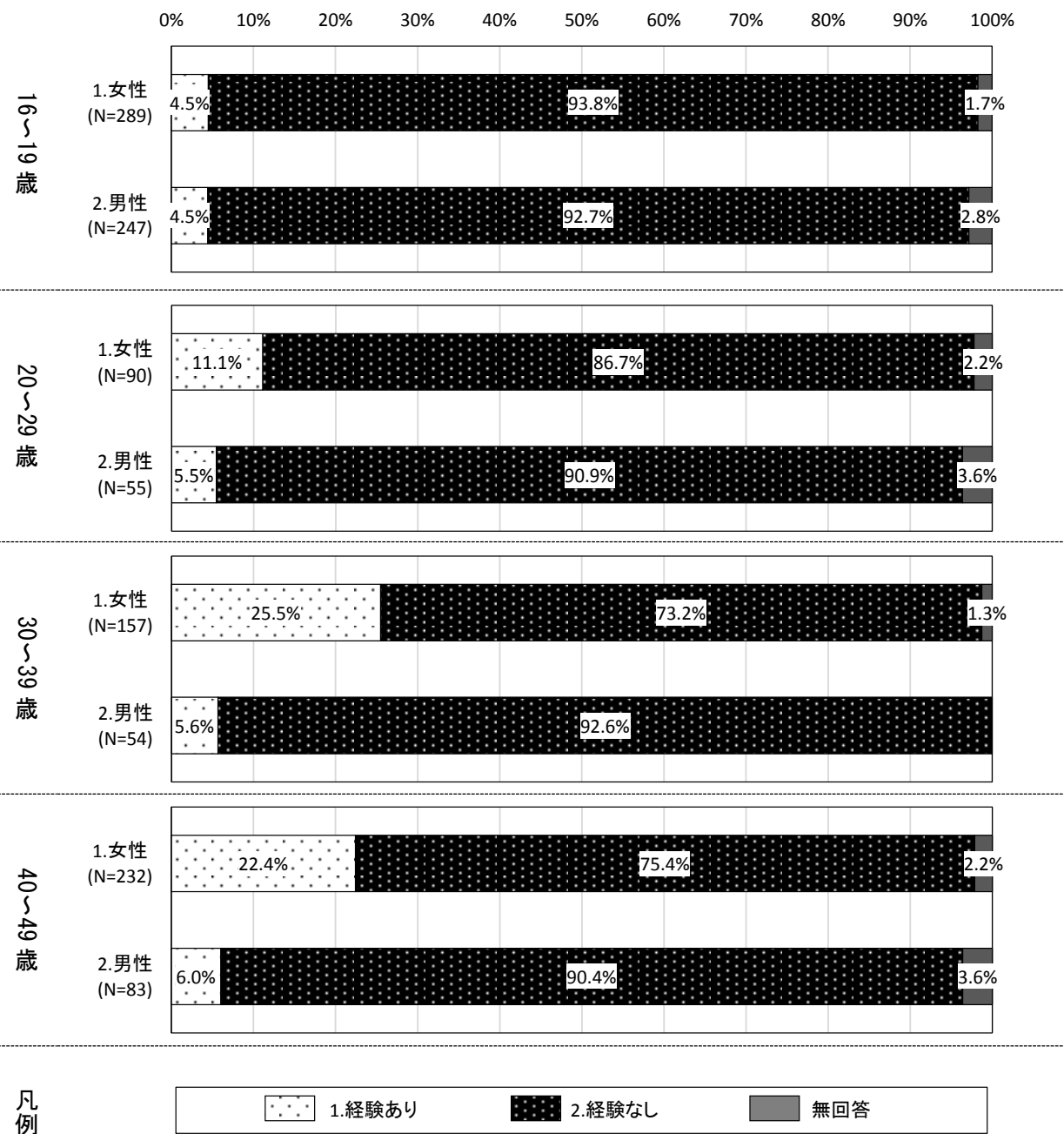
## 性別

「1. 経験あり」は、女性が16.8%、男性が5.8%であり、男性より女性の割合が多くなっている。

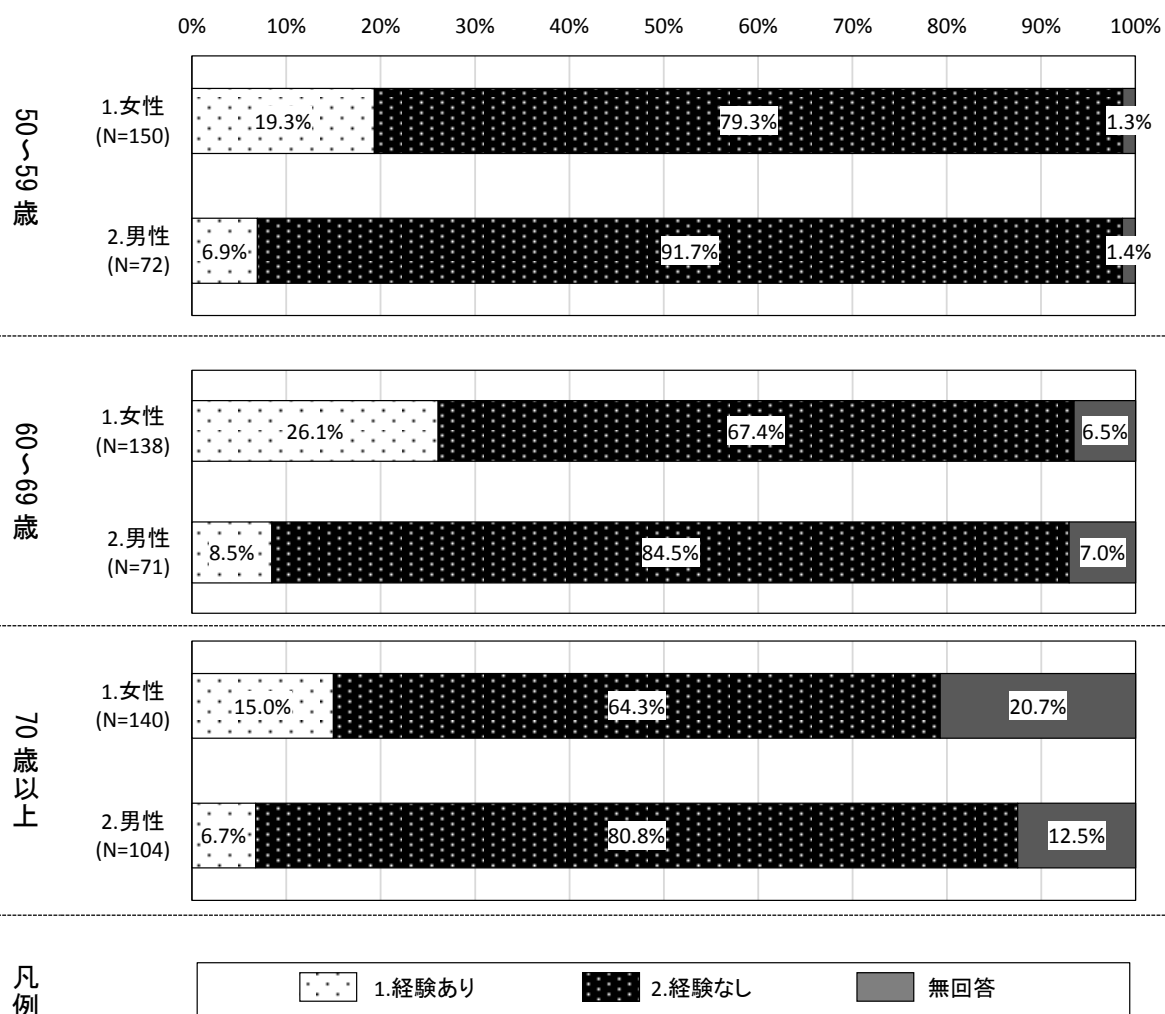


年齢別かつ性別

16～19歳を除いて、いずれの年齢層も「1. 経験あり」は、男性より女性の割合が多くなっている。なお、女性と男性で差が最も大きかったのは、30～39歳で、女性が25.5%、男性が5.6%であった。



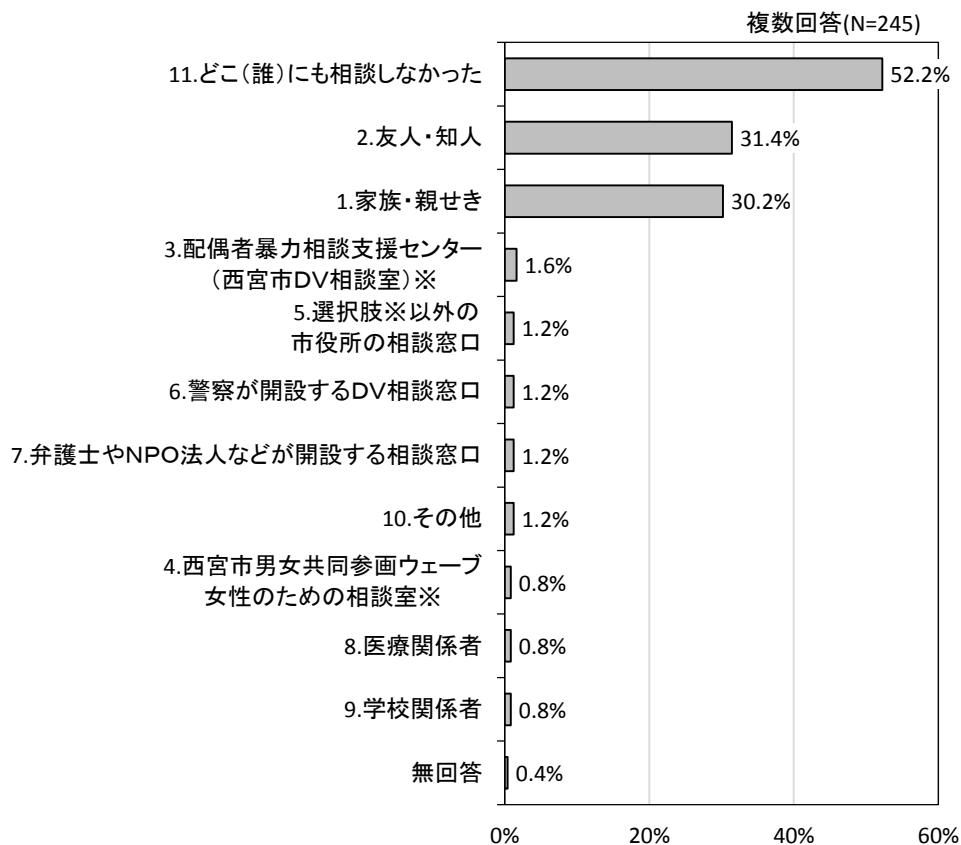
3 調査結果  
DVなどの暴力について



【問 25 で「1. 経験あり」を選択した方におたずねします】

問 25-1 あなたは、そのような行為を受けた際、どこ（誰）に相談しましたか。  
（あてはまるものすべてに○）

「11. どこ（誰）にも相談しなかった」が最も多く 52.2%、次いで「2. 友人・知人」が 31.4%、「1. 家族・親せき」が 30.2%であった。



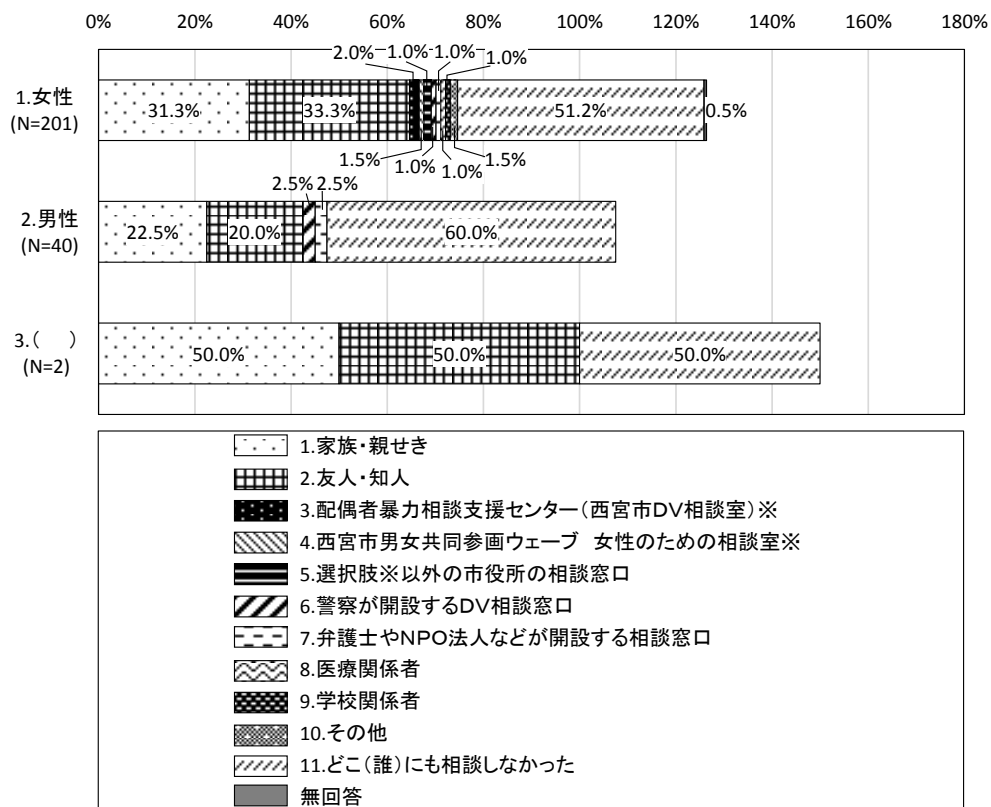
「10. その他」の回答

- ・警察に通報。
- ・上司（職場でおきたから） 等

**性別**

男女ともに「11. どこ（誰）にも相談しなかった」が最も多く、次いで、女性は「2. 友人・知人」、男性は「1. 家族・親せき」であった。

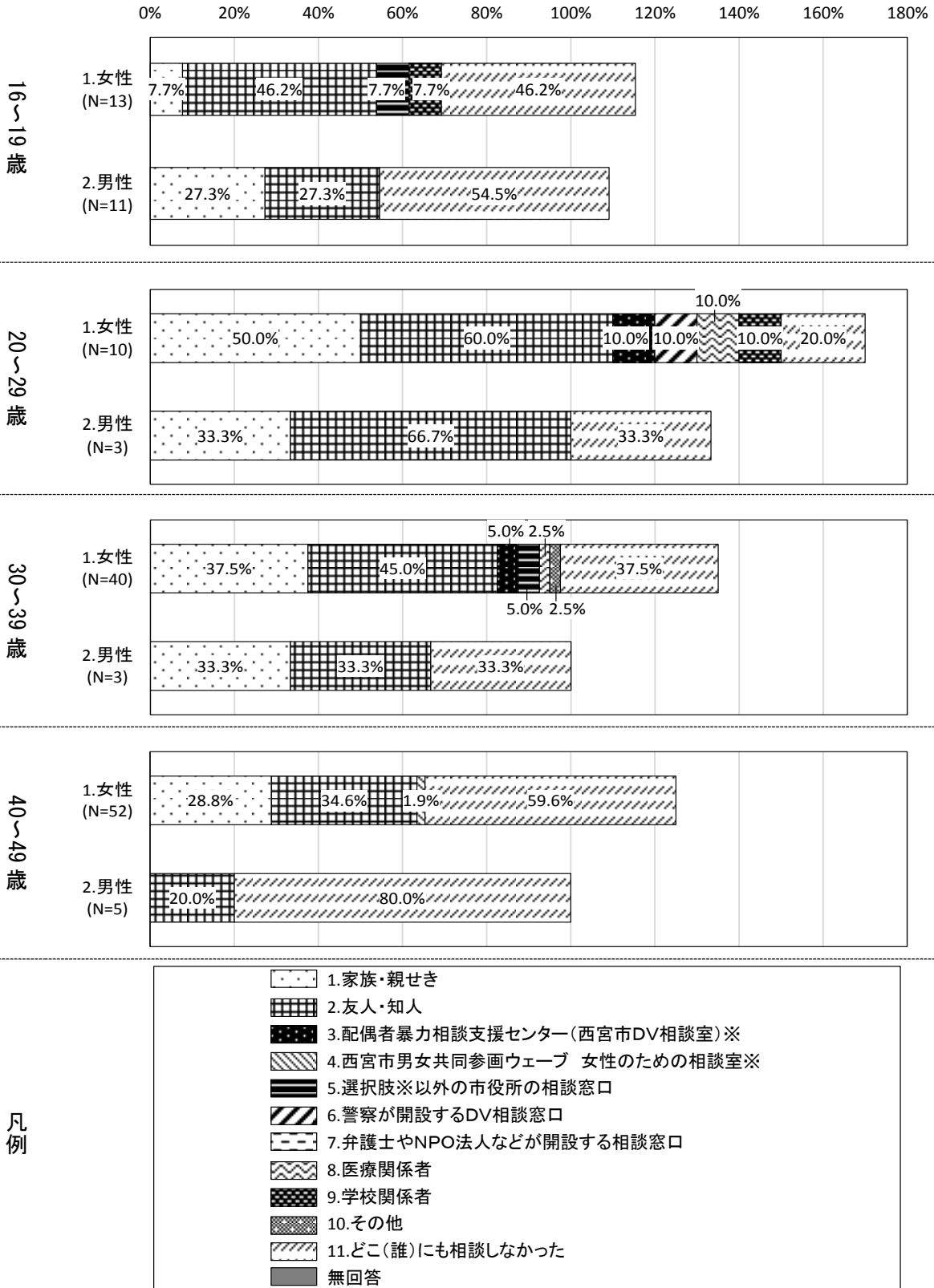
なお、「11. どこ（誰）にも相談しなかった」は、女性より男性の割合が多くなっている。



年齢別かつ性別

40歳以上は、いずれも「11. どこ（誰）にも相談しなかった」が最も多くなっている。

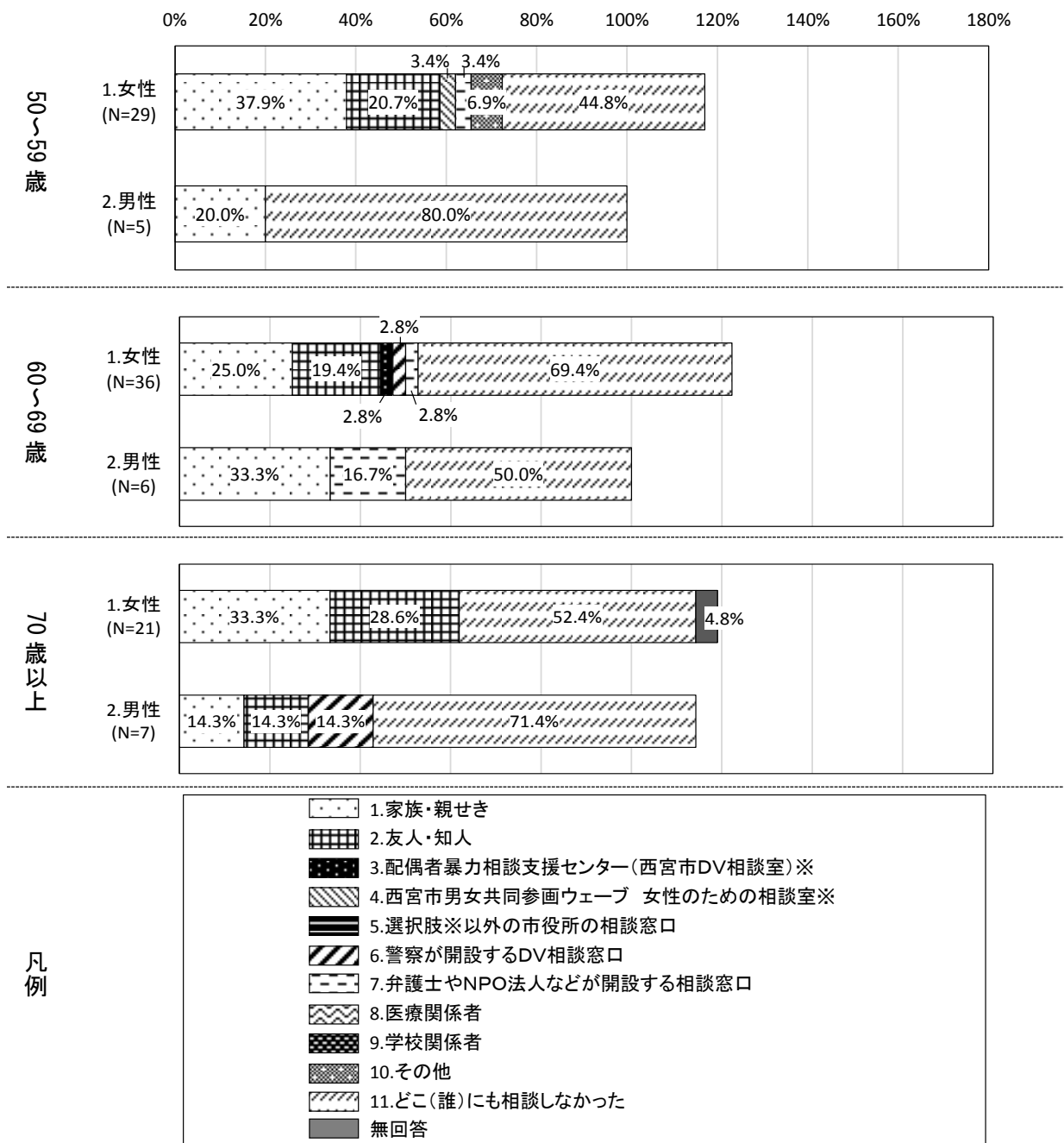
40歳未満は、40歳以上に比べて「1. 家族・親せき」や「2. 友人・知人」へ相談した人の割合が比較的多くなっている。



凡例

- 1. 家族・親せき
- 2. 友人・知人
- 3. 配偶者暴力相談支援センター(西宮市DV相談室)※
- 4. 西宮市男女共同参画ウェブ 女性のための相談室※
- 5. 選択肢※以外の市役所の相談窓口
- 6. 警察が開設するDV相談窓口
- 7. 弁護士やNPO法人などが開設する相談窓口
- 8. 医療関係者
- 9. 学校関係者
- 10. その他
- 11. どこ(誰)にも相談しなかった
- 無回答

3 調査結果  
DVなどの暴力について

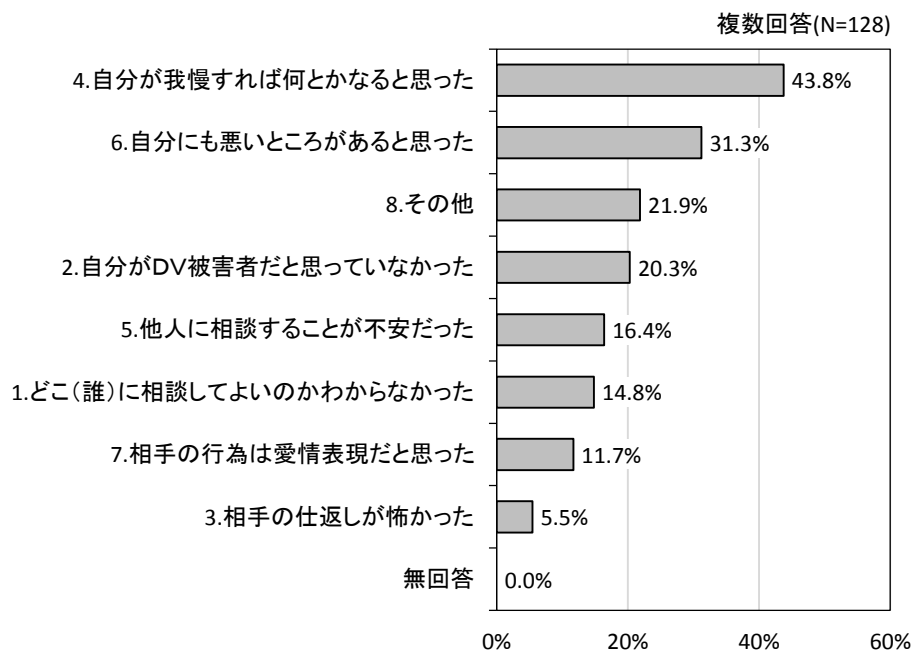




【問 25-1 で「11. どこ（誰）にも相談しなかった」を選択した方におたずねします】

問 25-2 どこ（誰）にも相談しなかったのはなぜですか。（あてはまるものすべてに○）

「4. 自分が我慢すれば何とかかなと思った」が最も多く 43.8%、次いで「6. 自分にも悪いところがあると思った」が 31.3%であった。

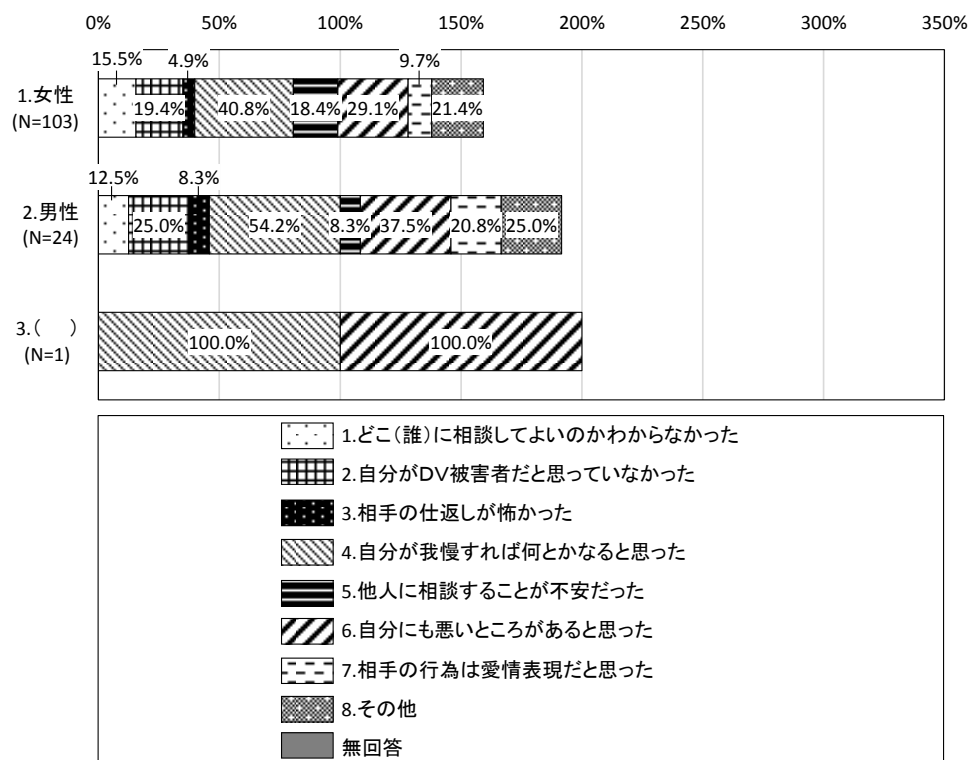


「8. その他」の回答

- ・相談しても今より良い結果が得られると思わなかった。
- ・相談窓口はもっと深刻な悩みを持った人を対象にしていると思った。
- ・恥ずかしかった。自分でも認めたくなかった。 等

## 性別

男女ともに「4. 自分が我慢すれば何とかなると思った」が最も多く、次いで「6. 自分にも悪いところがあると思った」であった。

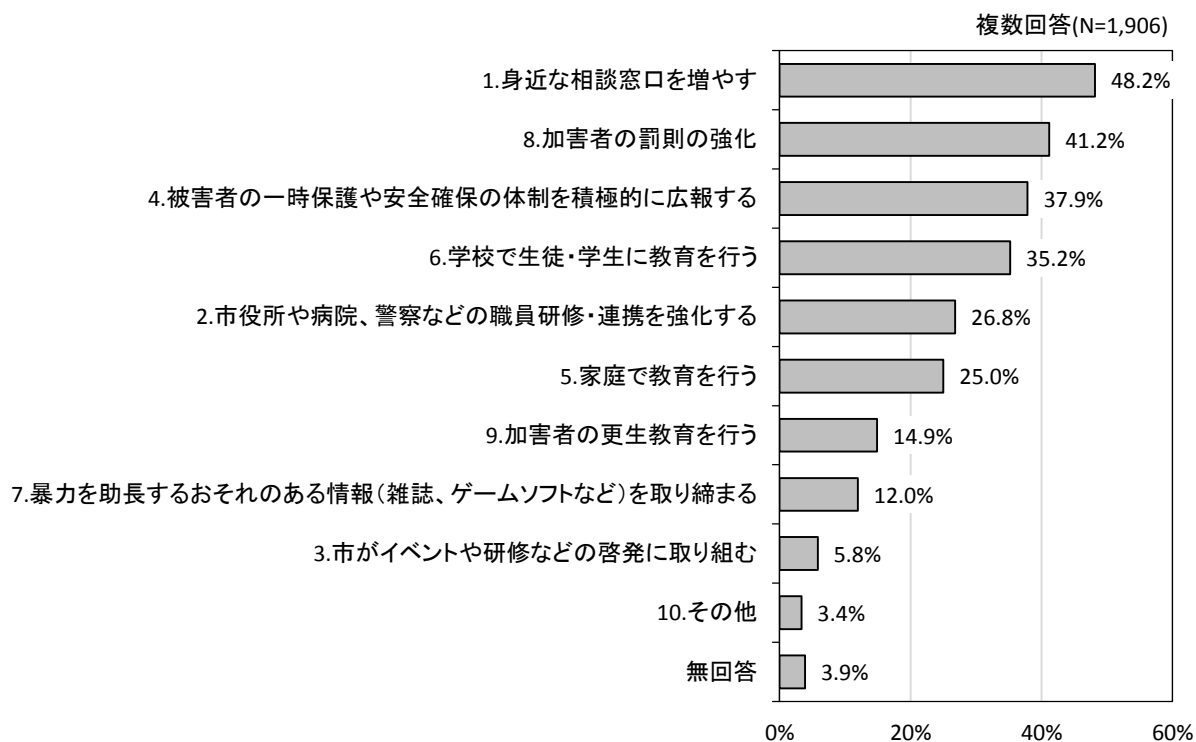


【全員におたずねします】

問 26 あなたは、配偶者や交際相手からの暴力防止に必要なことは、何だと思われますか。  
 (優先的にすべきもの3つまでに○)

※ここでの「配偶者」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の相手も含まれます。

「1. 身近な相談窓口を増やす」が最も多く 48.2%、次いで「8. 加害者の罰則の強化」が 41.2%、  
 「4. 被害者の一時保護や安全確保の体制を積極的に広報する」が 37.9%であった。



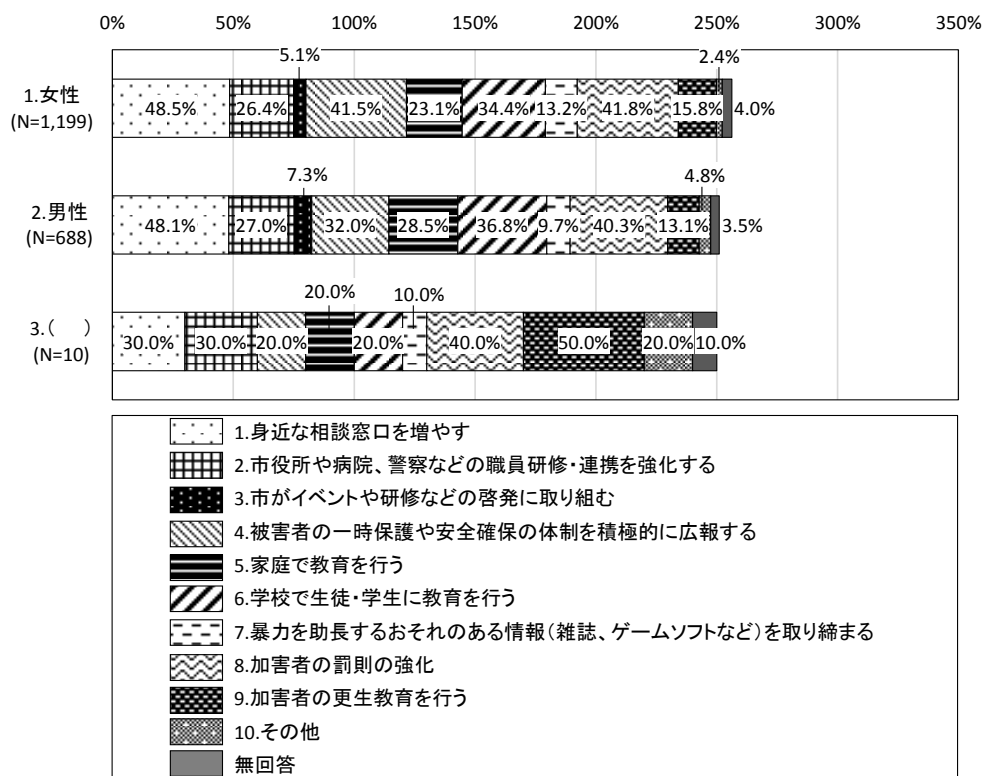
「10. その他」の回答

- ・ 近隣とのコミュニケーションなどの強化。
- ・ 地下鉄等到人通りが多い場所に電話番号をはる。受付時間を24時間にする。 等

3 調査結果  
DVなどの暴力について

**性別**

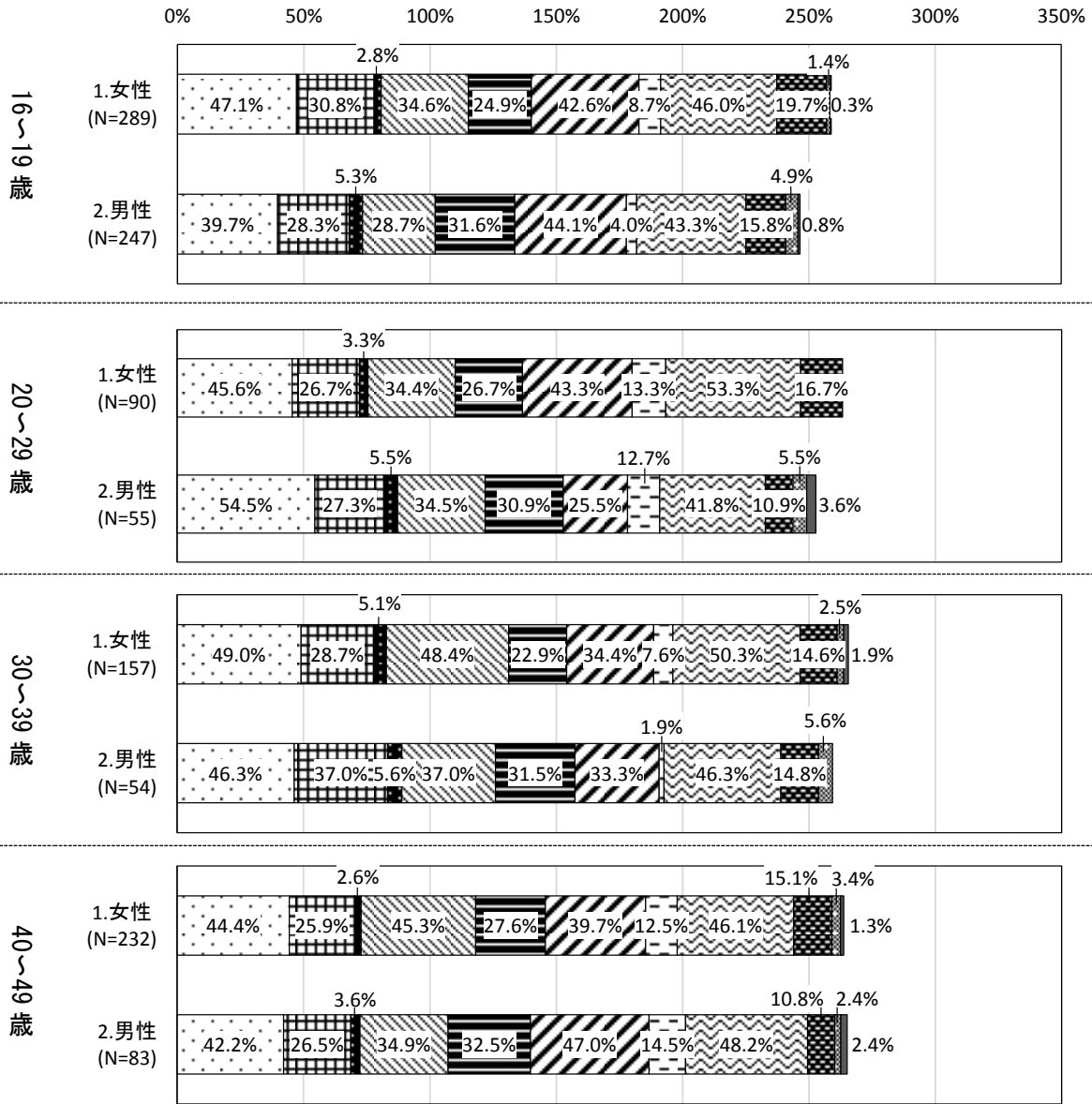
男女ともに「1. 身近な相談窓口を増やす」が最も多く、次いで「8. 加害者の罰則の強化」であった。



年齢別かつ性別

50歳以上は、いずれも「1. 身近な相談窓口を増やす」が最も多くなっている。

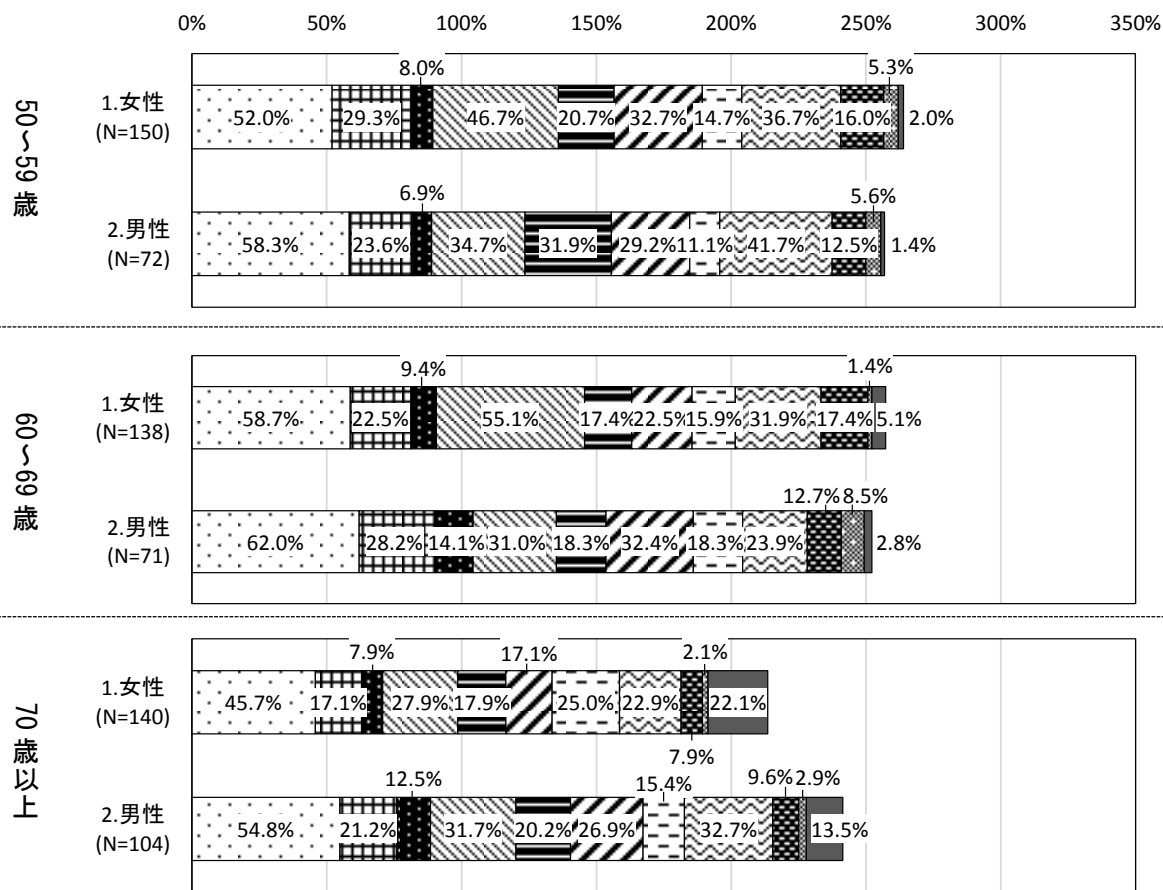
50歳未満は、16～19歳の女性、20～29歳の男性を除いて、「8. 加害者の罰則の強化」が最も多くなっている。



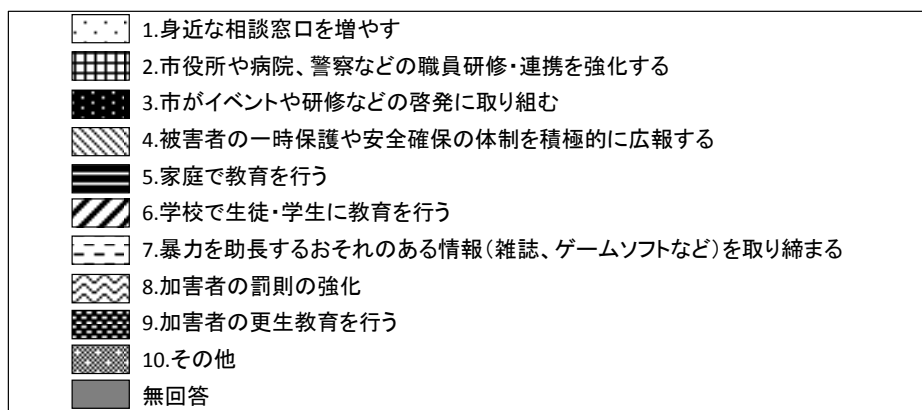
凡例

- 1. 身近な相談窓口を増やす
- 2. 市役所や病院、警察などの職員研修・連携を強化する
- 3. 市がイベントや研修などの啓発に取り組む
- 4. 被害者の一時保護や安全確保の体制を積極的に広報する
- 5. 家庭で教育を行う
- 6. 学校で生徒・学生に教育を行う
- 7. 暴力を助長するおそれのある情報(雑誌、ゲームソフトなど)を取り締まる
- 8. 加害者の罰則の強化
- 9. 加害者の更生教育を行う
- 10. その他
- 無回答

3 調査結果  
DVなどの暴力について



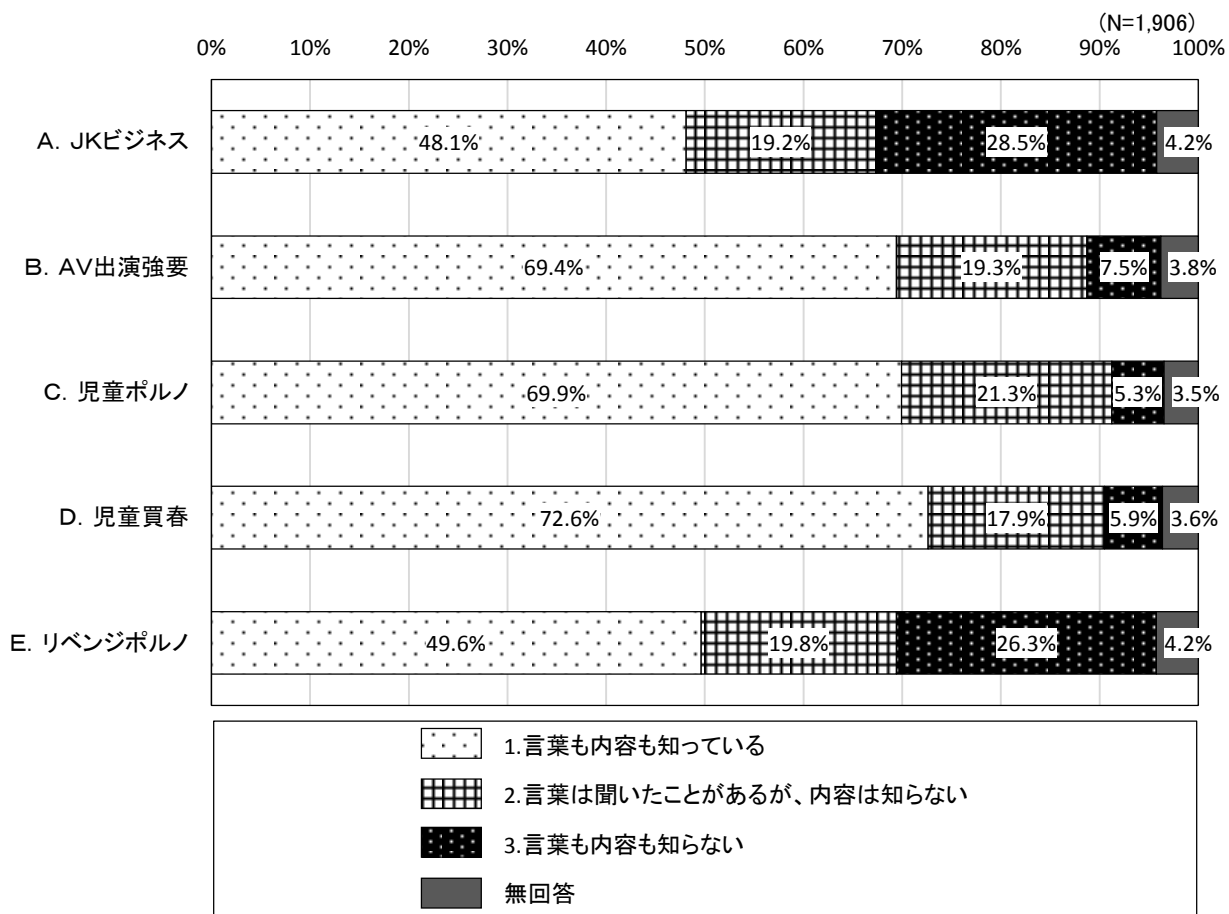
凡例



問 27 あなたは、近年、特に問題となっている性暴力に関する次の言葉をどの程度知っていますか。(A～Eの項目ごとにあてはまるものを1つずつ○)

言葉も内容も知っているは、「D. 児童買春」が最も多く 72.6%、次いで「C. 児童ポルノ」が 69.9%、「B. AV出演強要」が 69.4%であった。

言葉も内容も知らないは「A. JKビジネス」が最も多く 28.5%、「E. リベンジポルノ」が 26.3%であった。

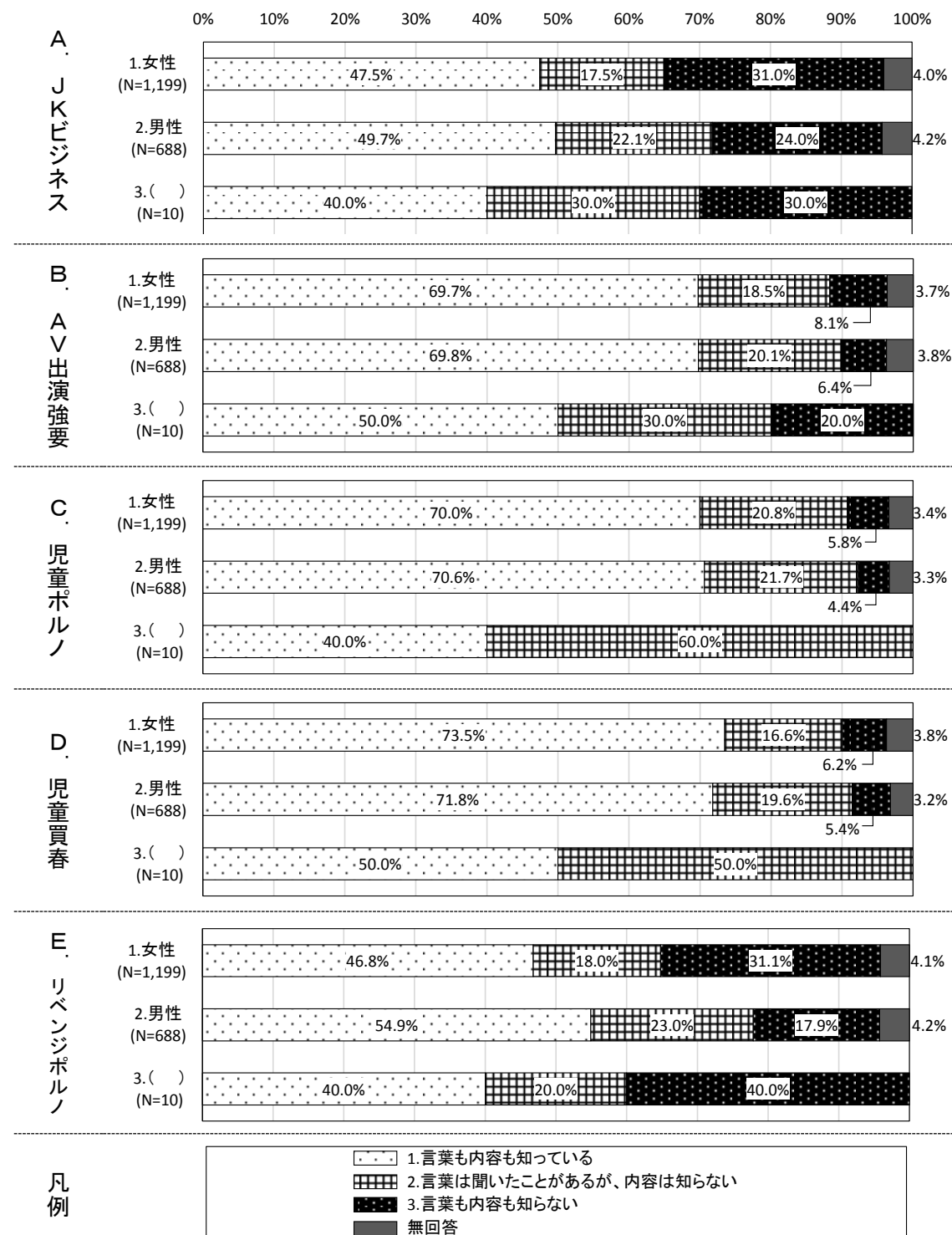


- ※1 JKビジネス : 女子高校生などをつかって、異性の客と会話やゲームなどをする、散歩をする、個室でマッサージや添い寝をするなど性的な行為を強要する問題。
- ※2 AV出演強要 : モデルやアイドルの勧誘をきっかけに、AV (アダルトビデオ) への出演を強要される問題。
- ※3 児童ポルノ : 18歳に満たない児童の性的な部位の露出や性的な行為を撮影した写真や動画。
- ※4 児童買春 : 18歳に満たない児童に対して、対償を与え、性交などをする行為。
- ※5 リベンジポルノ : 元交際相手が、相手から拒否されたことの仕返しに、相手の裸の写真や動画など、相手が公開するつもりのない私的な性的画像を無断でインターネットの掲示板などに公開する行為。

性別

「1. 言葉も内容も知っている」は、「D. 児童買春」を除いて、いずれも女性より男性の割合が多くなっている。

なお、「3. 言葉も内容も知らない」で、女性と男性で差が最も大きかったのは「E. リベンジポルノ」であり、女性が31.1%、男性が17.9%と、男性より女性の割合が多くなっている。



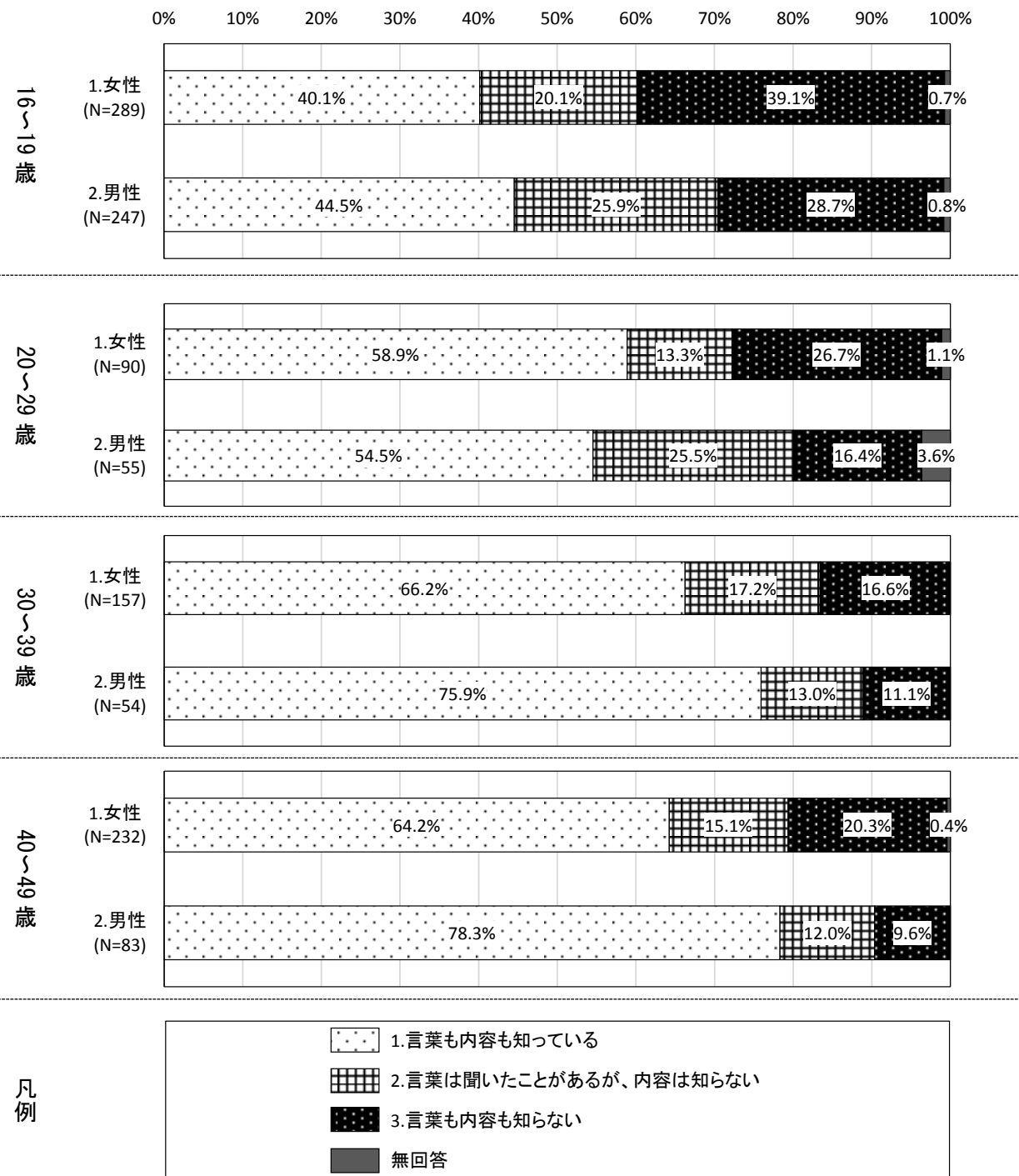


年齢別かつ性別

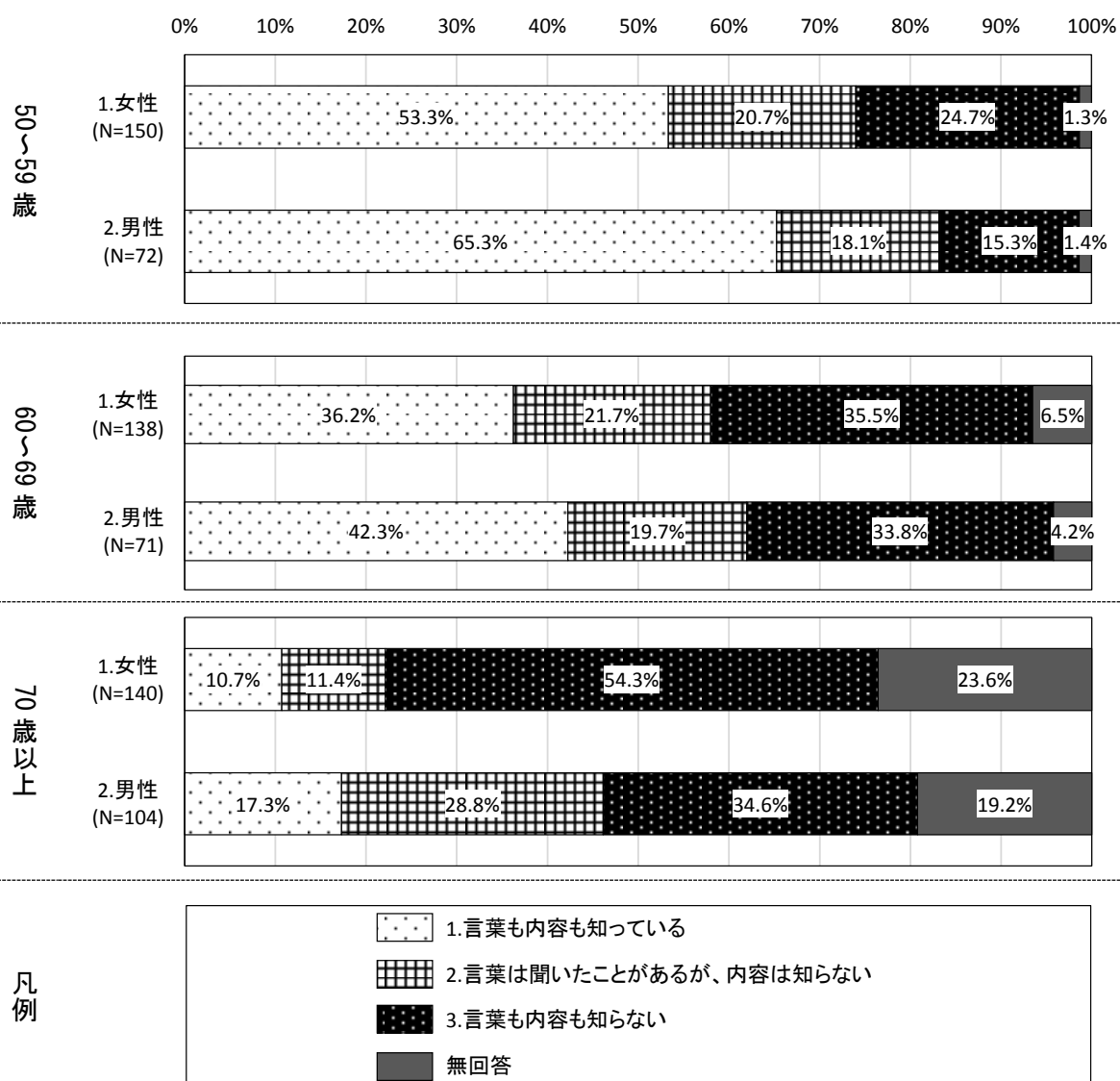
A. JKビジネス

「1. 言葉も内容も知っている」は、女性と男性で差が最も大きかったのは、40～49歳で、女性が64.2%、男性が78.3%であり、女性より男性の割合が多くなっている。

一方、「3. 言葉も内容も知らない」行為は、男女ともに70歳以上が最も多く、女性は54.3%、男性は34.6%であった。また、いずれの年齢層も女性より女性の割合が多くなっている。



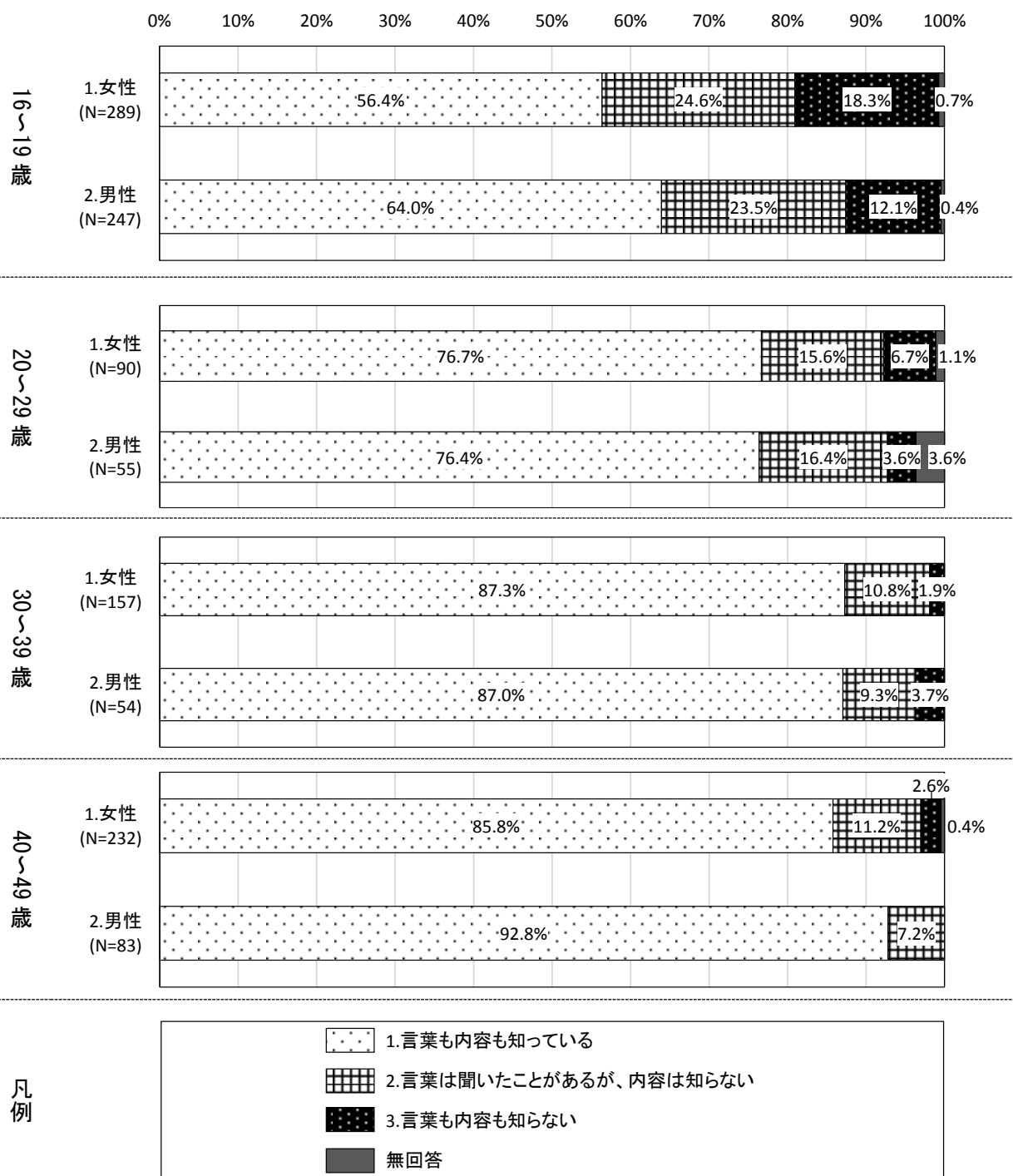
3 調査結果  
DVなどの暴力について



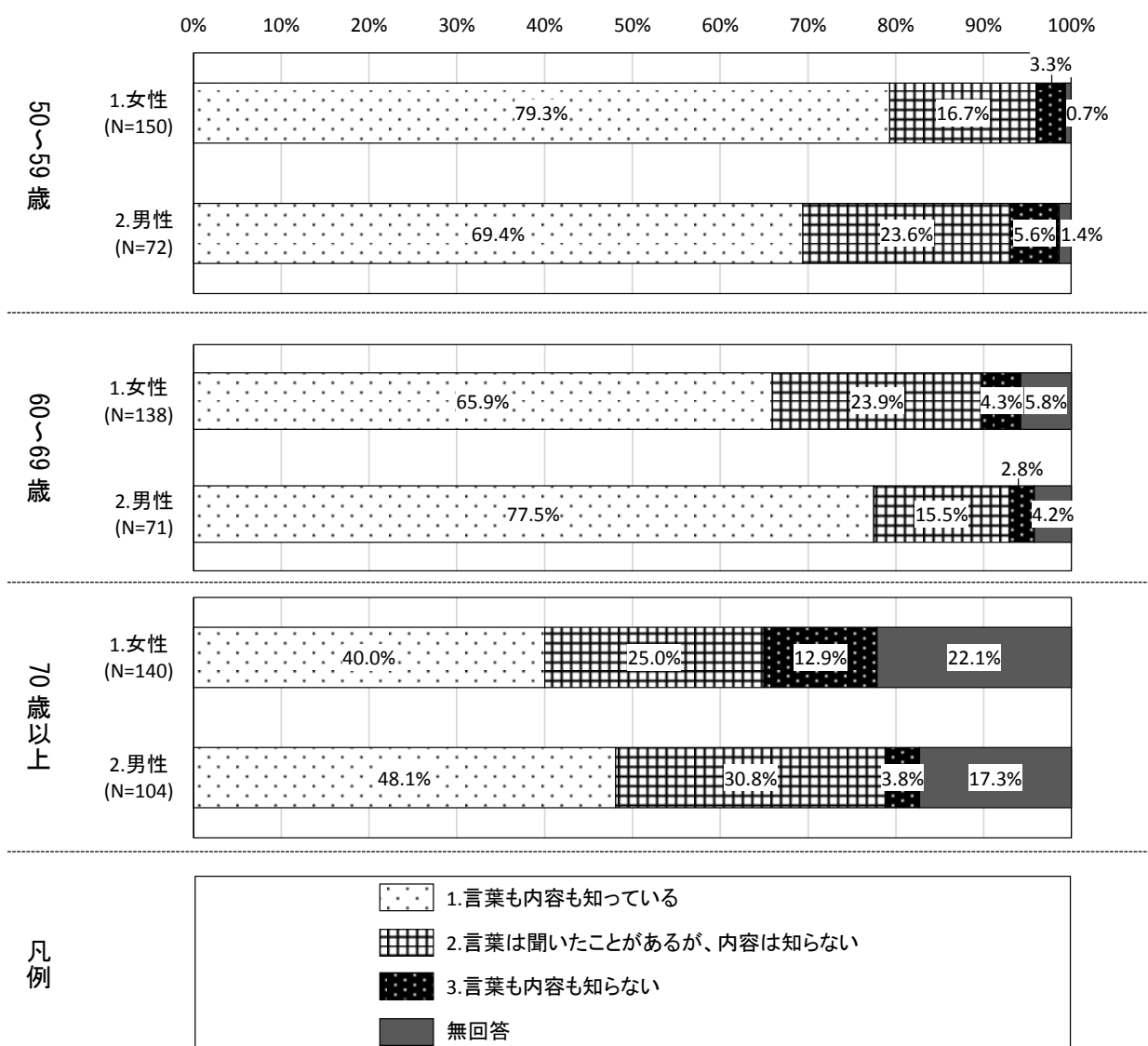
B. AV出演強要

「1. 言葉も内容も知っている」は、女性と男性で差が最も大きかったのは、60～69歳で、女性が65.9%、男性が77.5%であり、女性より男性の割合が多くなっている。

一方、「3. 言葉も内容も知らない」行為は、男女ともに16～19歳が最も多く、女性は18.3%、男性は12.1%であった。また、30～39歳、50～59歳を除いて、いずれの年齢層も男性より女性の割合が多くなっている。



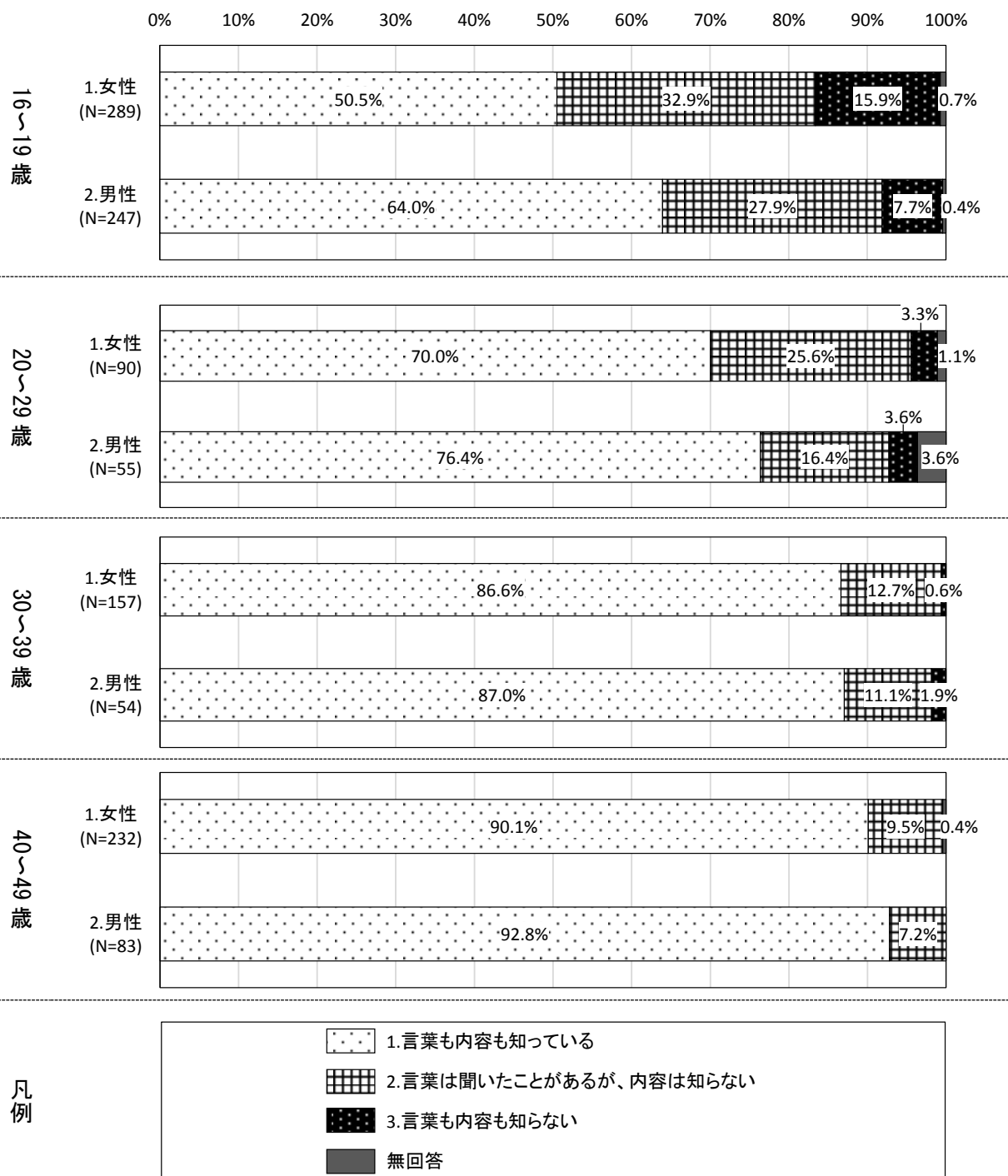
3 調査結果  
DVなどの暴力について



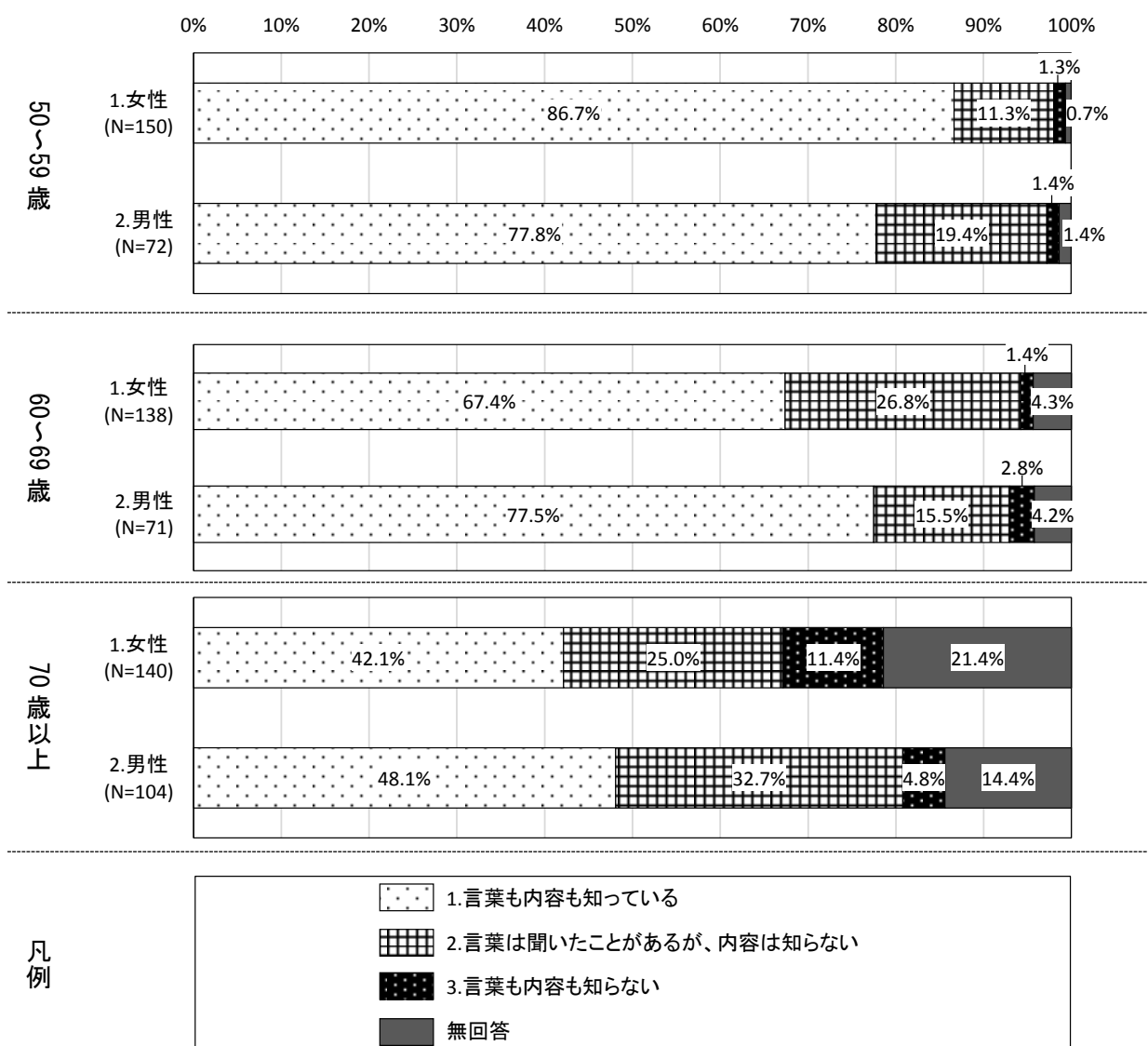
C. 児童ポルノ

「1. 言葉も内容も知っている」は、女性と男性で差が最も大きかったのは、16～19歳で、女性が50.5%、男性が64.0%であり、女性より男性の割合が多くなっている。

一方、「3. 言葉も内容も知らない」行為は、男女ともに16～19歳が最も多く、女性は15.9%、男性は7.7%であった。



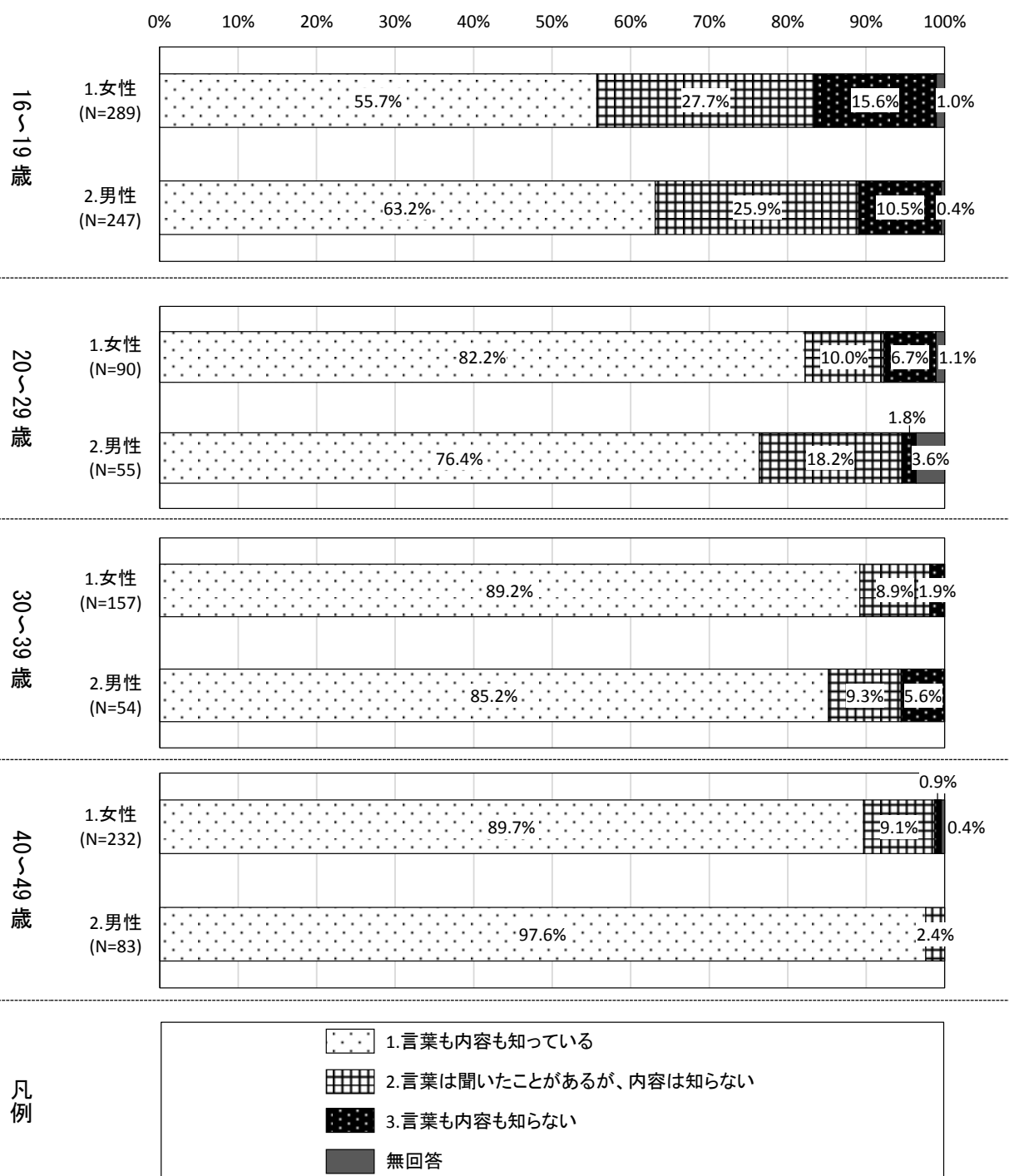
3 調査結果  
DVなどの暴力について



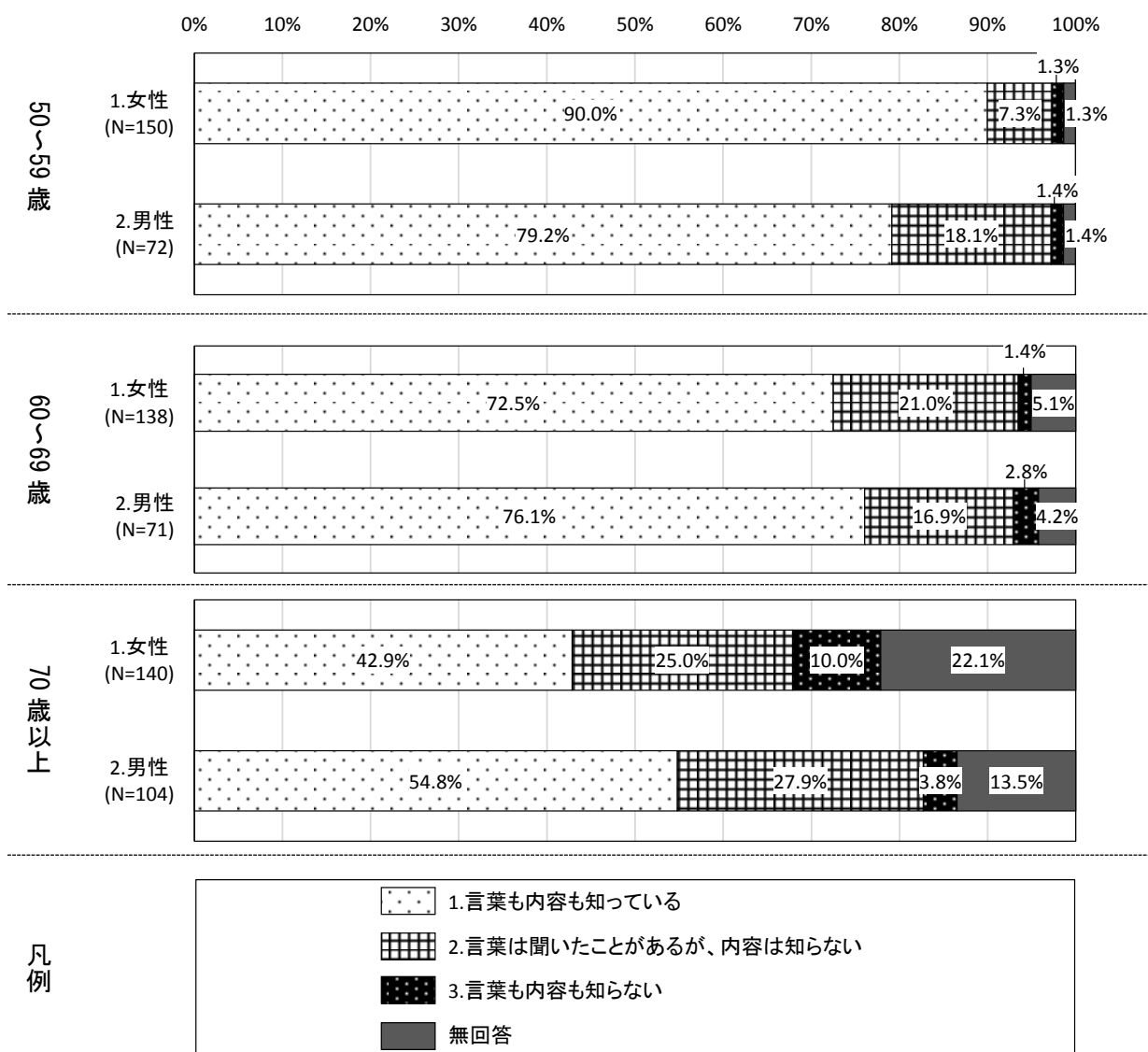
D. 児童買春

「1. 言葉も内容も知っている」は、女性と男性で差が最も大きかったのは、70歳以上で、女性が42.9%、男性が54.8%であり、女性より男性の割合が多くなっている。

一方、「3. 言葉も内容も知らない」行為は、男女ともに16～19歳が最も多く、女性は15.6%、男性は10.5%であった。



3 調査結果  
DVなどの暴力について

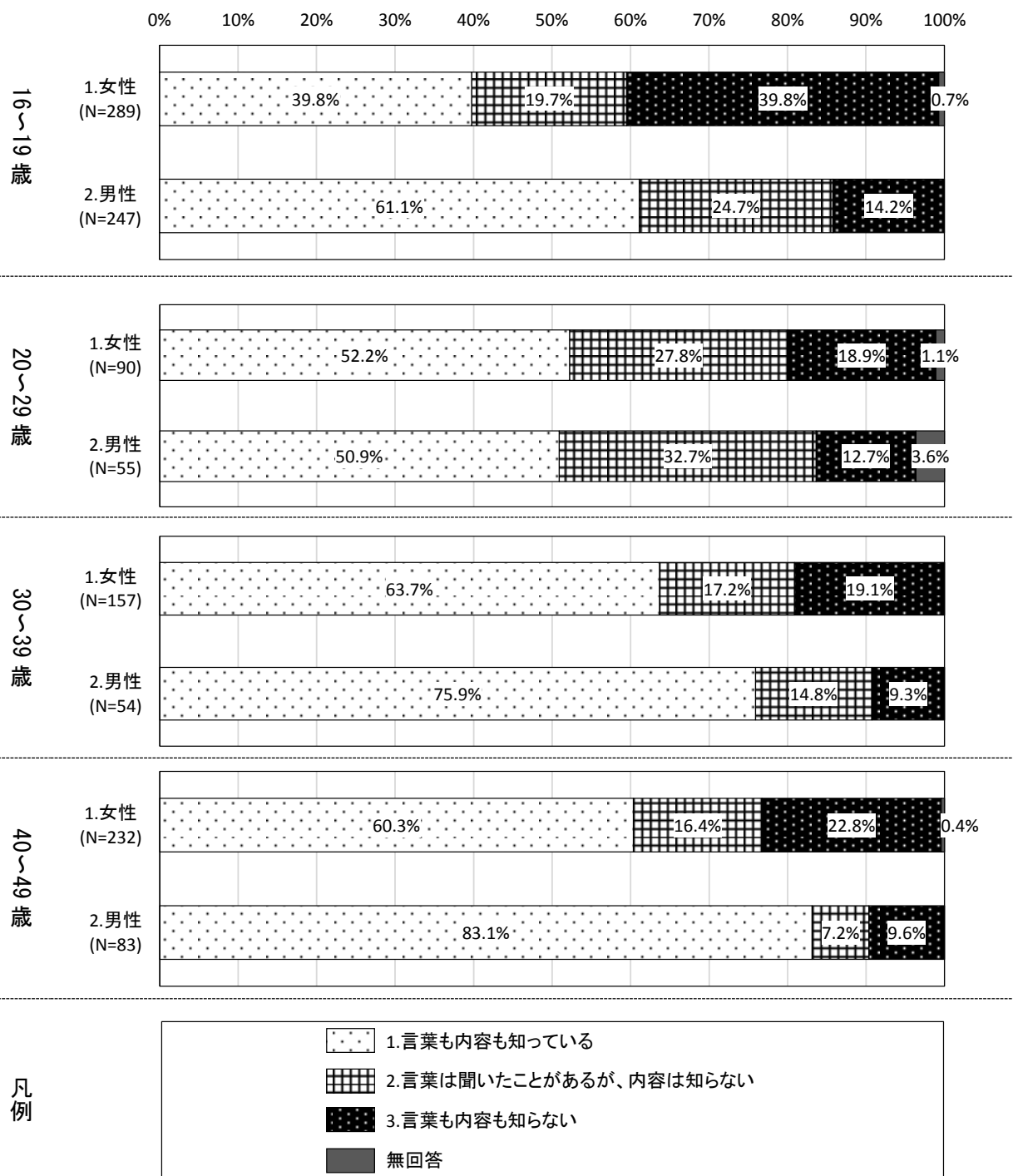




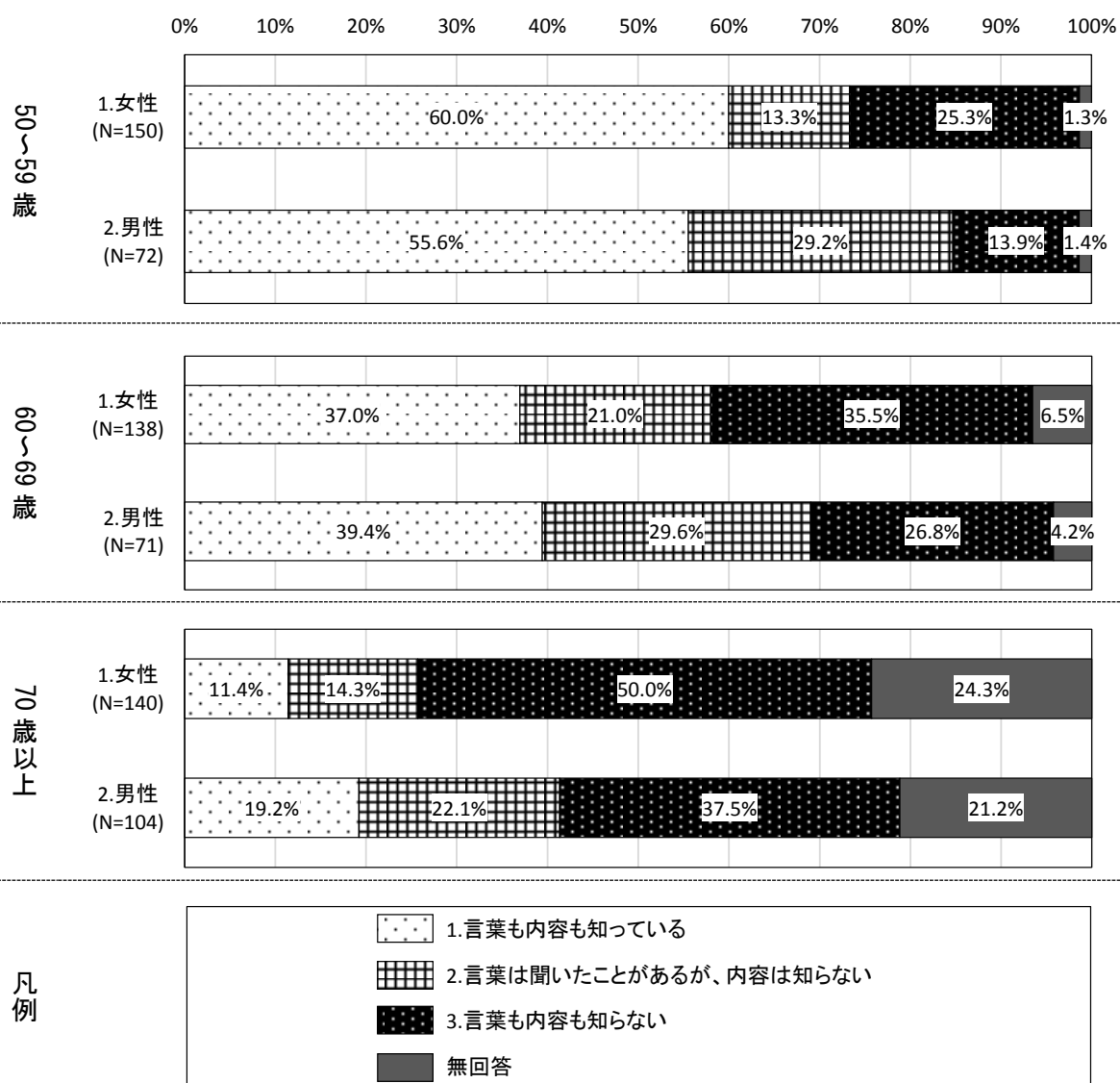
E. リベンジポルノ

「1. 言葉も内容も知っている」は、女性と男性で差が最も大きかったのは、40～49歳で、女性が60.3%、男性が83.1%であり、女性より男性の割合が多くなっている。

一方、「3. 言葉も内容も知らない」行為は、男女ともに70歳以上が最も多く、女性は50.0%、男性は37.5%であった。また、いずれの年齢層も男性より女性の割合が多くなっている

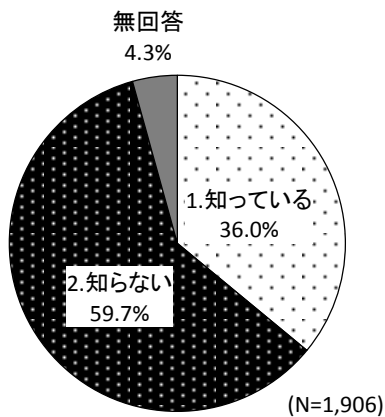


3 調査結果  
DVなどの暴力について



問 28 あなたは、性暴力被害について相談できる窓口があることを知っていますか。  
(あてはまるもの1つに○)

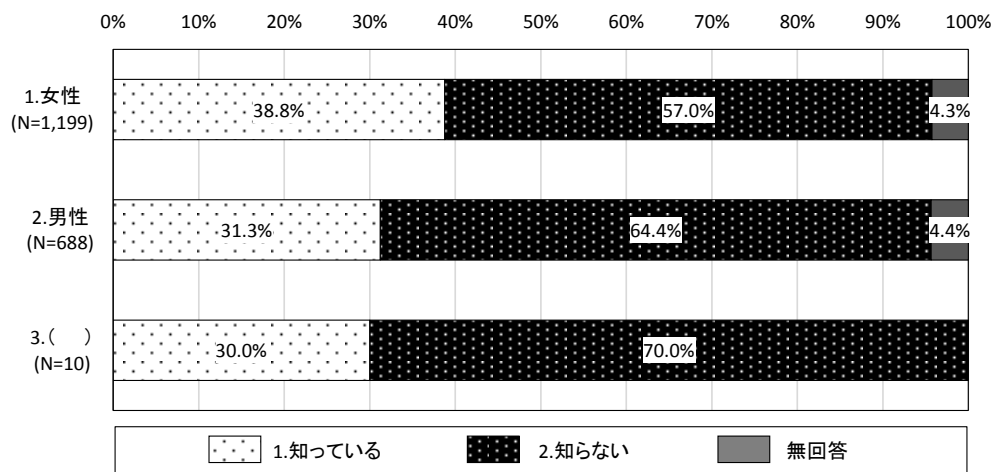
「1. 知っている」が36.0%、「2. 知らない」が59.7%であった。



3 調査結果  
DVなどの暴力について

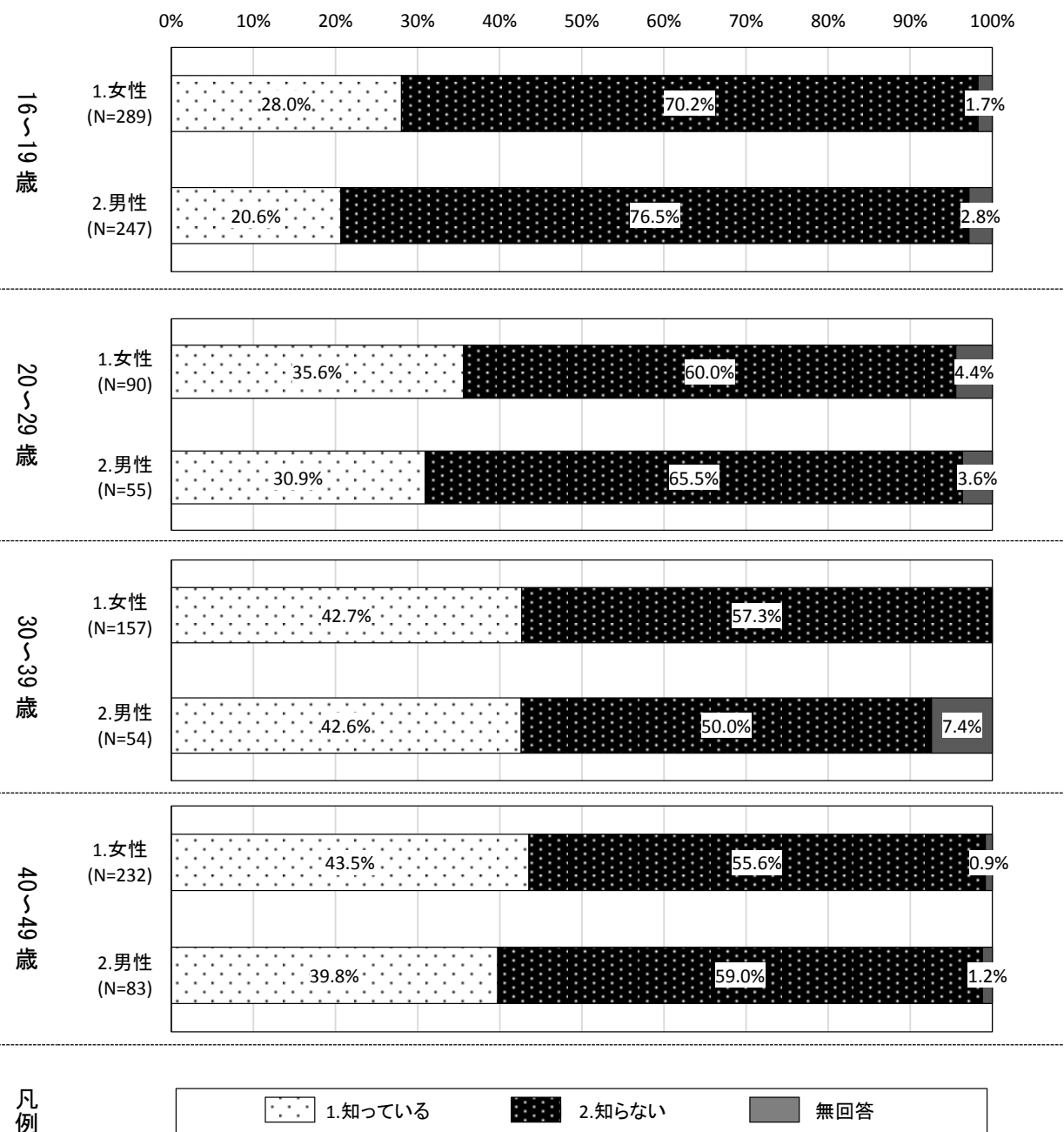
## 性別

「1. 知っている」は、女性が38.8%、男性が31.3%であり、男性より女性の割合が多くなっている。

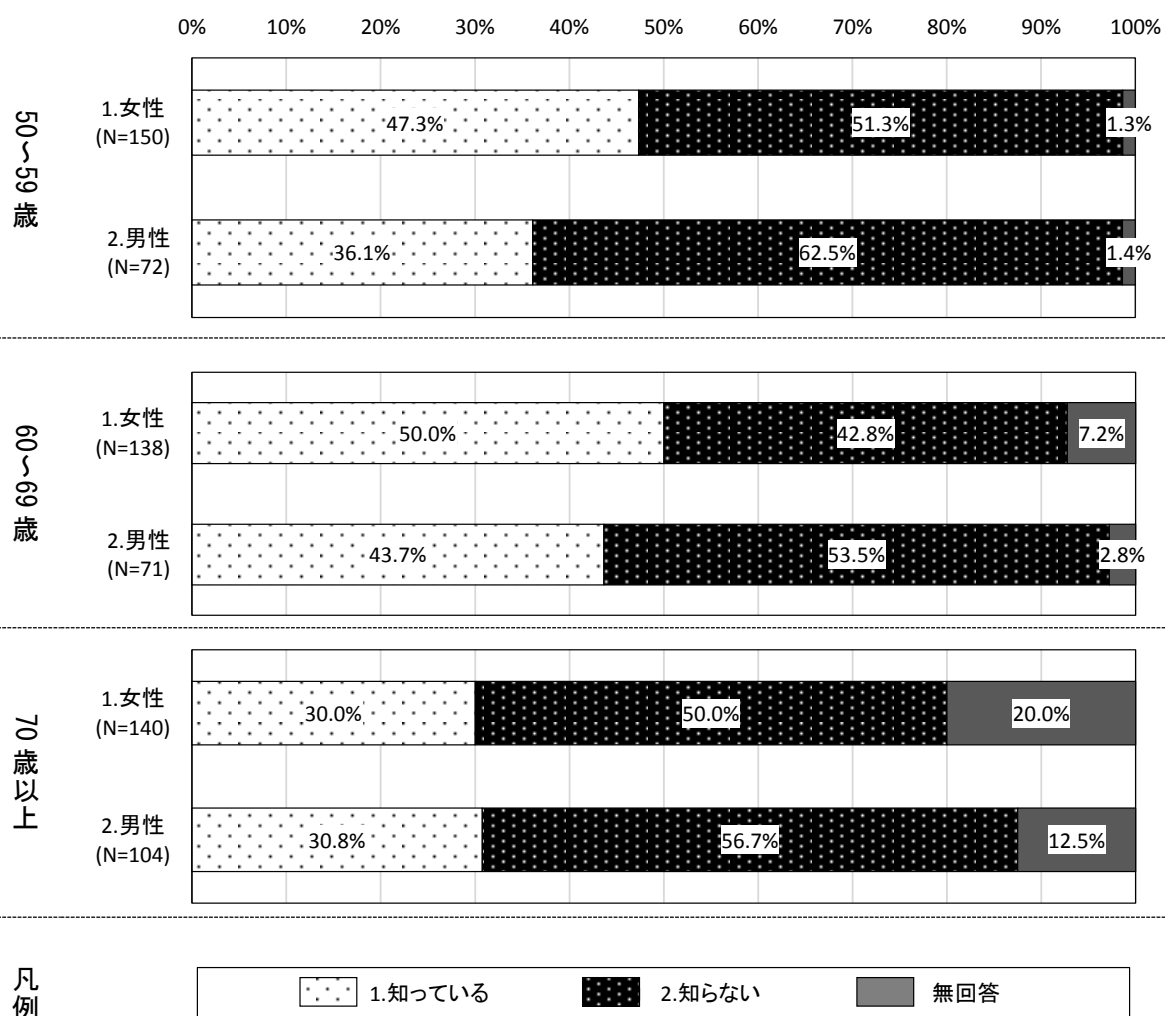


年齢別かつ性別

70歳以上を除いて、いずれの年齢層も「1. 知っている」は、男性より女性の割合が多くなっている。なお、女性と男性で差が最も大きかったのは、50～59歳で、女性が47.3%、男性が36.1%であった。



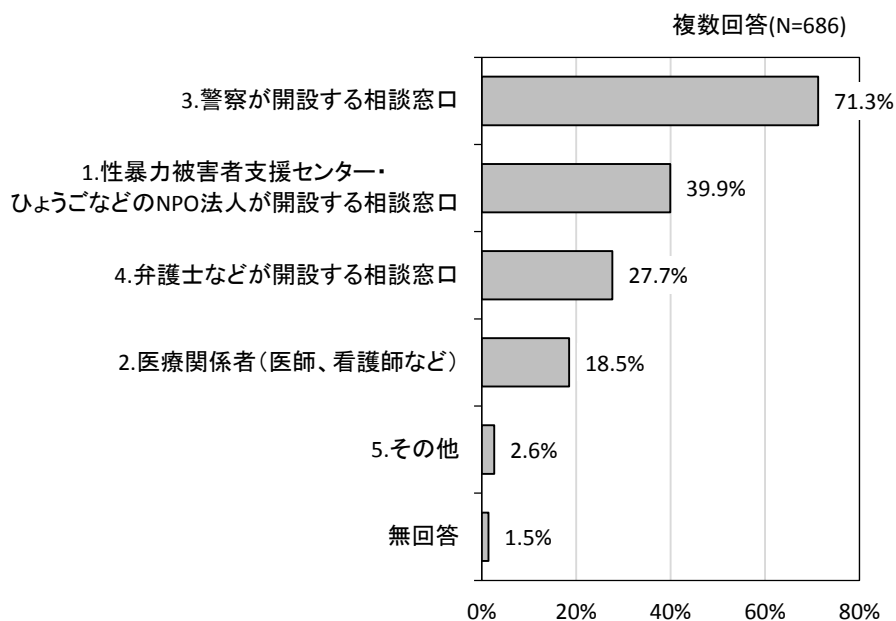
3 調査結果  
DVなどの暴力について



【問 28 で「1. 知っている」を選択した方におたずねします】

問 28-1 次のうち、どの相談窓口を知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

「3. 警察が開設する相談窓口」が最も多く 71.3%、次いで「1. 性暴力被害者支援センター・ひょうごなどの NPO 法人が開設する相談窓口」が 39.9%であった。



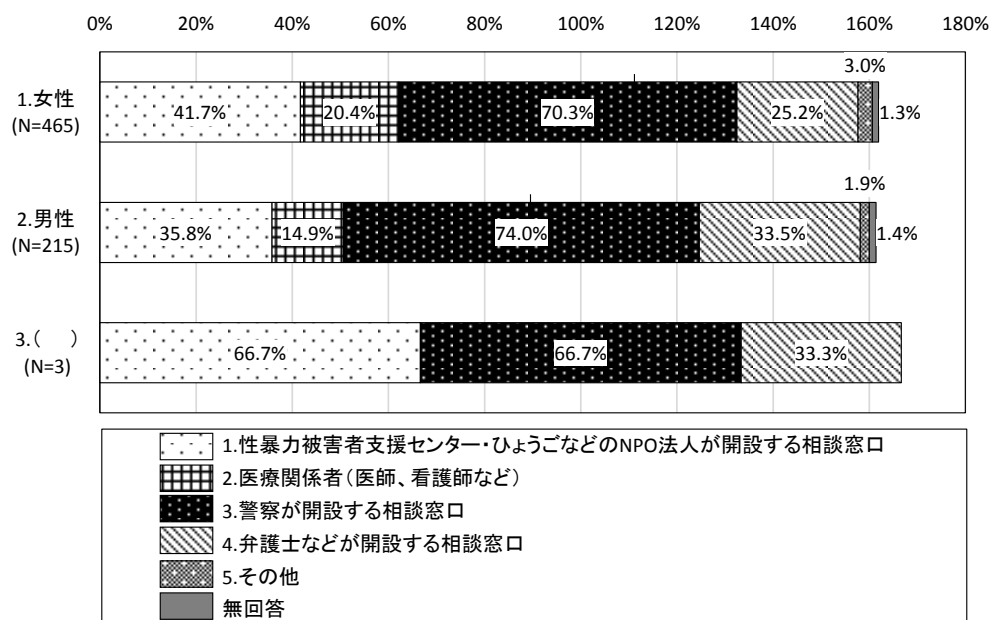
「5. その他」の回答

- ・インターネット。
- ・学校の相談窓口。
- ・ある事は知っているが具体的には知らない。 等

## 性別

男女ともに「3. 警察が開設する相談窓口」が最も多く、次いで「1. 性暴力被害者支援センター・ひょうごなどのNPO法人が開設する相談窓口」であった。

なお、「3. 警察が開設する相談窓口」は、男性より女性の割合が多くなっている。

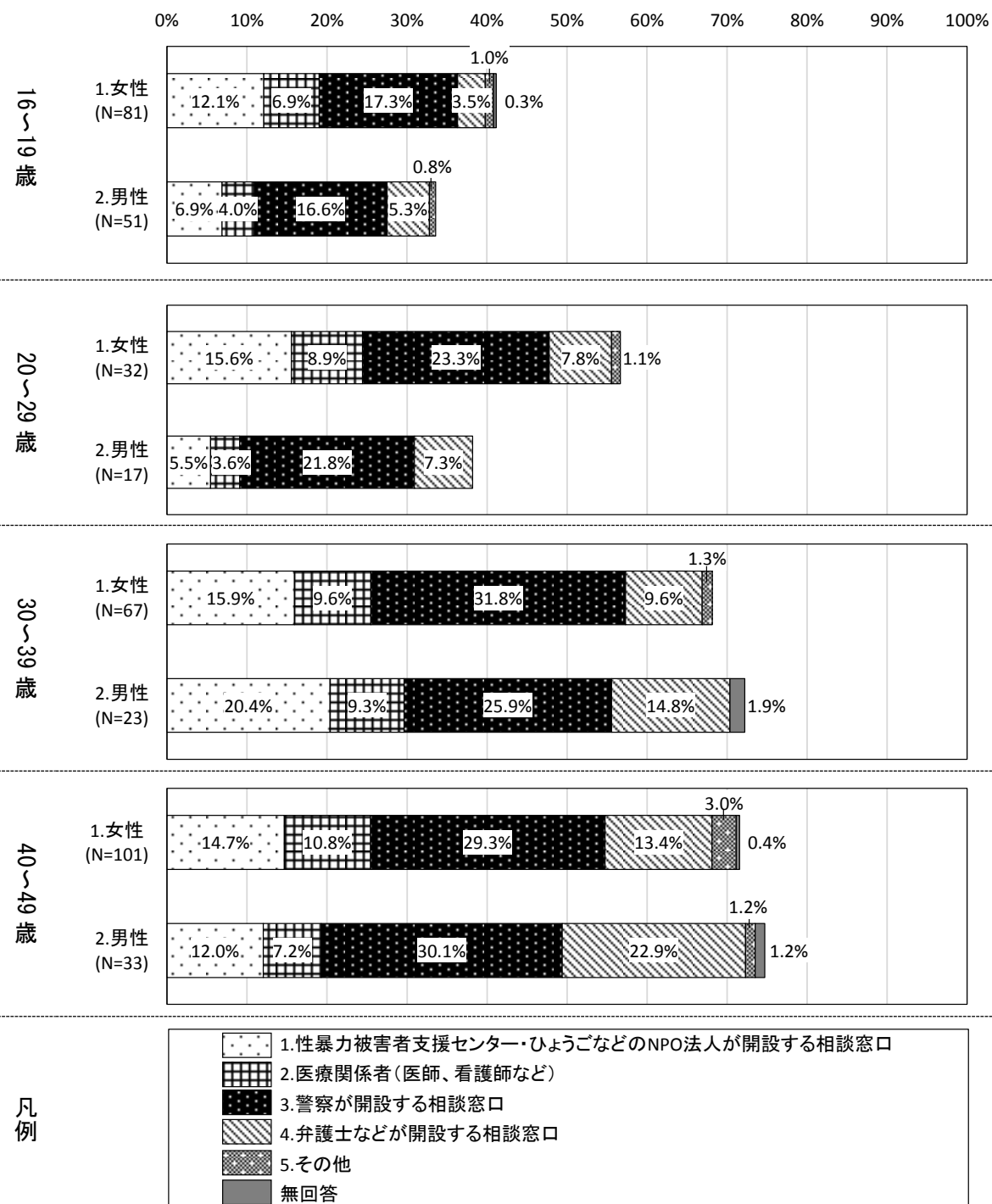




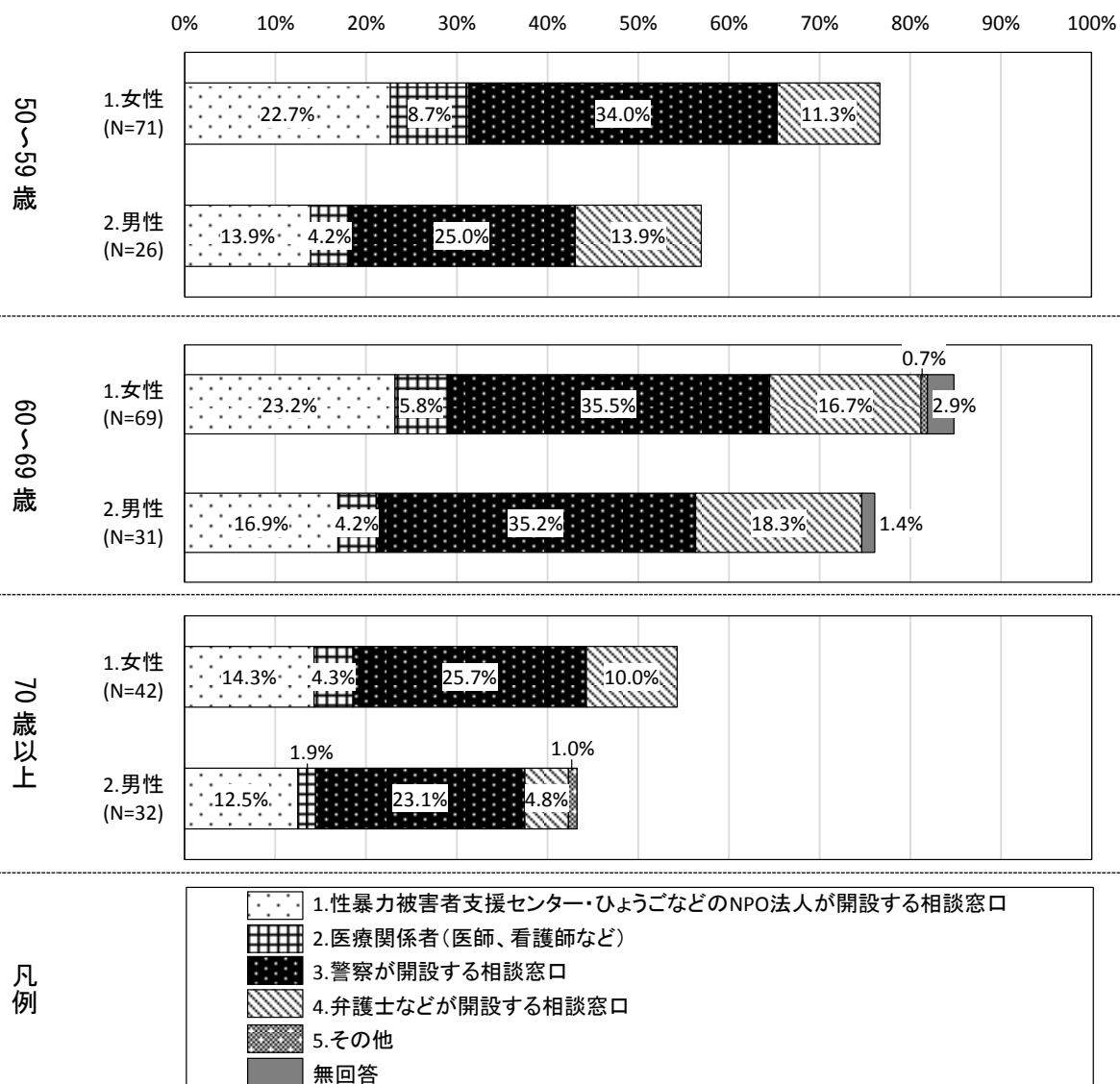
年齢別かつ性別

いずれも「3. 警察が開設する相談窓口」が最も多くなっている。

また、「3. 警察が開設する相談窓口」で、女性と男性で差が大きく異なる年齢層は50～59歳で、女性が34.0%、男性が25.0%であり、男性より女性の割合が多くなっている。



3 調査結果  
DVなどの暴力について



3 調査結果  
DVなどの暴力について